

環境に関する県民等意識調査
調査結果報告書

令和2年2月

岐阜県

■調査結果報告書 目 次

1. 調査概要.....	1
1-1 調査目的.....	1
1-2 調査項目.....	1
1-3 調査地域、調査対象、調査方法等.....	1
1-4 回収結果.....	2
1-5 報告書の見方.....	2
1-6 属性.....	3
2. 一般県民を対象とする調査結果.....	8
2-1 環境に対する関心や行動について.....	8
2-2 環境に関する情報について.....	21
2-3 県が実施する環境施策について.....	26
3. 環境関連団体を対象とする調査結果.....	29
3-1 環境に対する関心や行動について.....	29
3-2 環境に関する情報について.....	48
3-3 県が実施する環境施策について.....	59
4. 企業を対象とする調査結果.....	62
4-1 環境に対する関心や行動について.....	62
4-2 環境に関する情報について.....	83
4-3 県が実施する環境施策について.....	88
5. 一般県民調査と環境関連団体調査、企業調査の比較結果.....	91
5-1 環境に対する関心や行動について.....	91
5-2 環境に関する情報について.....	95
5-3 県が実施する環境施策について.....	98
○資料 調査票.....	100
・一般県民用調査票.....	100
・環境関連団体用調査票.....	108
・企業用調査票.....	117

1. 調査概要

1-1 調査目的

県民、環境関連団体及び企業の環境に関する一般的な意識を把握・分析・検討し、岐阜県環境基本計画の改定版を検討する資料とします。

1-2 調査項目

- ・環境に対する関心や行動について
- ・環境に関する情報について
- ・県が実施する環境施策について

1-3 調査地域、調査対象、調査方法等

(1) 一般県民を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：20歳以上の男女

標本数：2,000人

抽出方法：選挙人名簿、層化二段無作為抽出法

調査方法：郵送法

実施期間：令和元年11月29日（金）～12月16日（月）

調査主体：岐阜県 環境生活部 環境企画課

調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 岐阜支店

(2) 環境関連団体を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：発注者が別途指定する団体

標本数：138団体

調査方法：郵送法

実施期間：令和元年11月29日（金）～12月16日（月）

調査主体：岐阜県 環境生活部 環境企画課

調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 岐阜支店

(3) 企業を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：県内に本店を有し従業員数50名以上の企業

標本数：200社

調査方法：郵送法

実施期間：令和元年11月29日（金）～12月16日（月）

調査主体：岐阜県 環境生活部 環境企画課

調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 岐阜支店

1-4 回収結果

(1) 一般県民を対象とする調査

- ・ 937 人 (回収率 46.9%)

(2) 環境関連団体を対象とする調査

- ・ 71 団体 (回収率 51.4%)

(3) 企業を対象とする調査

- ・ 93 社 (回収率 46.5%)

1-5 報告書の見方

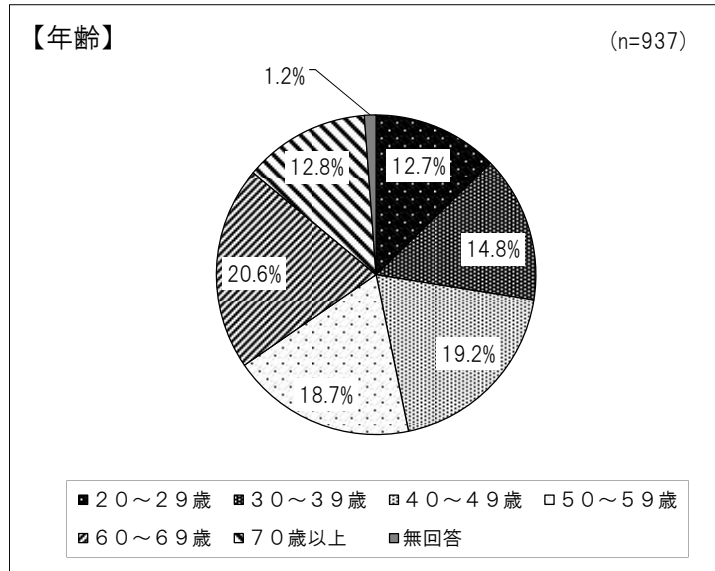
- ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 基数となるべき実数は「n」(回答者数)として掲載する。したがって比率は、n を 100%として算出しています。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超えます。
- ・ クロス集計について、回答数が 10 件を下回るものはコメントしていません。

1-6 属性

(1) 一般県民を対象とする調査

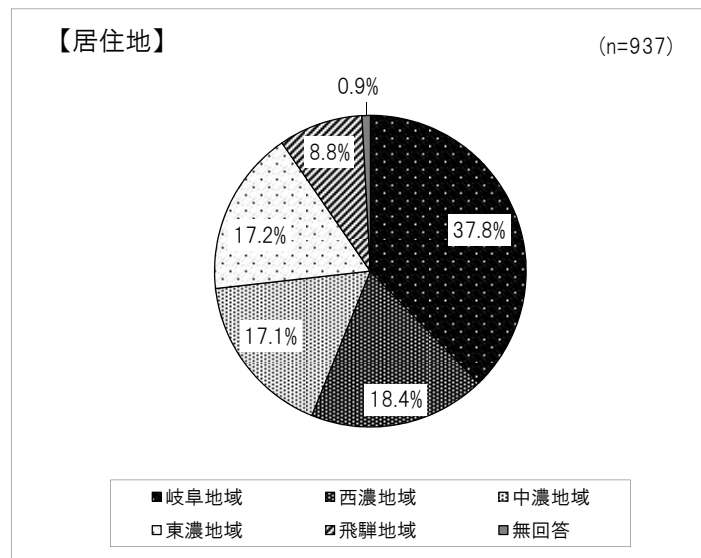
①年齢

図 1-1-1 年齢



②居住地

図 1-1-2 居住地



※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡

※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡

※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡

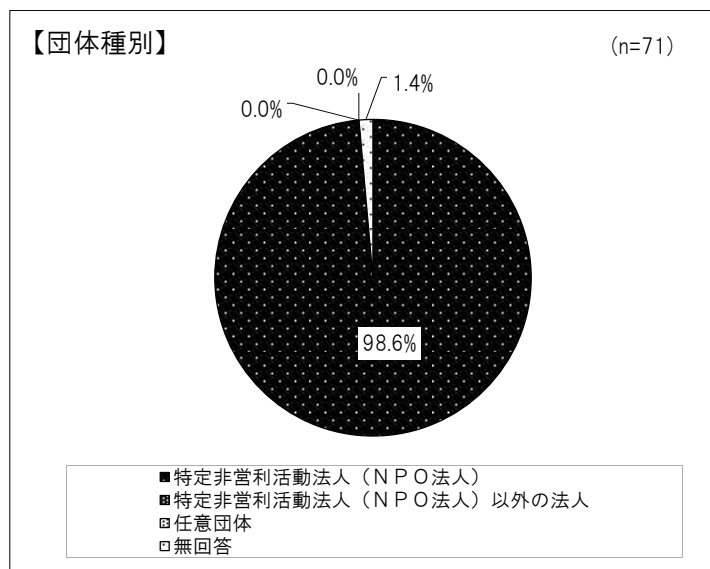
※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

(2) 環境関連団体を対象とする調査

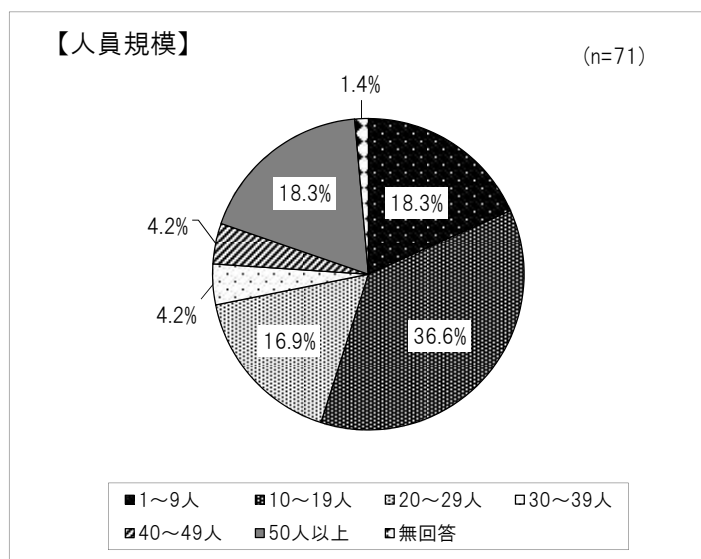
① 体種別

図 1-2-1 団体種別



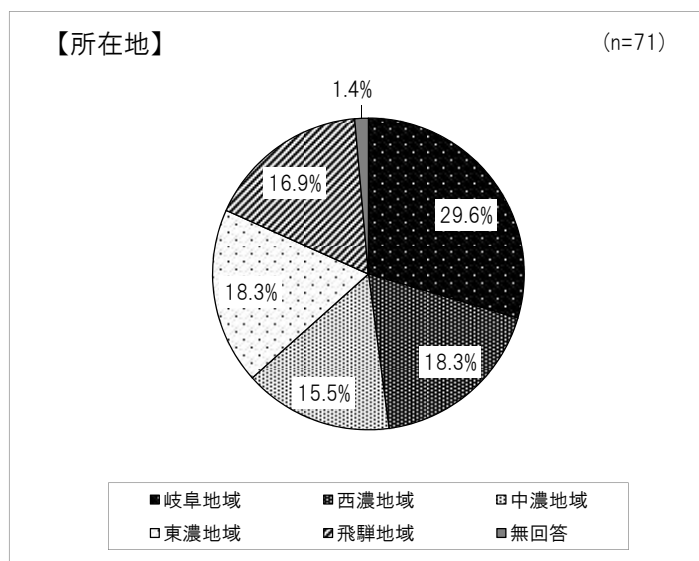
② 人員規模

図 1-2-2 人員規模



③所在地

図 1-2-3 所在地



※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡

※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡

※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡

※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

(3) 企業を対象とする調査

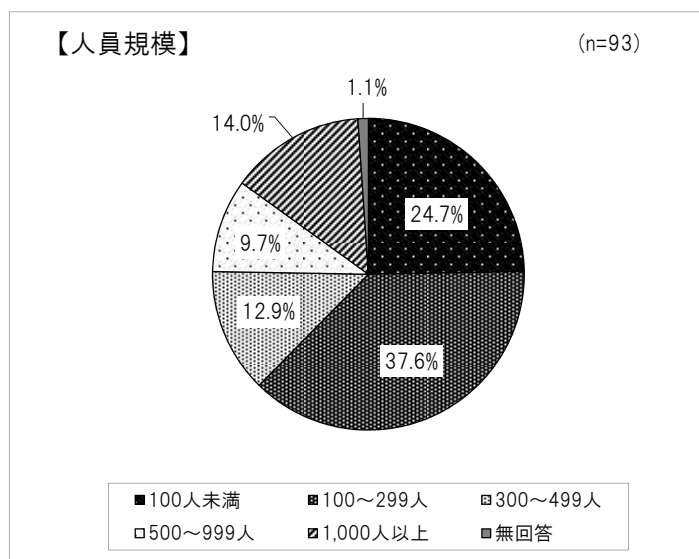
①業種別

図 1-3-1 業種別

【団体種別】		回答数	構成比
1	農業、林業、漁業	1	1.1%
2	鉱業、採石業、砂利採取業	1	1.1%
3	建設業	13	14.0%
4	製造業	11	11.8%
5	電気・ガス・水道業	3	3.2%
6	情報通信業	2	2.2%
7	運輸業	5	5.4%
8	卸売業、小売業	15	16.1%
9	金融業、保険業	2	2.2%
10	不動産業、物品賃貸業	3	3.2%
11	学術研究、専門・技術サービス業	1	1.1%
12	宿泊業、飲食サービス業	4	4.3%
13	生活関連サービス業、娯楽業	9	9.7%
14	教育、学習支援業	4	4.3%
15	医療、福祉	7	7.5%
16	複合サービス業	3	3.2%
17	その他	5	5.4%
18	無回答	4	4.3%
合計		93	100.0%

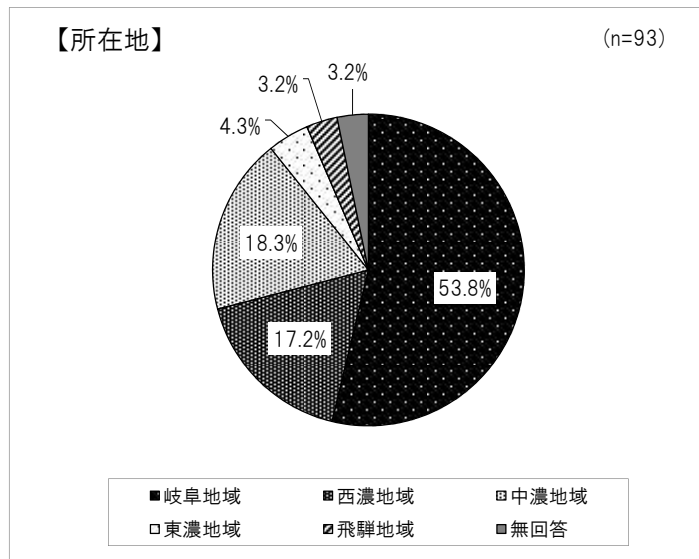
②人員規模

図 1-3-2 人員規模



③所在地

図 1-3-3 所在地



- ※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡
- ※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡
- ※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡
- ※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
- ※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

2. 一般県民を対象とする調査結果

2-1 環境に対する関心や行動について

問1 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

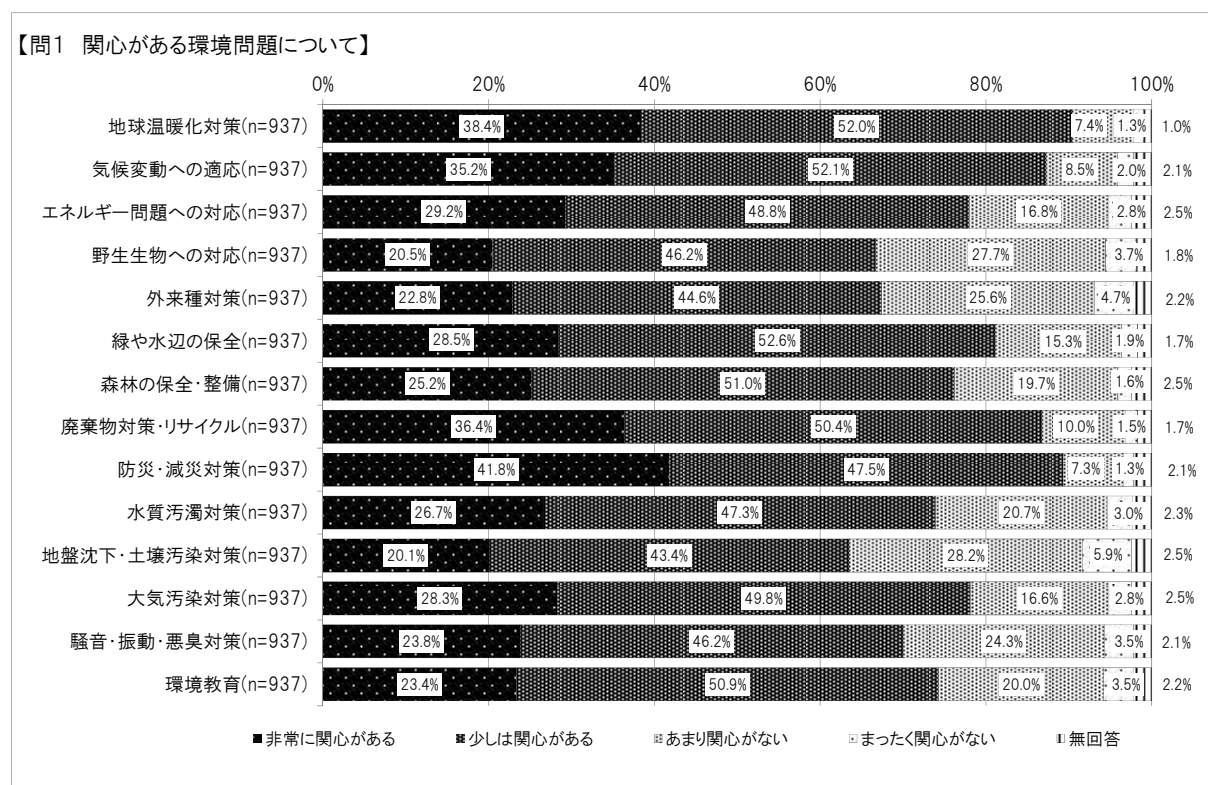
(1) 地球温暖化対策	(2) 気候変動への対応
(3) エネルギー問題への対応	(4) 野生生物への対応
(5) 外来種対策	(6) 緑や水辺の保全
(7) 森林の保全・整備	(8) 廃棄物対策・リサイクル
(9) 防災・減災対策	(10) 水質汚濁対策
(11) 地盤沈下・土壌汚染対策	(12) 大気汚染対策
(13) 騒音・振動・悪臭対策	(14) 環境教育

【選択肢】

1. 非常に関心がある	2. 少しは関心がある
3. あまり関心がない	4. まったく関心がない

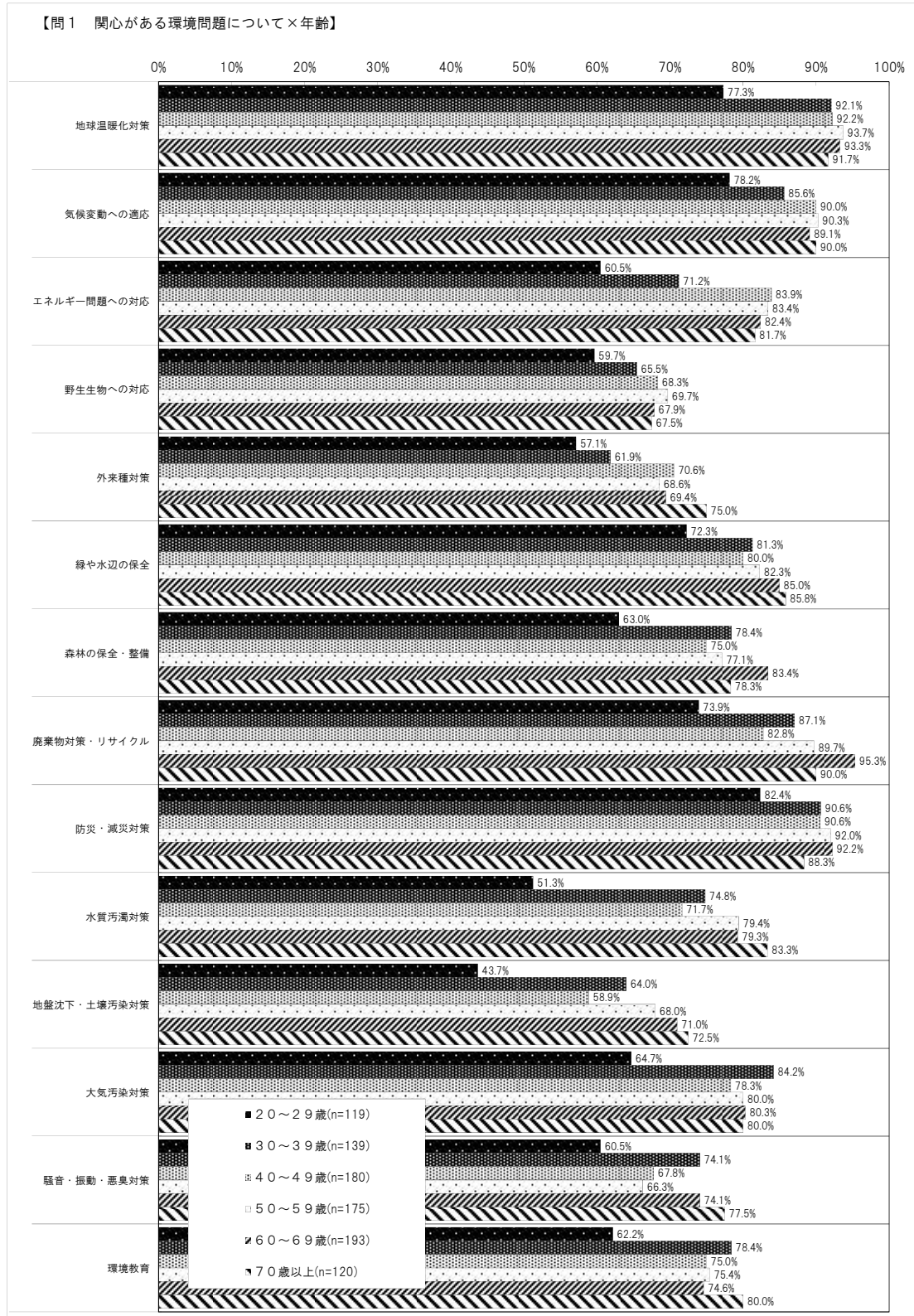
全体(図2-1-1)で見ると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、『地球温暖化対策』が90.4%と最も高く、次いで『防災・減災対策』(89.3%)、『気候変動への対応』(87.3%)の順となっています。

図2-1-1 関心がある環境問題



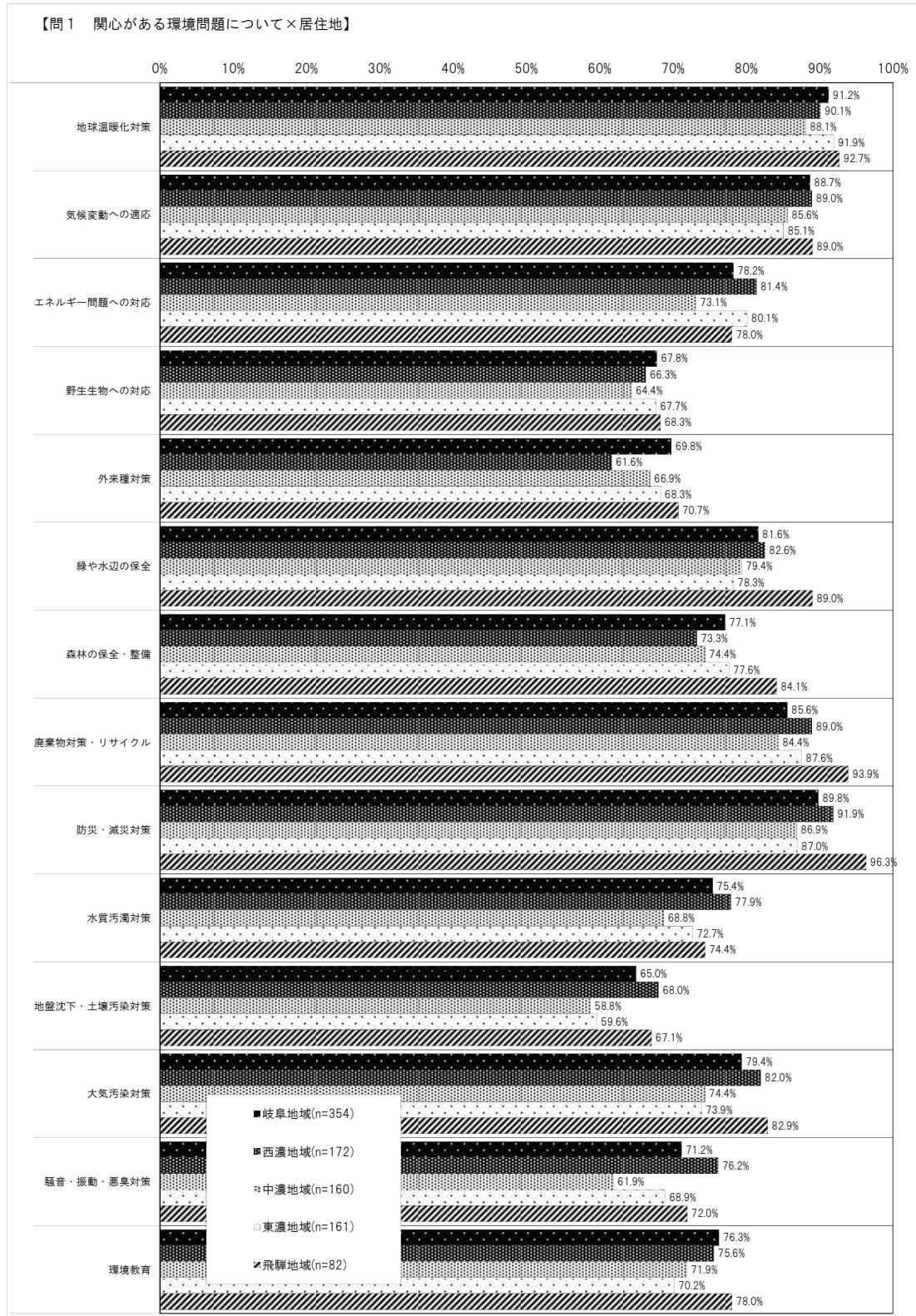
年齢別（図 2-1-2）で見ると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、すべての項目で20～29歳が低くなっています。

図 2-1-2 【年齢別】 関心がある環境問題



居住地別（図 2-1-3）で見ると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、いずれの居住地においても『地球温暖化対策』は高くなっています。なお、飛騨地域では『防災・減災対策』、『廃棄物対策・リサイクル』も9割以上と高くなっています。

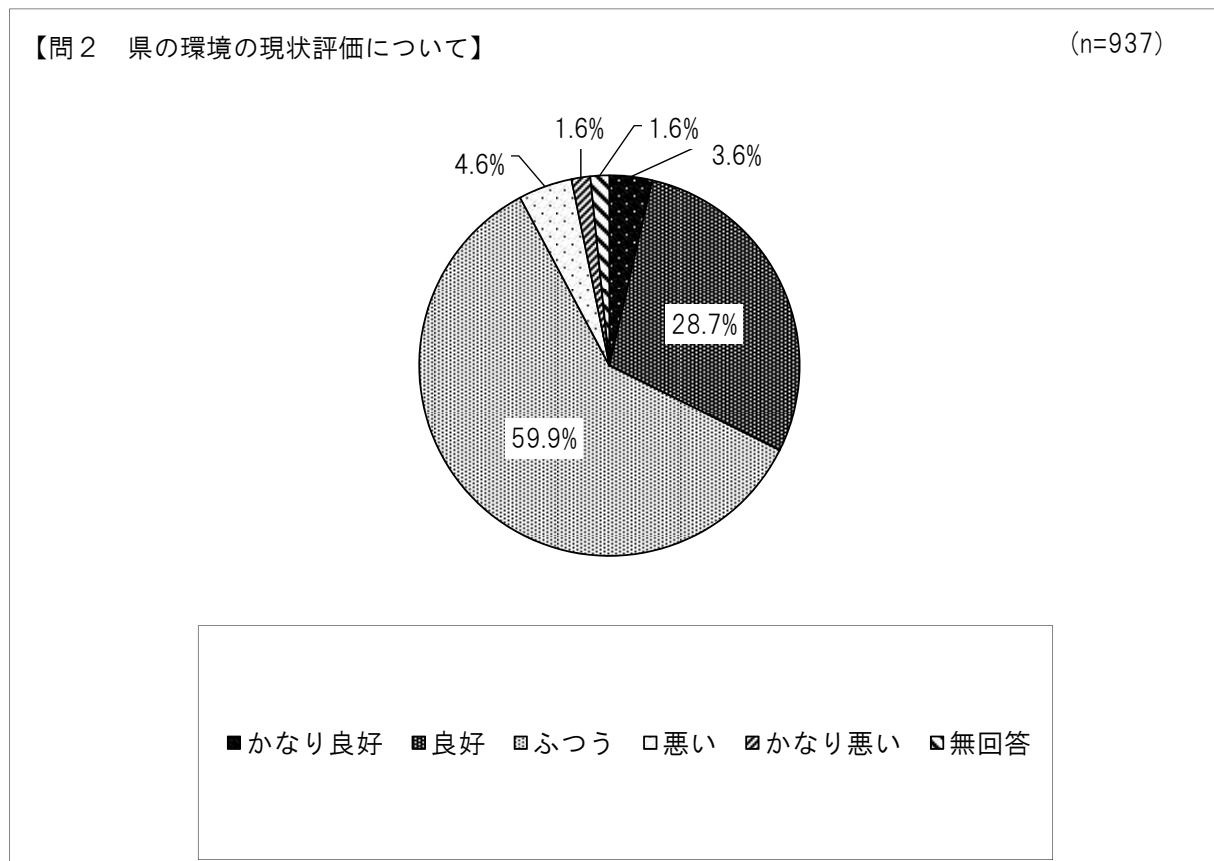
図 2-1-3 【居住地別】 関心がある環境問題



問2 あなたは、県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
 （4）、（5）に○をつけた方は、（ ）に具体的な分野（問1参照）を記入してください。
 （1）かなり良好
 （2）良好
 （3）ふつう
 （4）悪い
 （5）かなり悪い

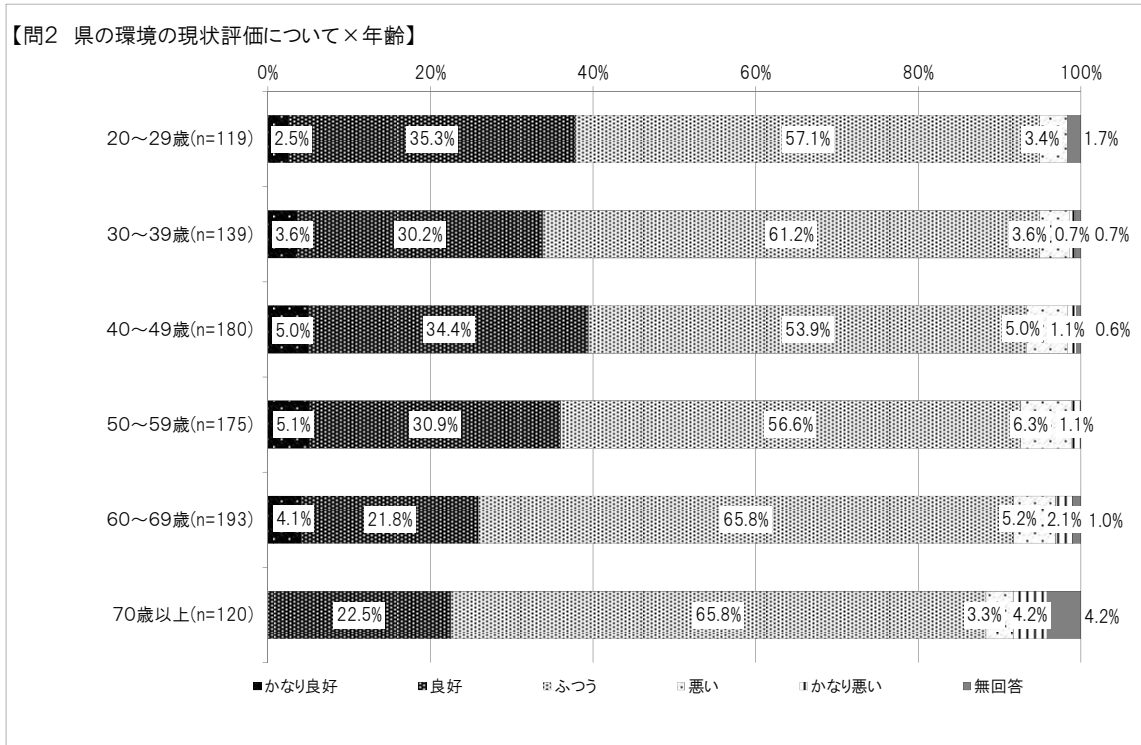
全体（図2-2-1）で見ると、「ふつう」が59.9%と最も高く、次いで「良好」（28.7%）、「悪い」（4.6%）の順となっています。

図2-2-1 県の環境の現状評価



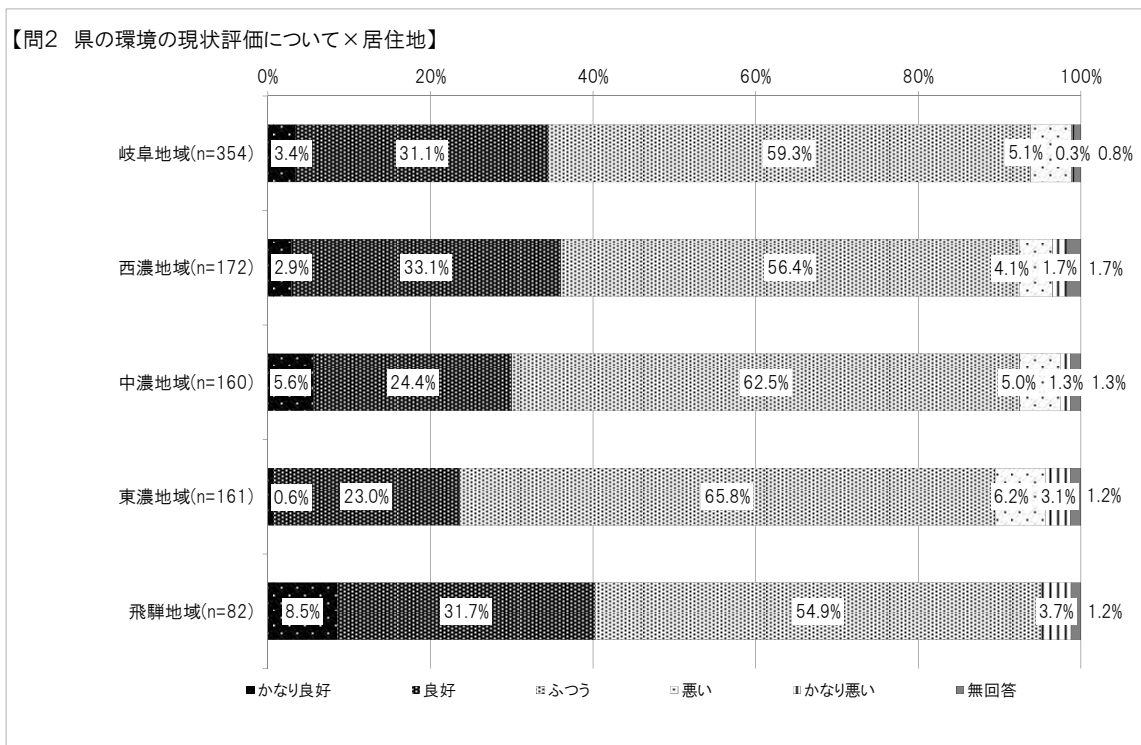
年齢別（図 2-2-2）で見ると、すべての年代において「ふつう」が最も高くなっています。

図 2-2-2 【年齢別】 県の環境の現状評価



居住地別（図 2-2-3）で見ると、いずれの居住地においても「ふつう」が最も高くなっています。なお、東濃地域では「かなり良好」が他地域と比べて低くなっています。

図 2-2-3 【居住地別】 県の環境の現状評価



問3 あなたは、県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

（○は1つ）

（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）に具体的な分野（問1参照）を記入してください。

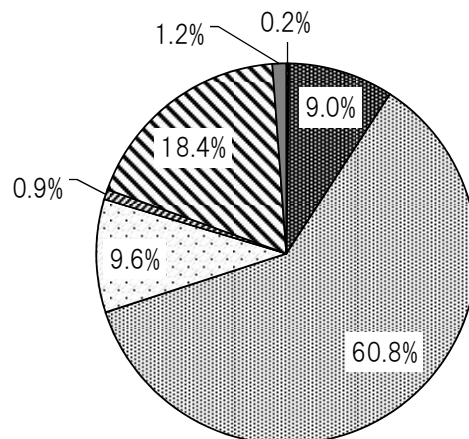
- （1）かなり良くなった
- （2）良くなった
- （3）変わらない
- （4）悪くなった
- （5）かなり悪くなった
- （6）わからない

全体（図 2-3-1）で見ると、「変わらない」が 60.8%と最も高く、次いで「わからない」（18.4%）、「悪くなった」（9.6%）の順となっています。

図 2-3-1 県の環境の5年前との比較

【問3 県の環境の5年前との比較について】

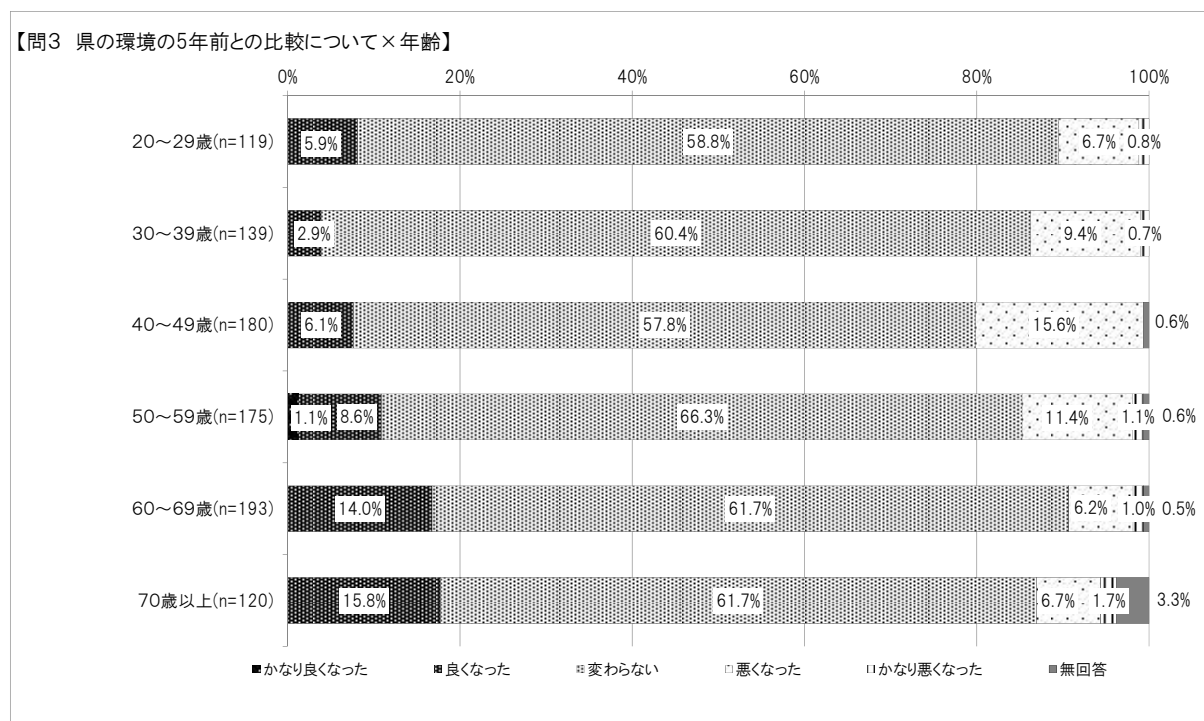
(n=937)



- かなり良くなった
- 良くなった
- 変わらない
- 悪くなった
- かなり悪くなった
- わからない
- 無回答

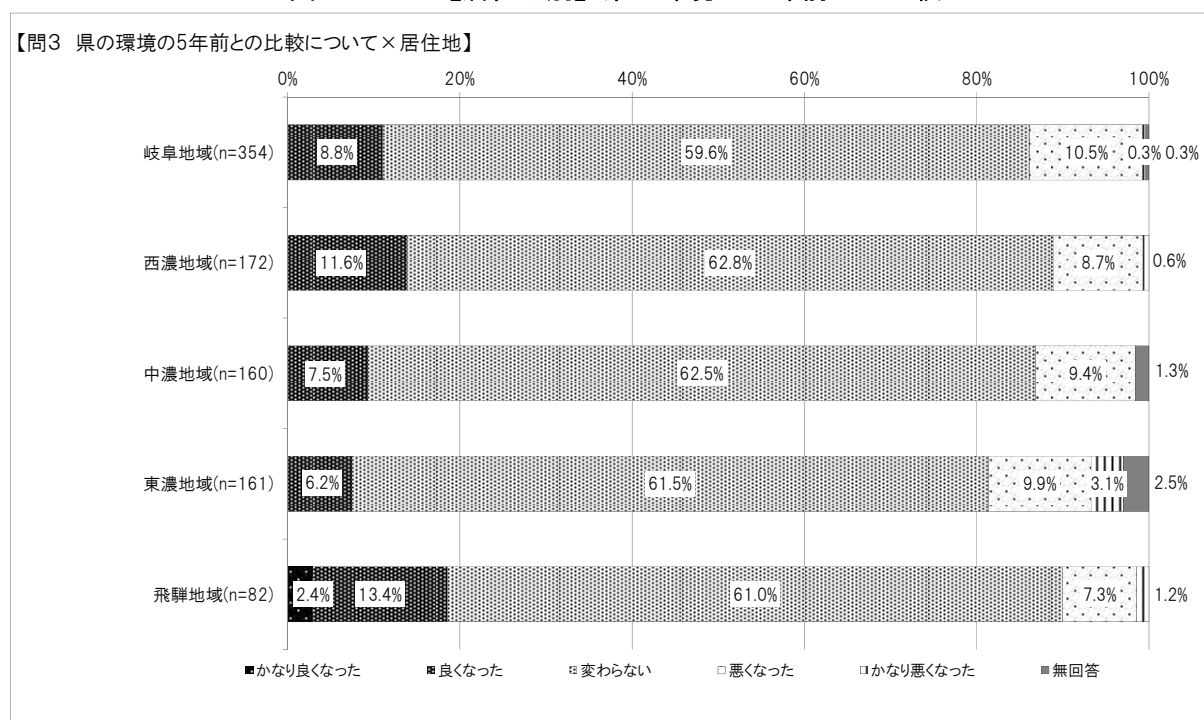
年齢別（図 2-3-2）で見ると、すべての年代において「変わらない」が最も高くなっています。なお、40～49 歳、50～59 歳では「悪くなった」が他の年齢区分より高くなっています。

図 2-3-2 【年齢別】 県の環境の 5 年前との比較



居住地別（図 2-3-3）で見ると、いずれの居住地においても「変わらない」が最も高くなっています。なお、西濃地域、飛騨地域では「良くなった」が他の居住地と比べて高くなっています。

図 2-3-3 【居住地別】 県の環境の 5 年前との比較

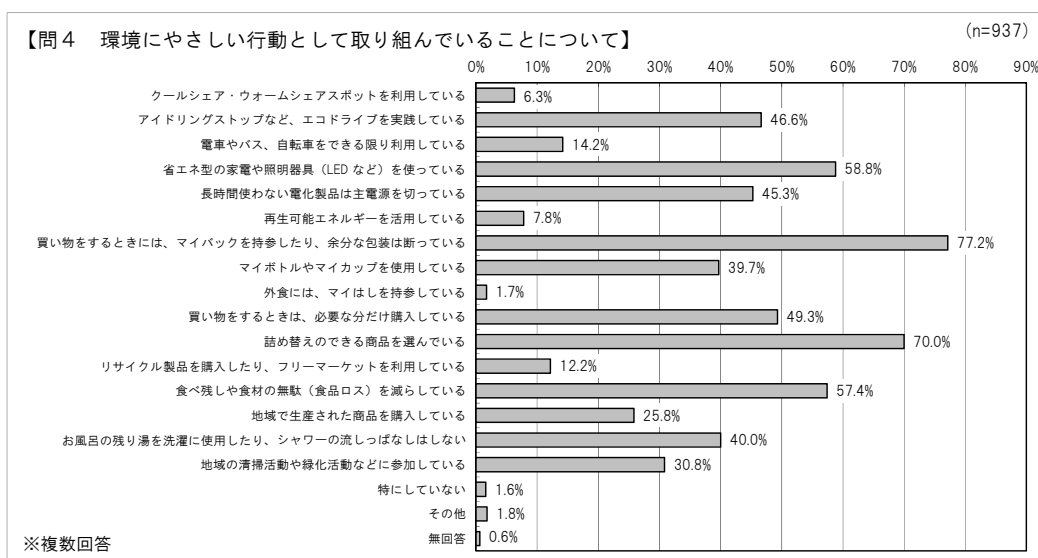


問4 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) クールシェア・ウォームシェアスポット※を利用している
※涼しく快適に過ごせる施設や場所（クールスポット）やあたたかく快適に過ごせる施設や場所（ウォームスポット）をみんなでシェア（共有）する取り組みです
- (2) アイドリングストップなど、エコドライブを実践している
- (3) 電車やバス、自転車をできる限り利用している
- (4) 省エネ型の家電や照明器具（LED など）を使っている
- (5) 長時間使わない電化製品は主電源を切っている
- (6) 再生可能エネルギーを活用している
- (7) 買い物をするときには、マイバックを持参したり、余分な包装は断っている
- (8) マイボトルやマイカップを使用している
- (9) 外食には、マイはしを持参している
- (10) 買い物をするときには、必要な分だけ購入している
- (11) 詰め替えのできる商品を選んでいる
- (12) リサイクル製品を購入したり、フリーマーケットを利用している
- (13) 食べ残しや食材の無駄（食品ロス）を減らしている
- (14) 地域で生産された商品を購入している
- (15) お風呂の残り湯を洗濯に使用したり、シャワーの流しっぱなしはしない
- (16) 地域の清掃活動や緑化活動などに参加している
- (17) 特にしていない
- (18) その他

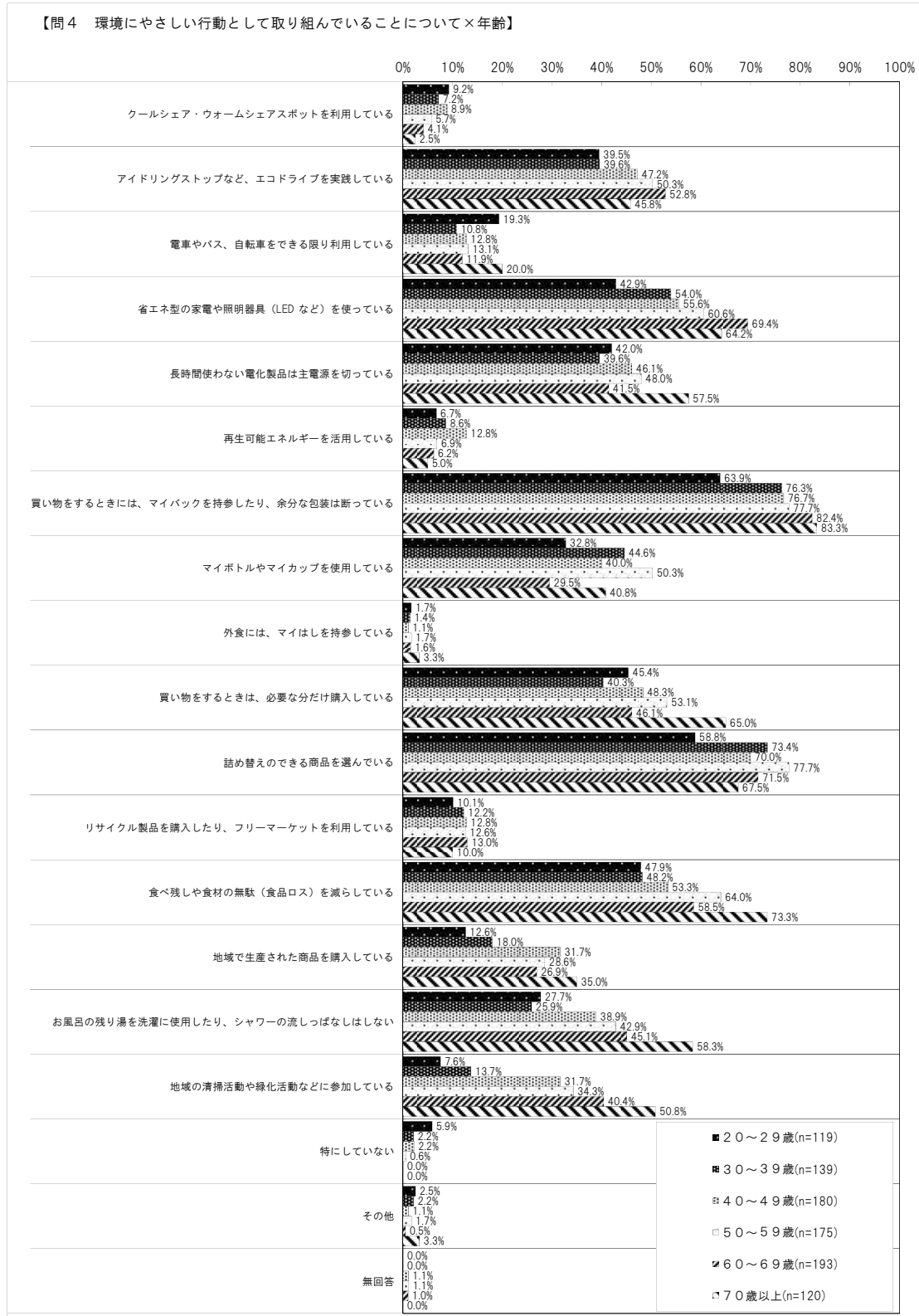
全体（図 2-4-1）でみると、「買い物をするときには、マイバックを持参したり、余分な包装は断っている」が 77.2%と最も高く、次いで「詰め替えのできる商品を選んでいる」（70.0%）、「省エネ型の家電や照明器具（LED など）を使っている」（58.8%）の順となっています。

図 2-4-1 環境にやさしい行動として取り組んでいること



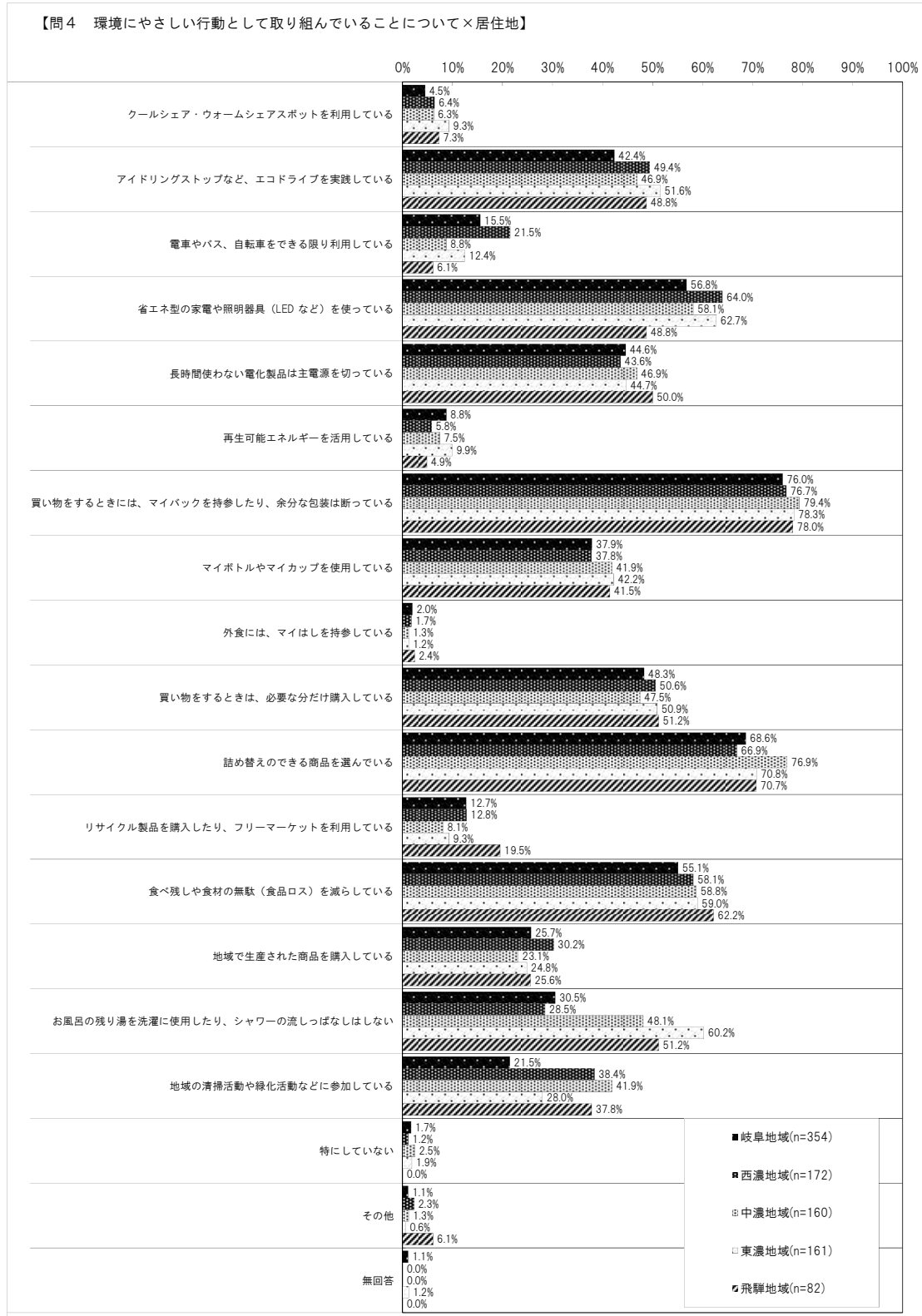
年齢別（図 2-4-2）で見ると、すべての年代において「買い物をするときには、マイバックを持参したり、余分な包装は断っている」が高くなっているものの、20～29 歳では他の年齢区分より低くなっています。

図 2-4-2 【年齢別】環境にやさしい行動として取り組んでいること



居住地別（図 2-4-3）で見ると、いずれの居住地においても「買い物をするときには、マイバックを持参したり、余分な包装は断っている」が最も高くなっています。なお、「お風呂の残り湯を洗濯に使用したり、シャワーの流しっぱなしはしない」は最も高かった東濃地域と最も低かった西濃地域とでは 30 ポイント以上の差があります。

図 2-4-3 【居住地別】環境にやさしい行動として取り組んでいること

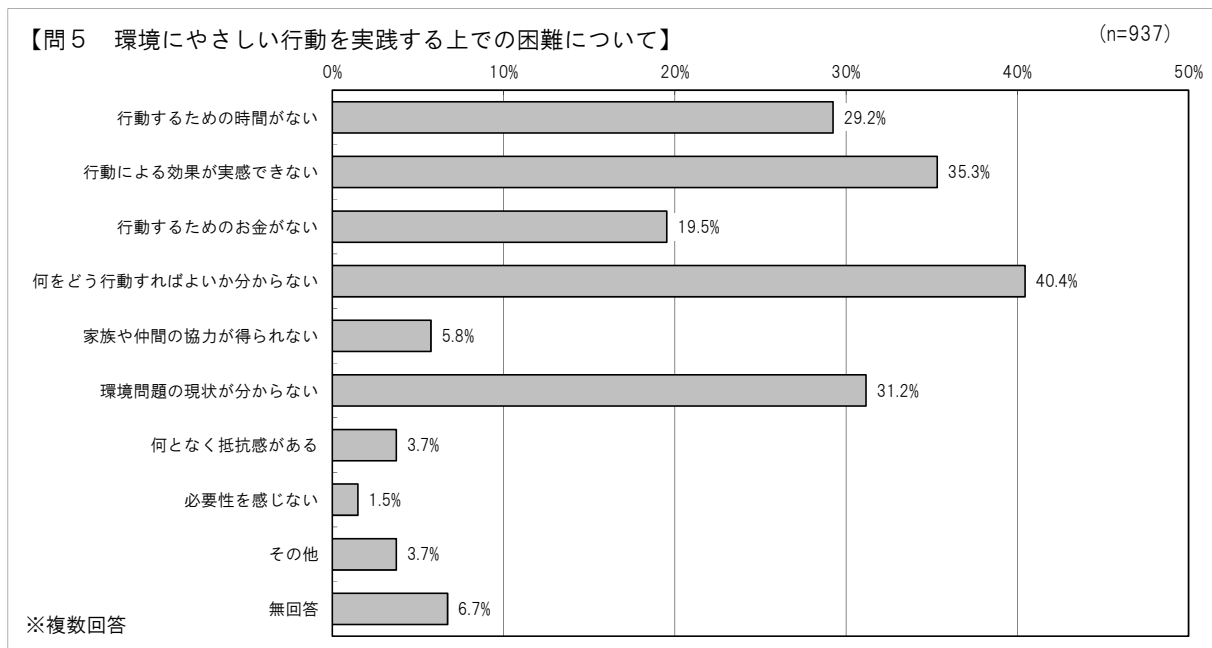


問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで、難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。次のうち、あなたの考えに近いものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 行動するための時間がない
- (2) 行動による効果が実感できない
- (3) 行動するためのお金がない
- (4) 何をどう行動すればよいか分からない
- (5) 家族や仲間の協力が得られない
- (6) 環境問題の現状が分からない
- (7) 何となく抵抗感がある
- (8) 必要性を感じない
- (9) その他

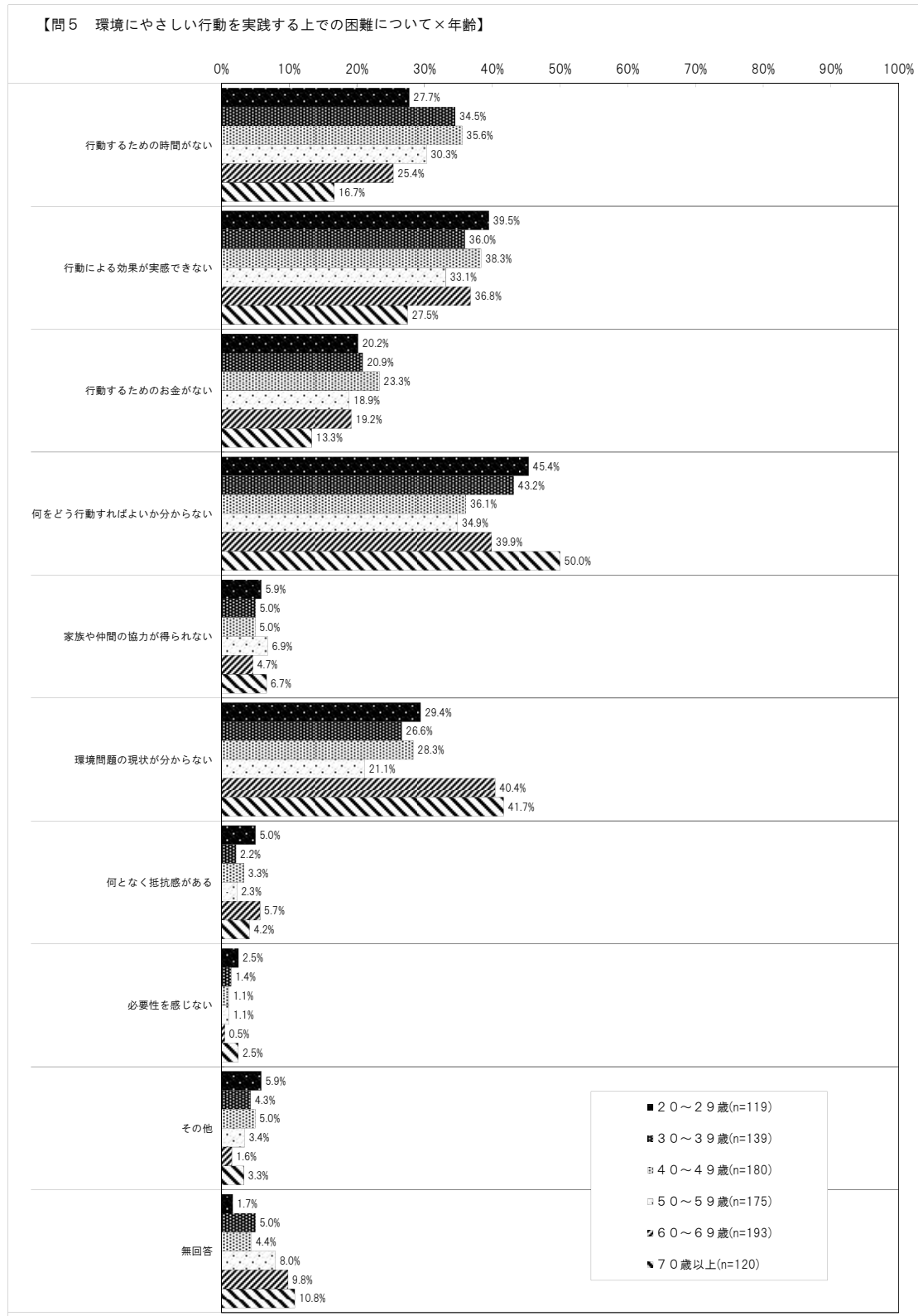
全体(図2-5-1)で見ると、「何をどう行動すればよいか分からない」が40.4%と最も高く、次いで「行動による効果が実感できない」(35.3%)、「環境問題の現状が分からない」(31.2%)の順となっています。

図2-5-1 環境にやさしい行動を実践する上での困難



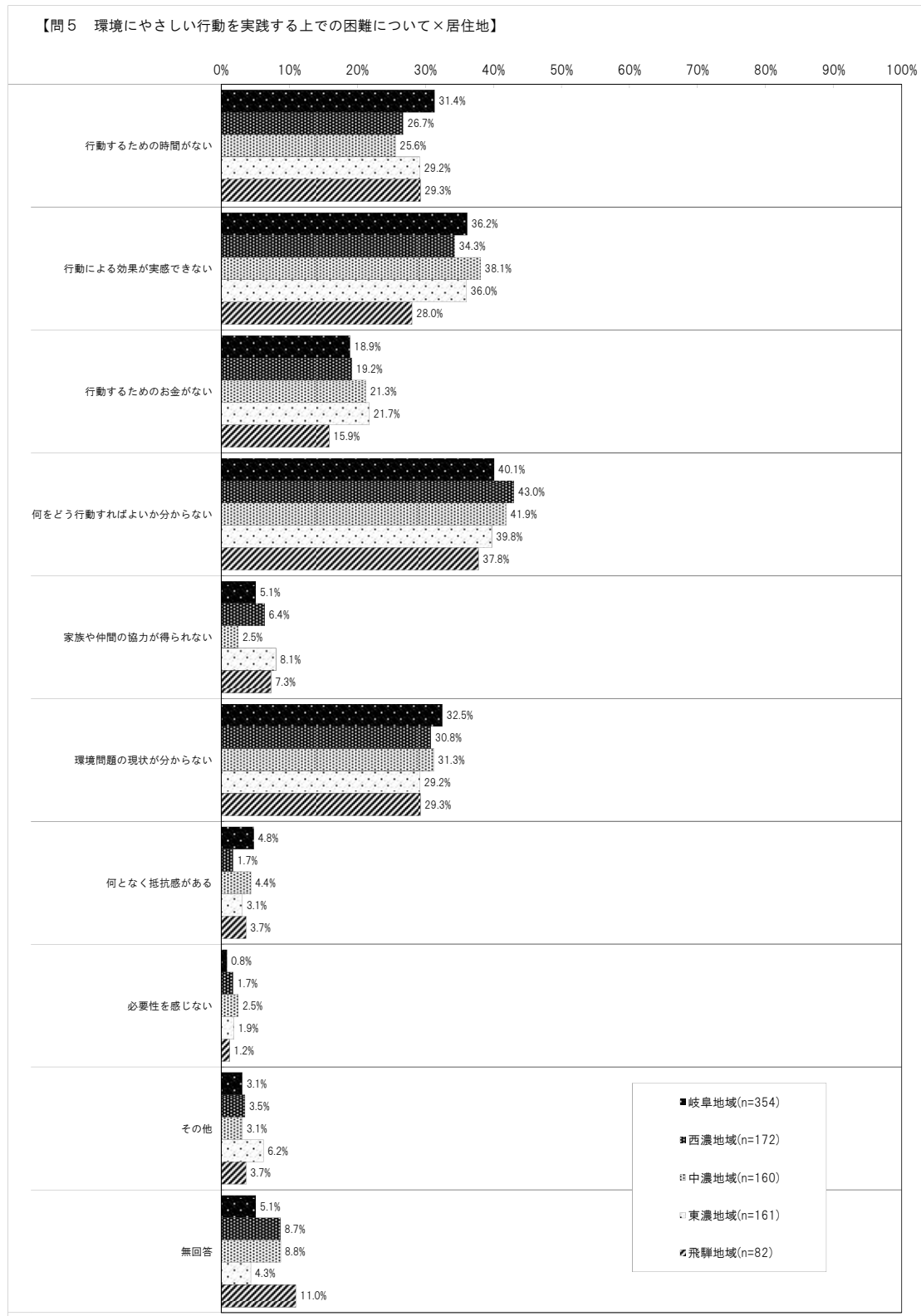
年齢別（図 2-5-2）で見ると、20～29 歳、70 歳以上では「何をどう行動すればよいか分からない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。

図 2-5-2 【年齢別】環境にやさしい行動を実践する上での困難



居住地別（図 2-5-3）で見ると、飛騨地域では「行動による効果が実感できない」が他の居住地と比べて低くなっています。

図 2-5-3 【居住地別】環境にやさしい行動を実践する上での困難



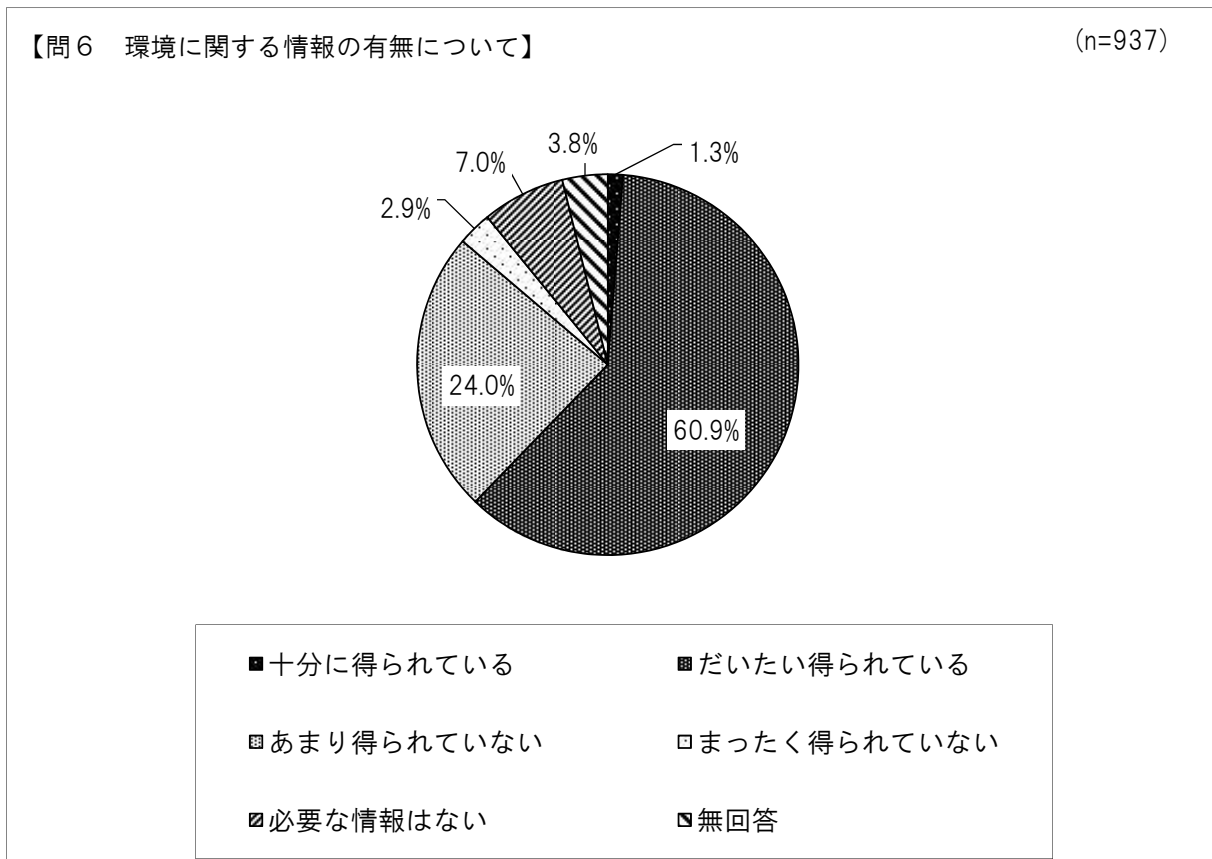
2-2 環境に関する情報について

問6 環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
(3)、(4)に○をつけた方は、()に得られていない情報を記入してください。

(1) 十分に得られている
(2) だいたい得られている
(3) あまり得られていない
(4) まったく得られていない
(5) 必要な情報はない

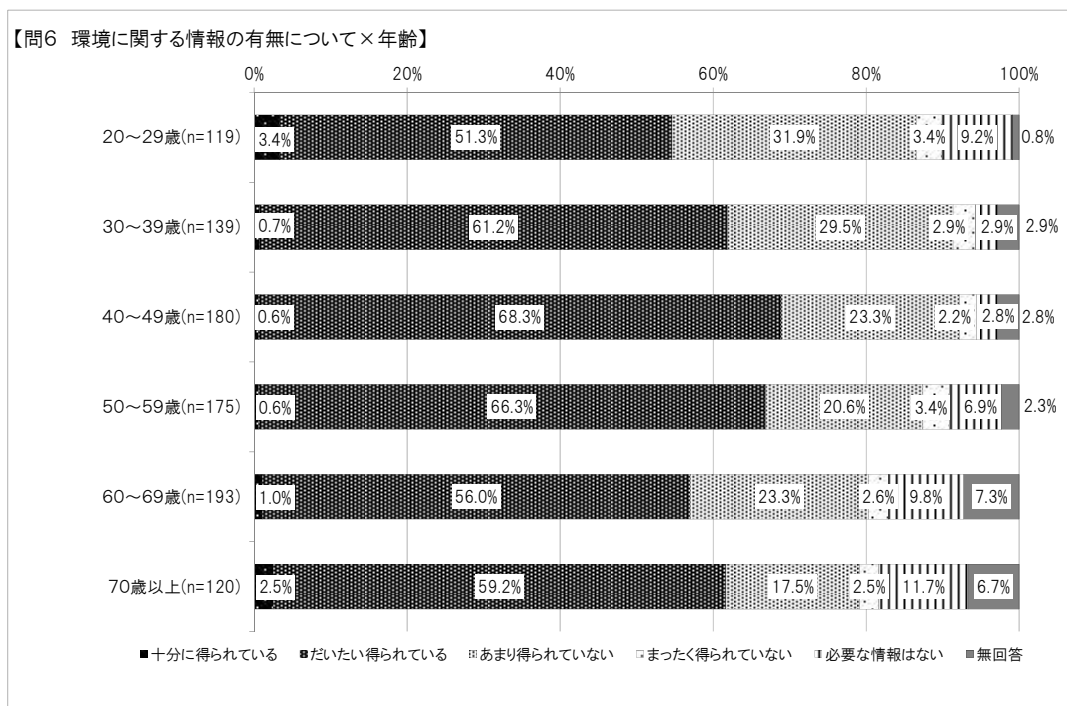
全体(図2-6-1)で見ると、「だいたい得られている」が60.9%と最も高く、次いで「あまり得られていない」(24.0%)、「必要な情報はない」(7.0%)の順となっています。

図 2-6-1 環境に関する情報の有無



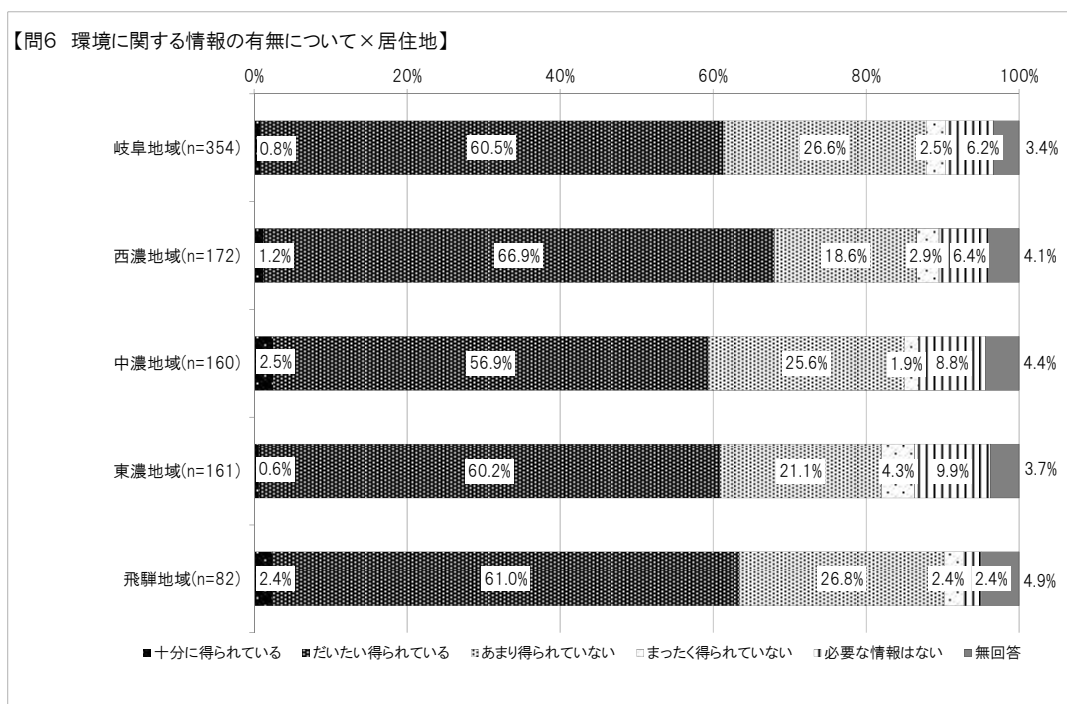
年齢別（図 2-6-2）で見ると、すべての年代において「だいたい得られている」が高くなっています。

図 2-6-2 【年齢別】環境に関する情報の有無



居住地別（図 2-6-3）で見ると、いずれの居住地においても「だいたい得られている」が最も高くなっています。また、西濃地域では「あまり得られていない」が他の居住地と比べて低くなっています。

図 2-6-3 【居住地別】環境に関する情報の有無

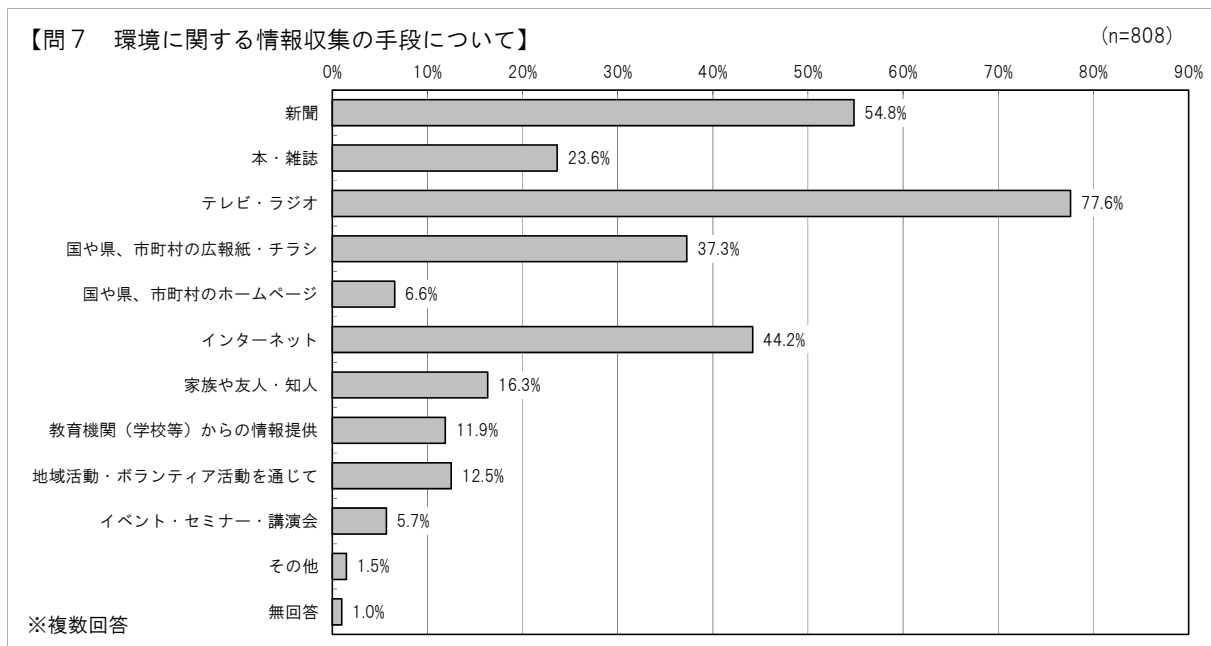


問7 問6で(1)～(3)を選んだ方に伺います。あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 家族や友人・知人
- (8) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (9) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (10) イベント・セミナー・講演会
- (11) その他

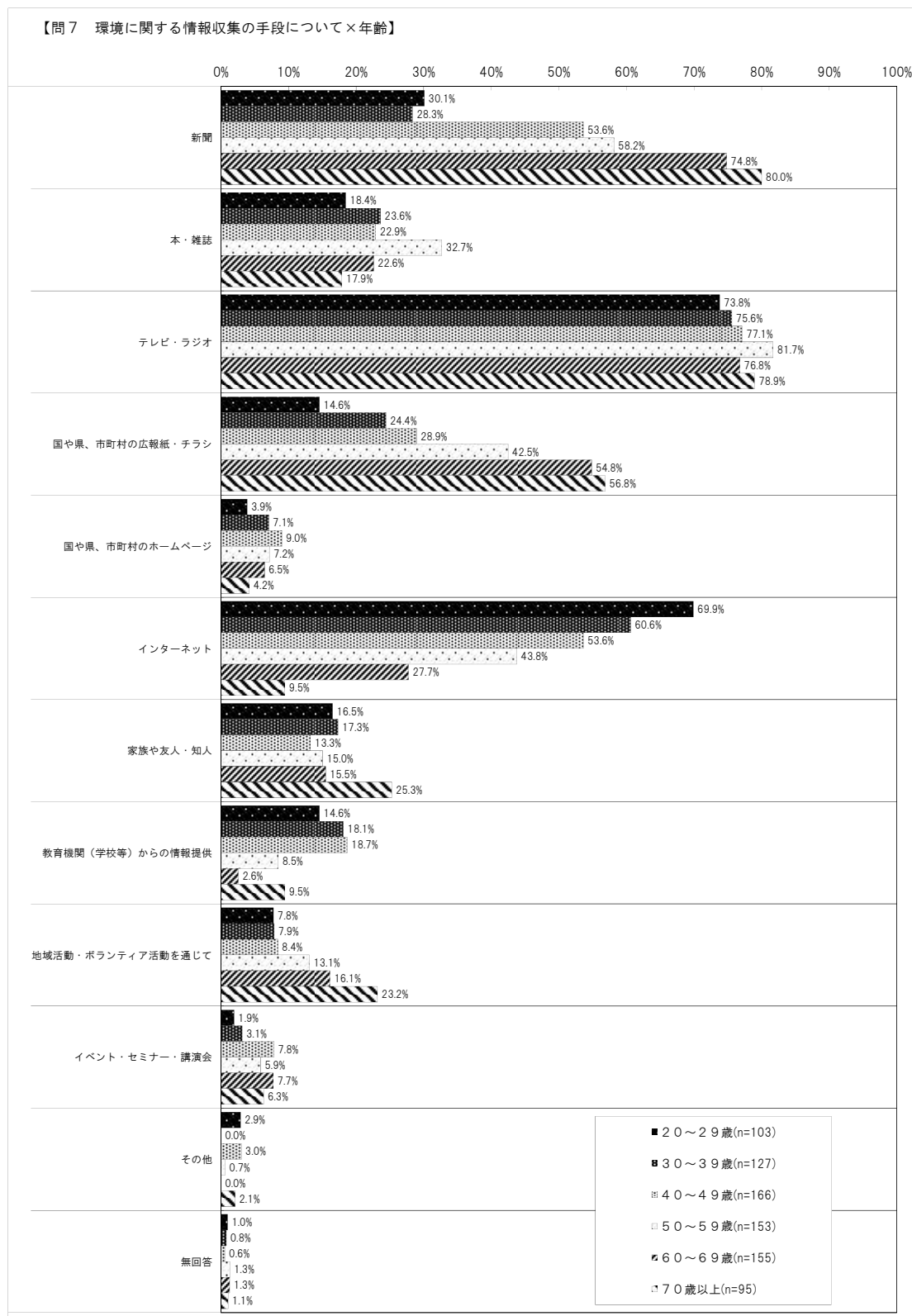
全体(図2-7-1)で見ると、「テレビ・ラジオ」が77.6%と最も高く、次いで「新聞」(54.8%)、「インターネット」(44.2%)の順となっています。

図2-7-1 環境に関する情報収集の手段



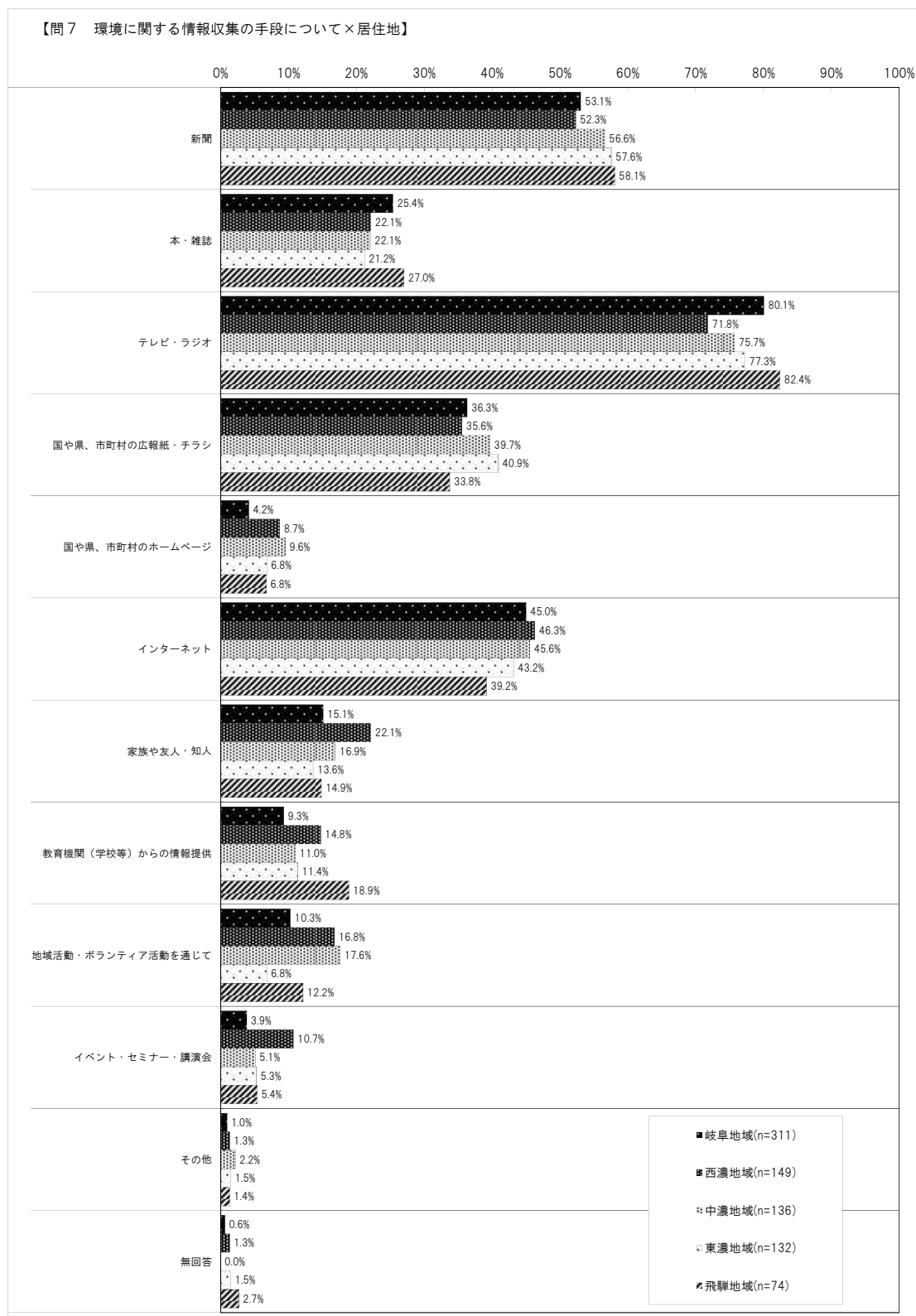
年齢別（図 2-7-2）でみると、「インターネット」は年齢区分が低くなるにつれて高くなっており、「国や県、市町村の広報紙・チラシ」は年齢区分が高くなるにつれて高くなっています。

図 2-7-2 【年齢別】環境に関する情報収集の手段



居住地別（図 2-7-3）でみると、「テレビ・ラジオ」は最も高かった飛騨地域と最も低かった西濃地域とでは 10 ポイント以上の差があります。

図 2-7-3 【居住地別】環境に関する情報収集の手段



2-3 県が実施する環境施策について

問8 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、あなたはどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

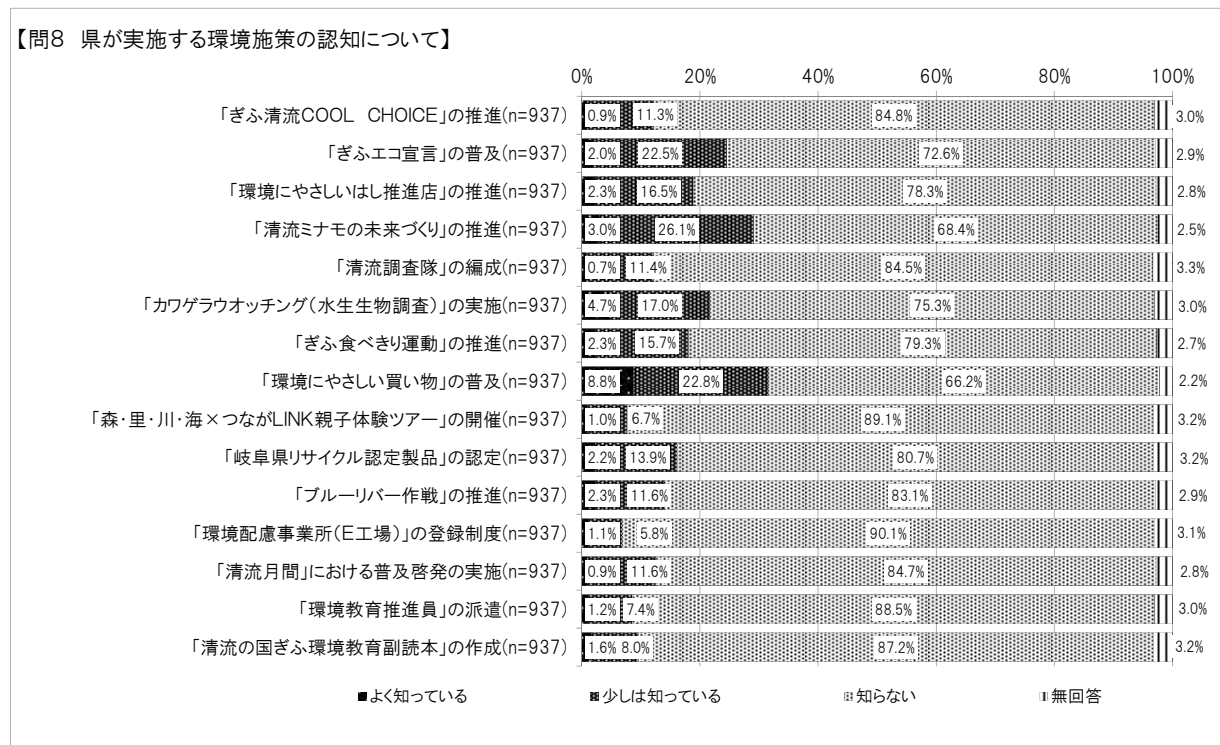
(1)「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進 (2)「ぎふエコ宣言」の普及
 (3)「環境にやさしいはし推進店」の推進 (4)「清流ミナモの未来づくり」の推進
 (5)「清流調査隊」の編成
 (6)「カワゲラウオッチング(水生生物調査)」の実施
 (7)「ぎふ食べきり運動」の推進 (8)「環境にやさしい買い物」の普及
 (9)「森・里・川・海×つながしINK親子体験ツアー」の開催
 (10)「岐阜県リサイクル認定製品」の認定 (11)「ブルーリバー作戦」の推進
 (12)「環境配慮事業所(E工場)」の登録制度 (13)「清流月間」における普及啓発の実施
 (14)「環境教育推進員」の派遣 (15)「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成

【選択肢】

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 知らない

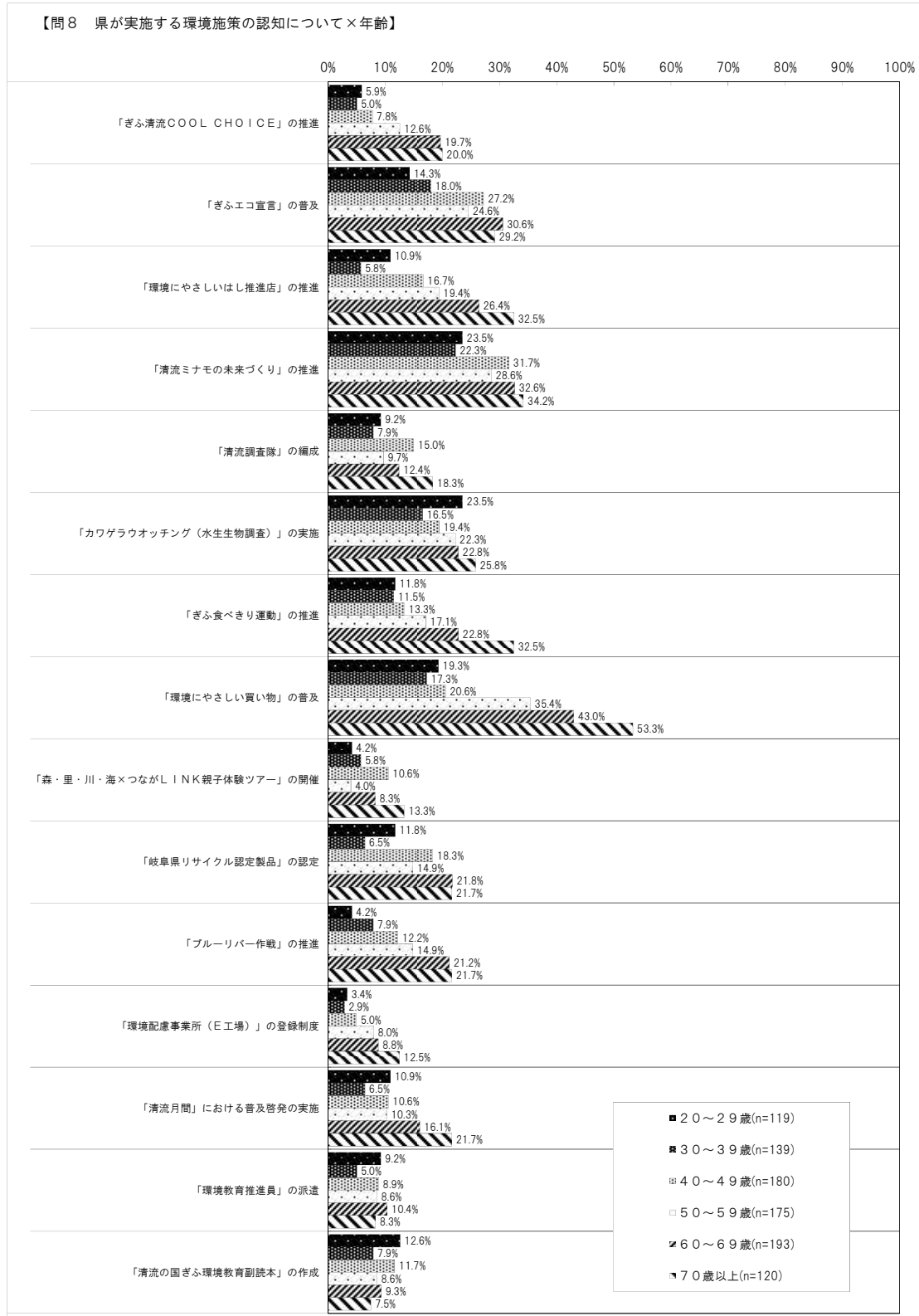
全体(図2-8-1)で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『環境にやさしい買い物』の普及』が31.6%と最も高く、次いで『清流ミナモの未来づくり』の推進』(29.1%)、『ぎふエコ宣言』の普及』(24.5%)の順となっています。

図2-8-1 県が実施する環境施策の認知



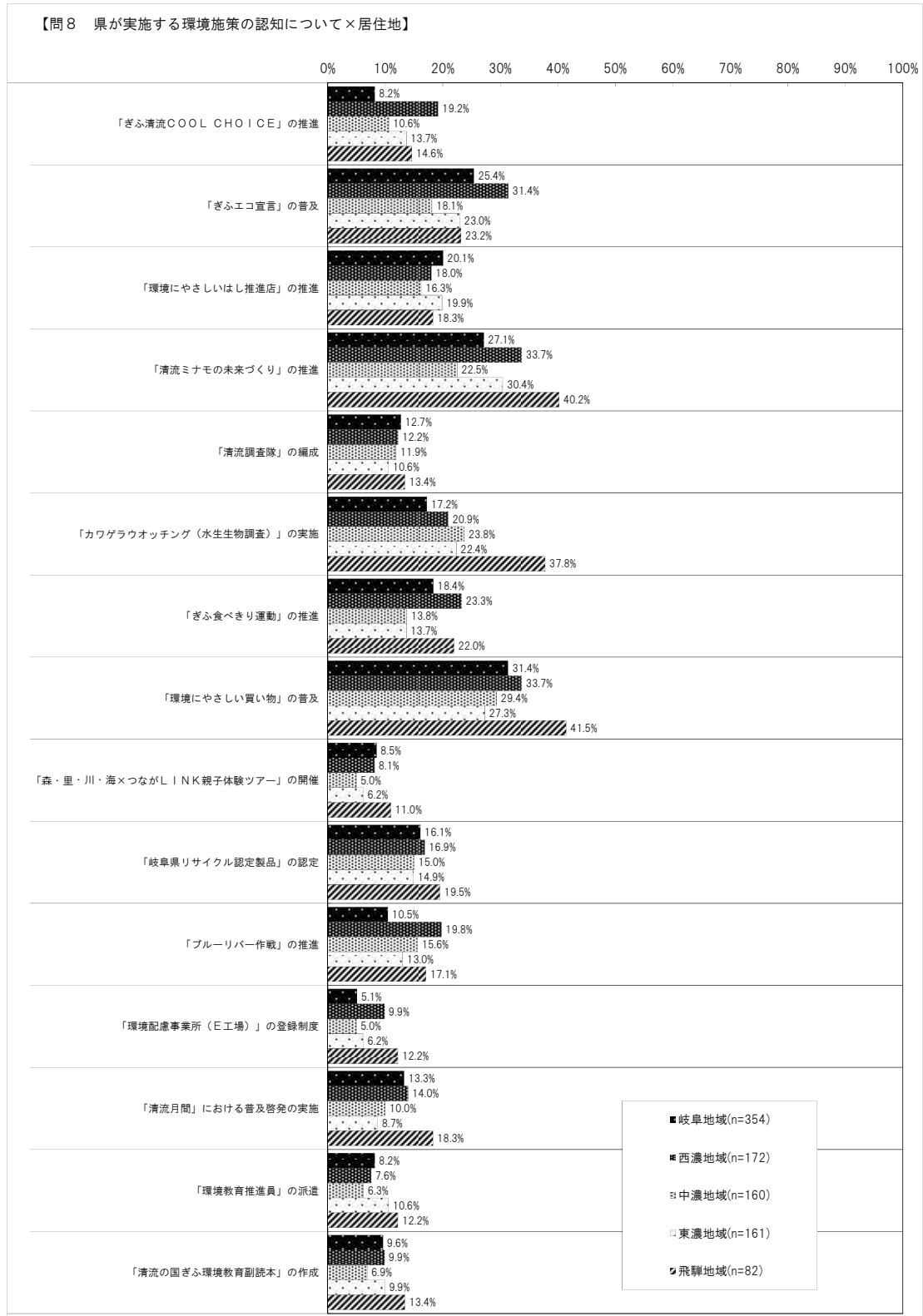
年齢別（図 2-8-2）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『「環境にやさしい買い物」の普及』は最も高かった 70 歳以上と最も低かった 30～39 歳とでは 35 ポイント以上の差があります。

図 2-8-2 【年齢別】県が実施する環境施策の認知



居住地別（図 2-8-3）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、飛騨地域では『「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施』が他の居住地と比べて高くなっています。

図 2-8-3 【居住地別】県が実施する環境施策の認知



3. 環境関連団体を対象とする調査結果

3-1 環境に対する関心や行動について

問1 貴団体は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

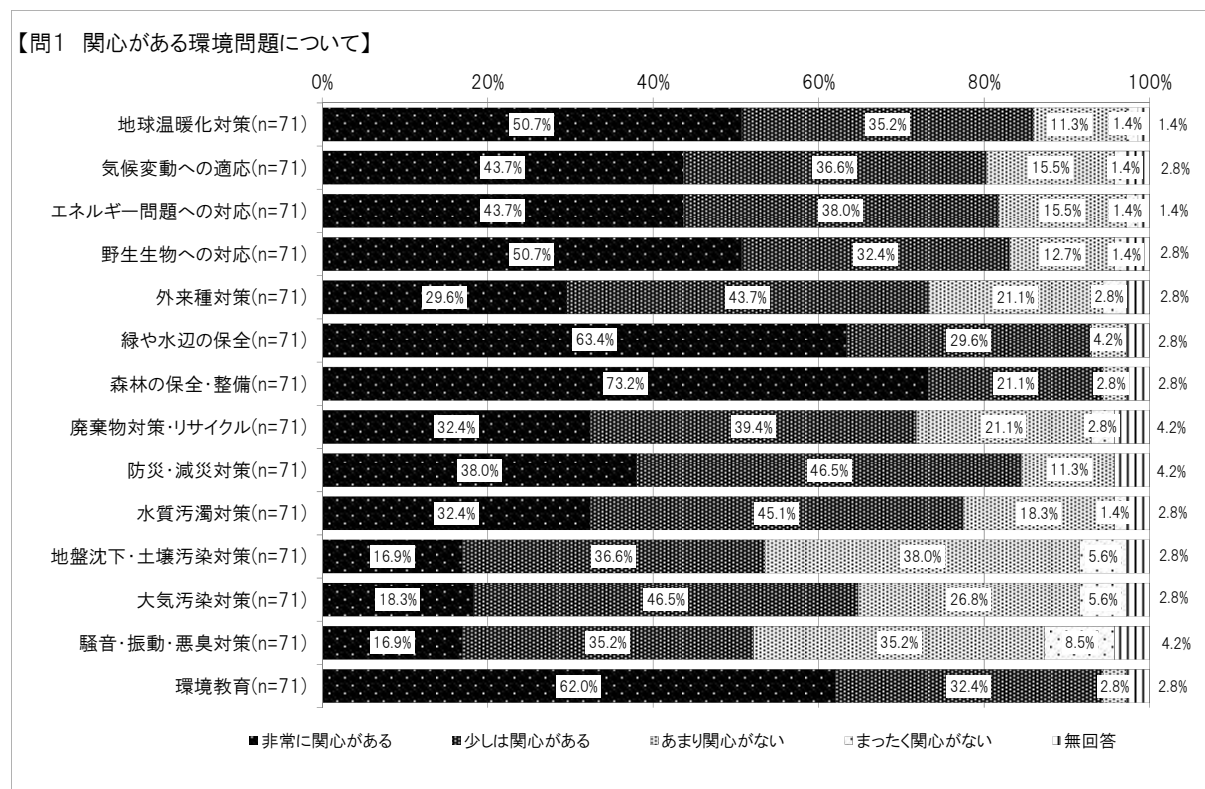
(1) 地球温暖化対策	(2) 気候変動への適応
(3) エネルギー問題への対応	(4) 野生生物への対応
(5) 外来種対策	(6) 緑や水辺の保全
(7) 森林の保全・整備	(8) 廃棄物対策・リサイクル
(9) 防災・減災対策	(10) 水質汚濁対策
(11) 地盤沈下・土壌汚染対策	(12) 大気汚染対策
(13) 騒音・振動・悪臭対策	(14) 環境教育

【選択肢】

1. 非常に関心がある	2. 少しは関心がある
3. あまり関心がない	4. まったく関心がない

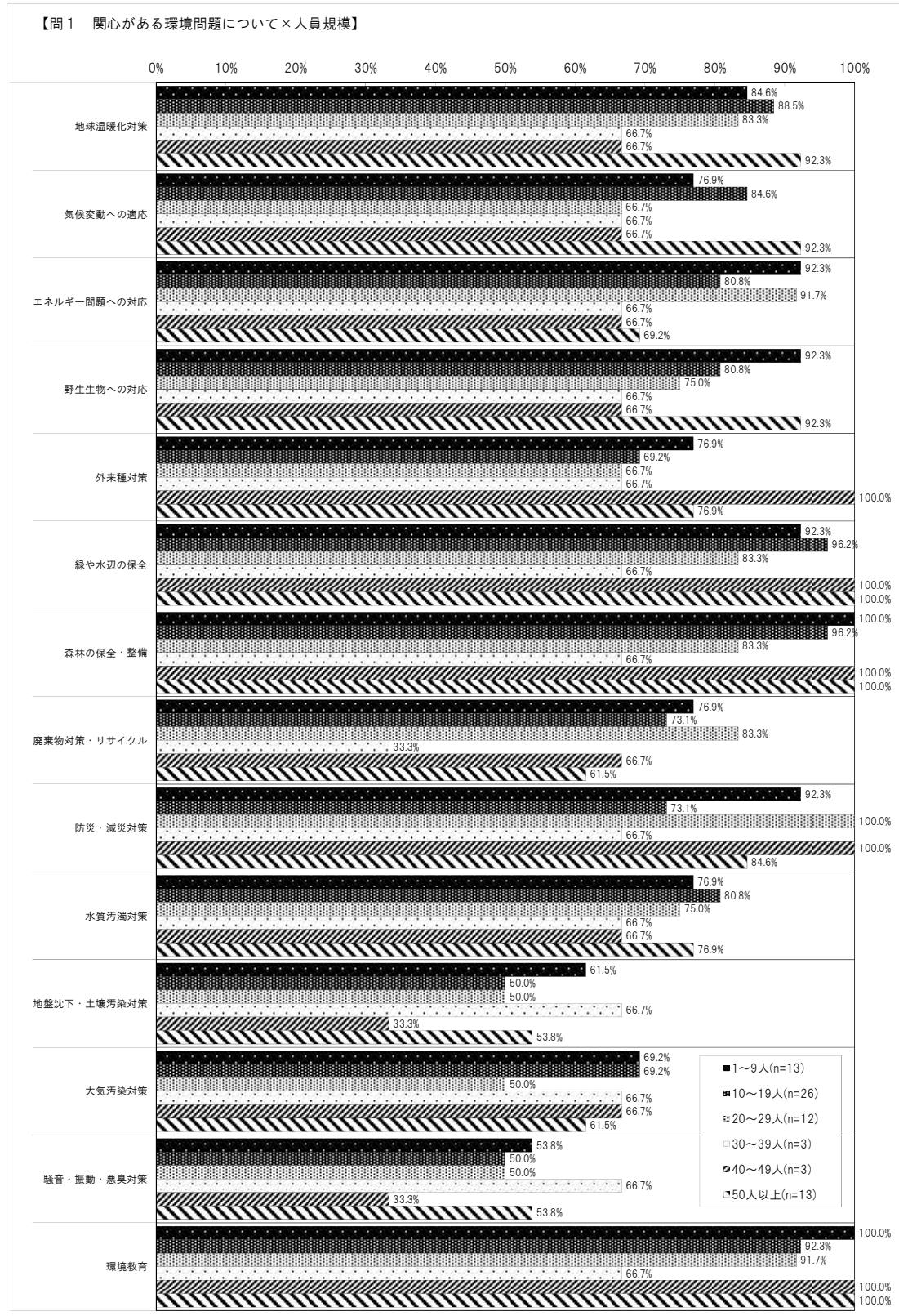
全体(図3-1-1)でみると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、『森林の保全・整備』と『環境教育』がともに94.3%と最も高く、次いで『緑や水辺の保全』(93.0%)の順となっています。

図3-1-1 関心がある環境問題



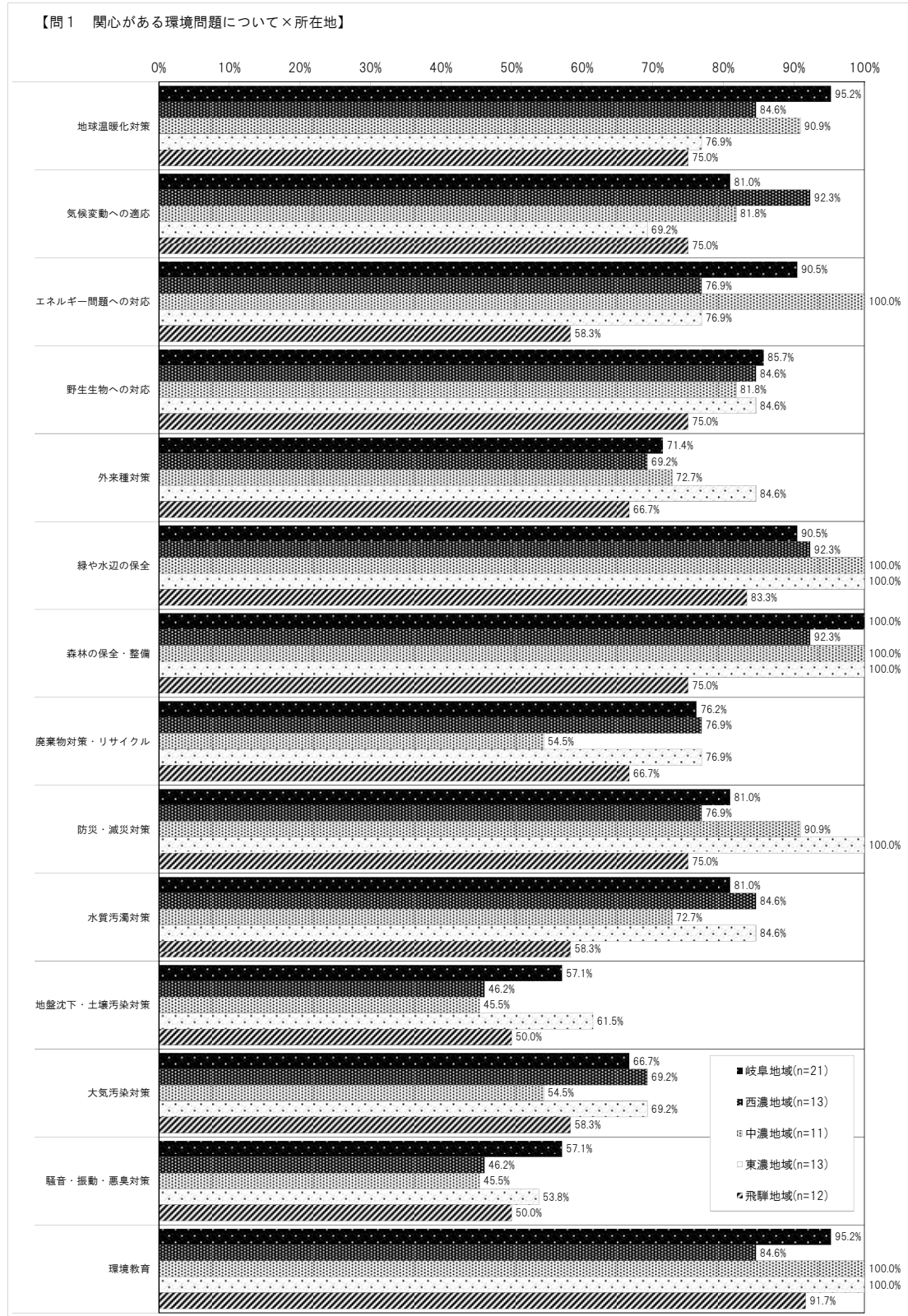
人員規模別（図 3-1-2）で見ると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、50人以上では『エネルギー問題への対応』が他の人員規模と比べて低くなっています。

図 3-1-2 【人員規模別】 関心がある環境問題



所在地別（図 3-1-3）で見ると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、飛騨地域では『森林の保全・整備』や『水質汚濁対策』、『野生生物への対応』、『エネルギー問題への対応』などで他の所在地と比べて低くなっています。

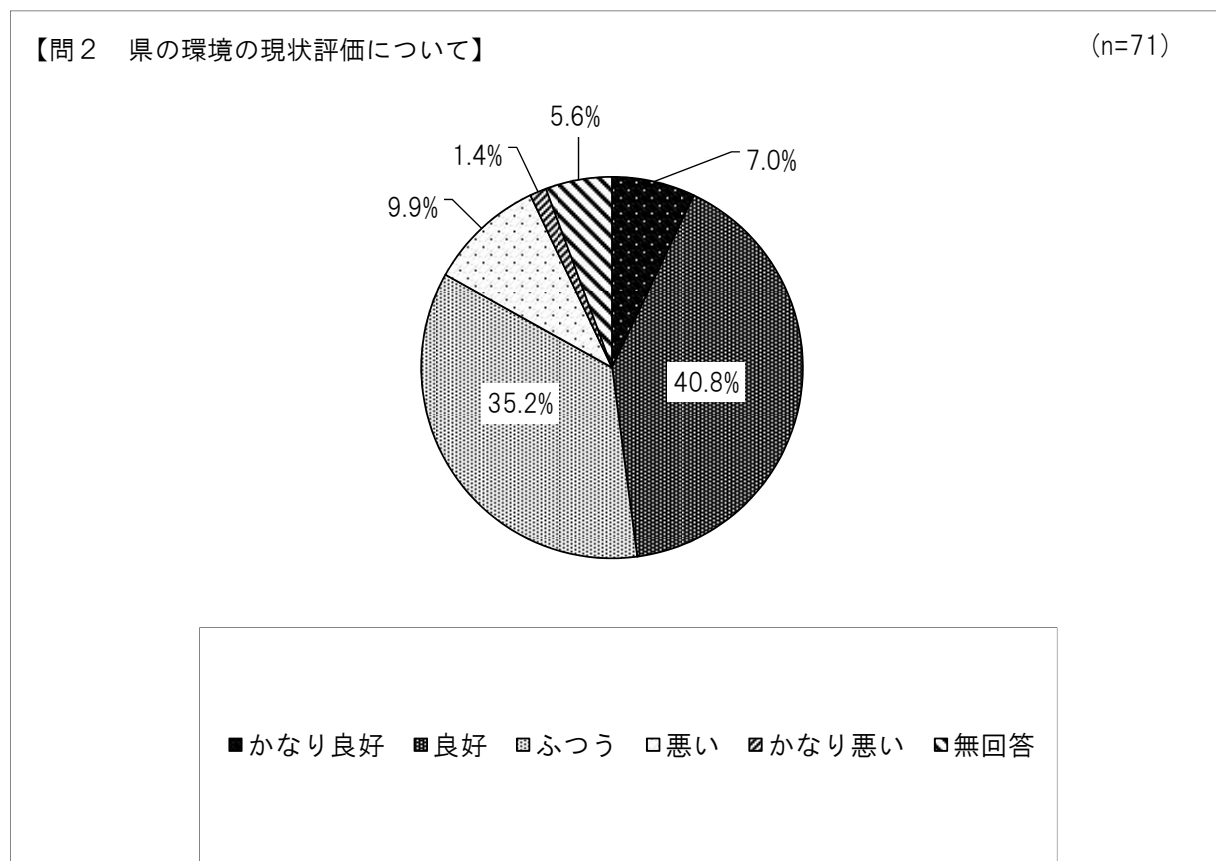
図 3-1-3 【所在地別】 関心がある環境問題



問2 貴団体は、県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
 （4）、（5）に○をつけた方は、（ ）に具体的な分野（問1参照）を記入してください。
 （1）かなり良好
 （2）良好
 （3）ふつう
 （4）悪い
 （5）かなり悪い

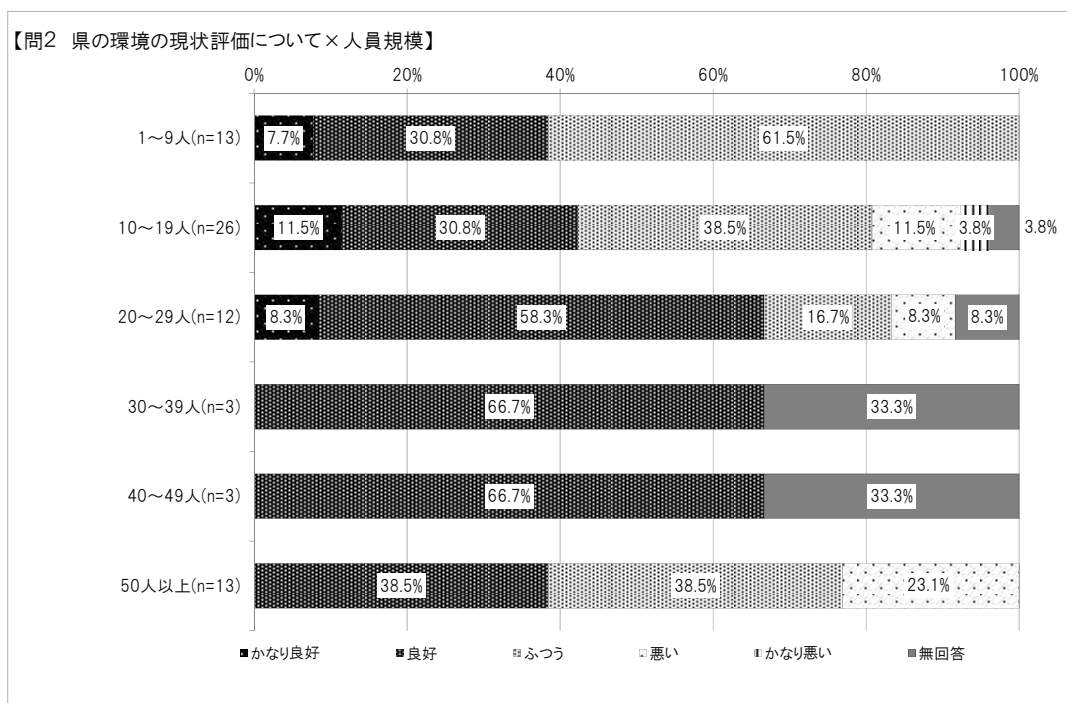
全体（図3-2-1）で見ると、「良好」が40.8%と最も高く、次いで「ふつう」（35.2%）、「悪い」（9.9%）の順となっています。

図3-2-1 県の環境の現状評価



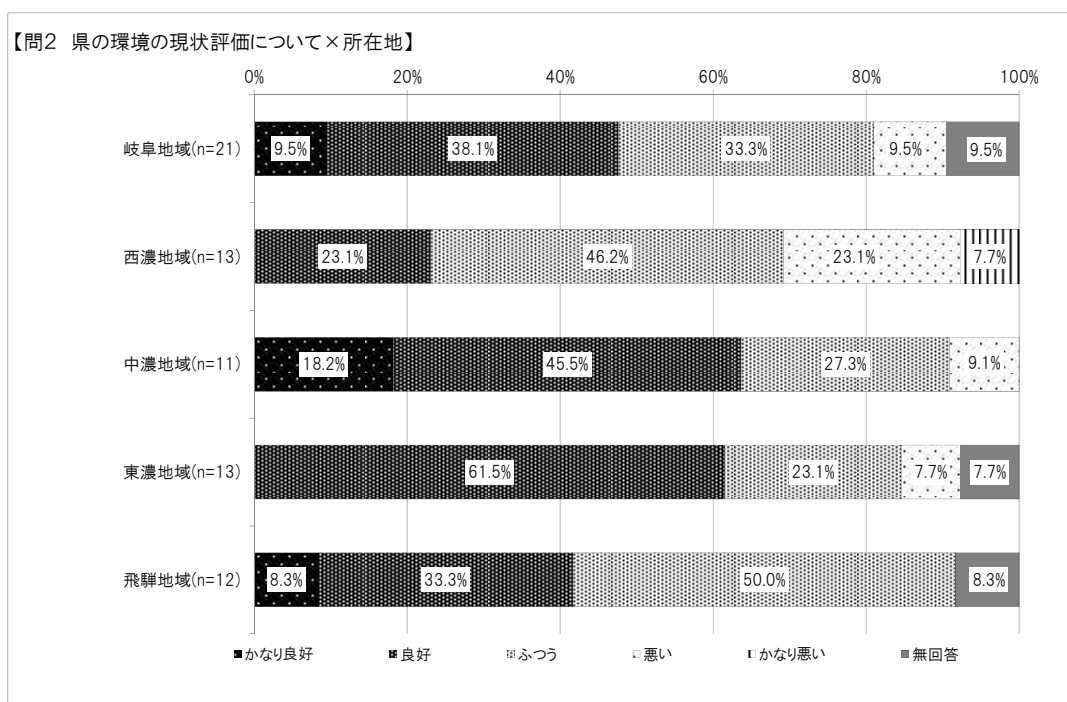
人員規模別（図 3-2-2）で見ると、1～9 人では「ふつう」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-2-2 【人員規模別】 県の環境の現状評価



所在地別（図 3-2-3）で見ると、西濃地域では「悪い」が他の所在地と比べて高くなっています。また、東濃地域では「良好」が他の所在地と比べ高くなっています。

図 3-2-3 【所在地別】 県の環境の現状評価



問3 貴団体は、県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

（○は1つ）

（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）に具体的な分野（問1参照）を記入してください。

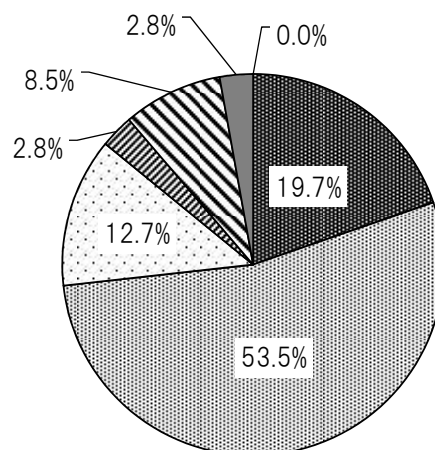
- （1）かなり良くなった
- （2）良くなった
- （3）変わらない
- （4）悪くなった
- （5）かなり悪くなった
- （6）わからない

全体（図 3-3-1）で見ると、「変わらない」が 53.5%と最も高く、次いで「良くなった」（19.7%）、「悪くなった」（12.7%）の順となっています。

図 3-3-1 県の環境の 5 年前との比較

【問3 県の環境の5年前との比較について】

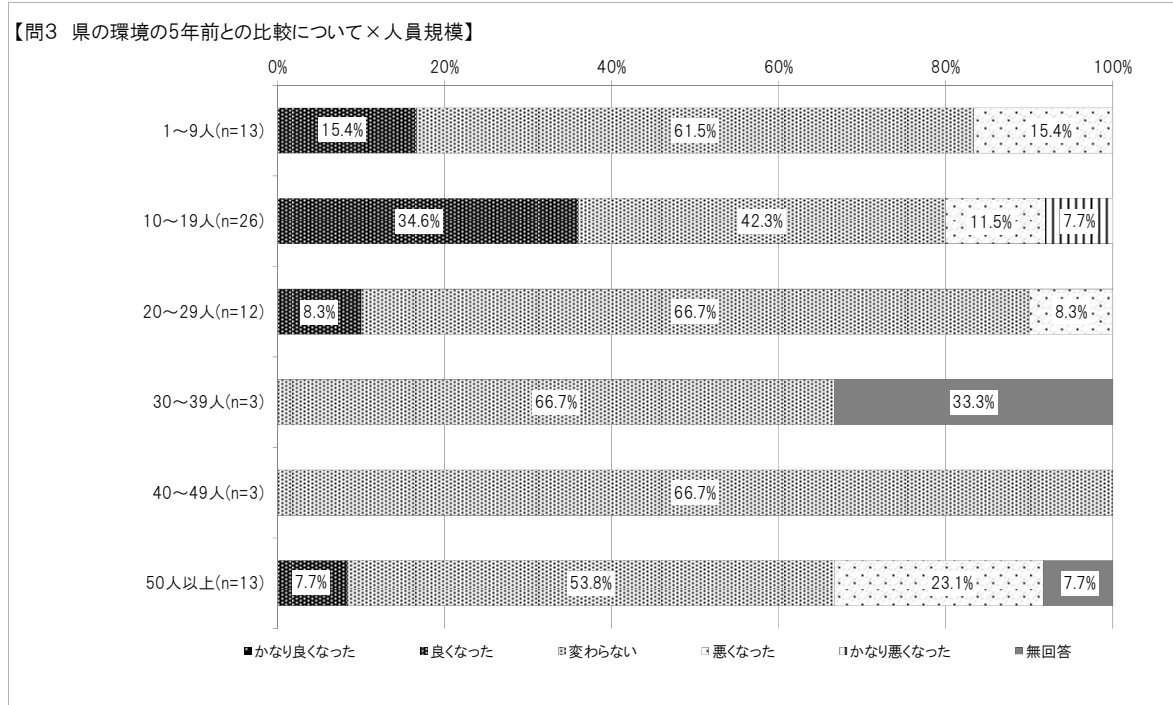
(n=71)



- かなり良くなった
- 良くなった
- 変わらない
- 悪くなった
- かなり悪くなった
- わからない
- 無回答

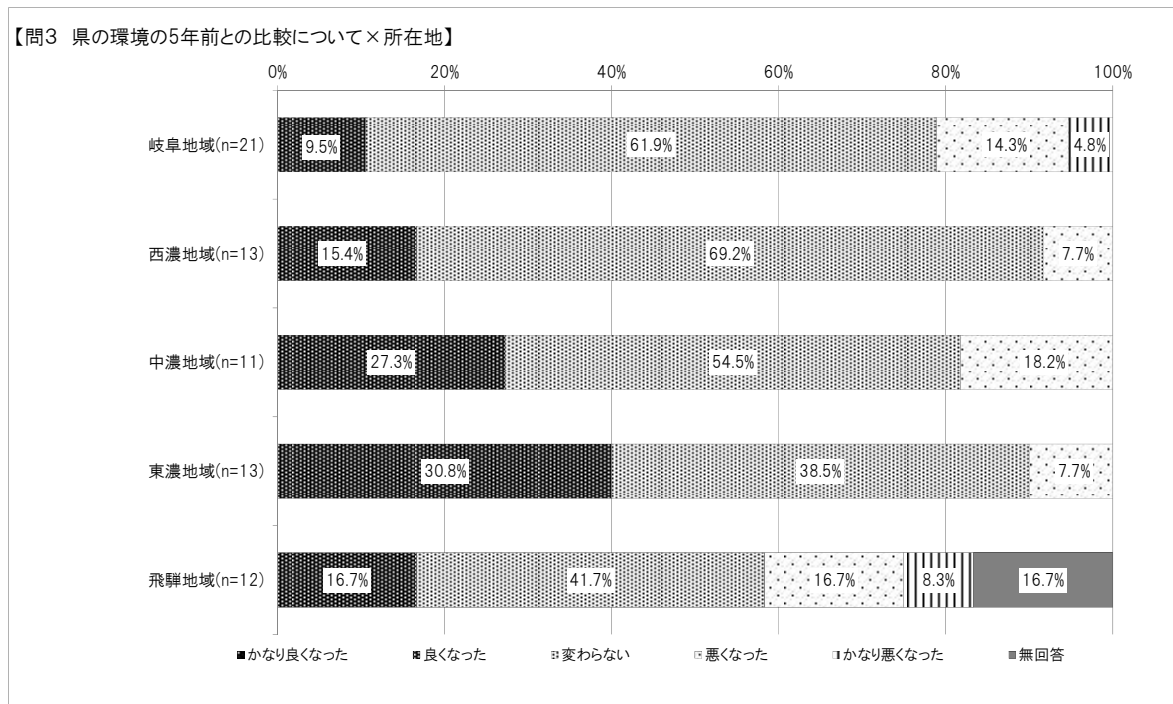
人員規模別（図 3-3-2）で見ると、10～19 人では「良くなった」が他の人員規模より高くなっており、50 人以上では「悪くなった」が他の人員規模より高くなっています。

図 3-3-2 【人員規模別】 県の環境の 5 年前との比較



所在地別（図 3-3-3）で見ると、いずれの所在地においても「変わらない」が最も高くなっています。なお、東濃地域では「良くなった」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-3-3 【所在地別】 県の環境の 5 年前との比較



問4 貴団体において、現在実施されている環境活動と今後実施したい環境活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【項目】

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| (1) 地球温暖化防止活動 | (2) エコ通勤・エコドライブに関する活動 |
| (3) 省エネルギー・再生エネルギー等に関する活動 | (4) 地産地消に関する活動 |
| (5) 自然保護活動 | (6) 希少動植物の保護活動 |
| (7) 外来種の防除活動 | (8) 里地・里山の保全活動 |
| (9) 市街地等の緑化に関する活動 | (10) 森林整備に関する活動 |
| (11) ごみ減量化に関する活動 | (12) 3Rに関する活動 |
| (13) 食品ロス削減に関する活動 | (14) グリーン購入に関する活動 |
| (15) 水環境の保全に関する活動 | (16) 土壌環境の保全に関する活動 |
| (17) 大気環境の保全に関する活動 | (18) 生活環境の保全に関する活動 |
| (19) 環境美化活動 | (20) 自然体験などの環境教育活動 |
| (21) 教育機関と連携した環境教育活動 | (22) その他 |

【選択肢】

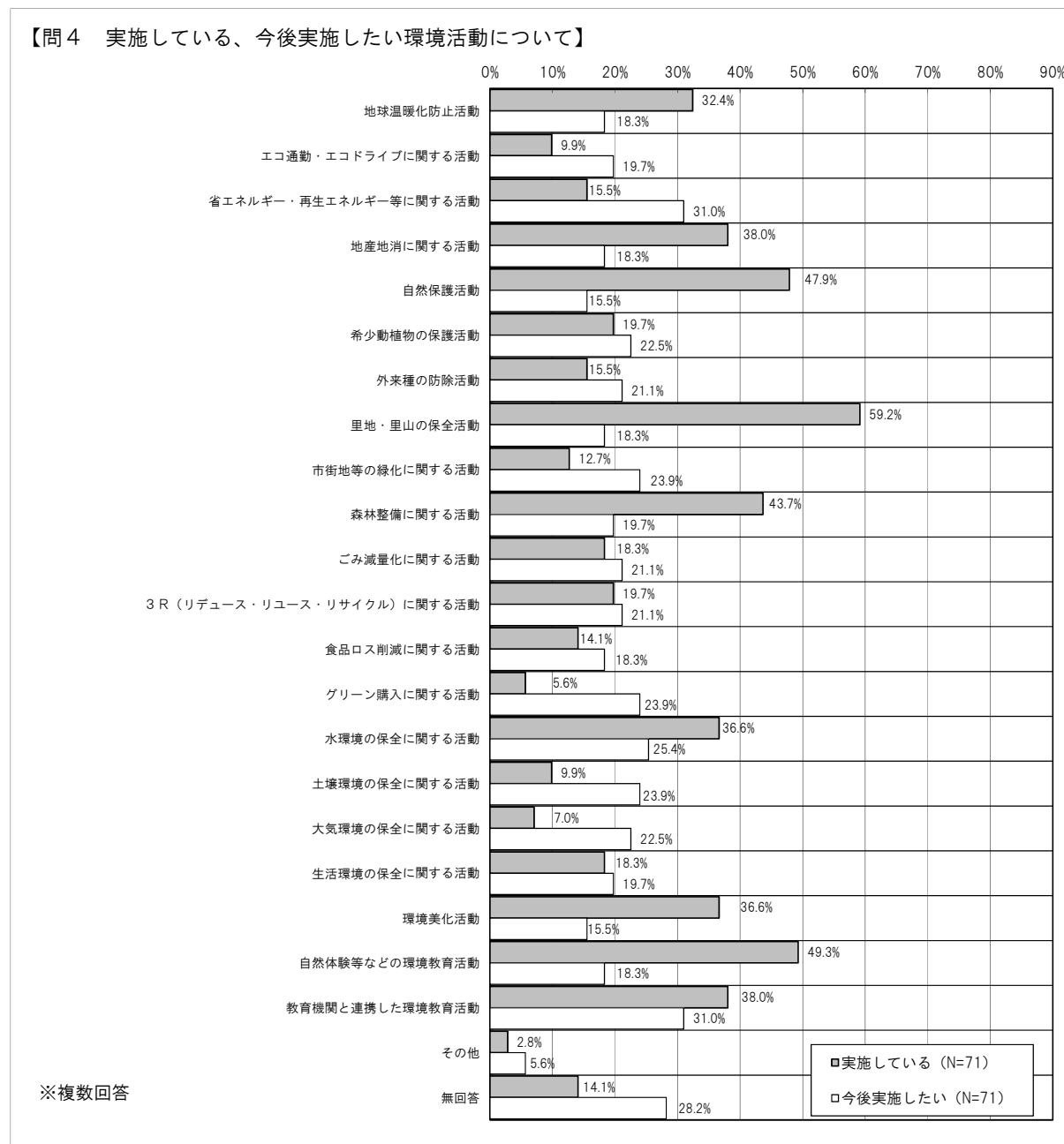
1. 現在実施している

2. 今後実施したい

全体（図 3-4-1）で見ると、「現在実施している」について、『里地・里山の保全活動』が 59.2%と最も高く、次いで『自然体験等などの環境教育活動』（49.3%）、『自然保護活動』（47.9%）の順となっています。

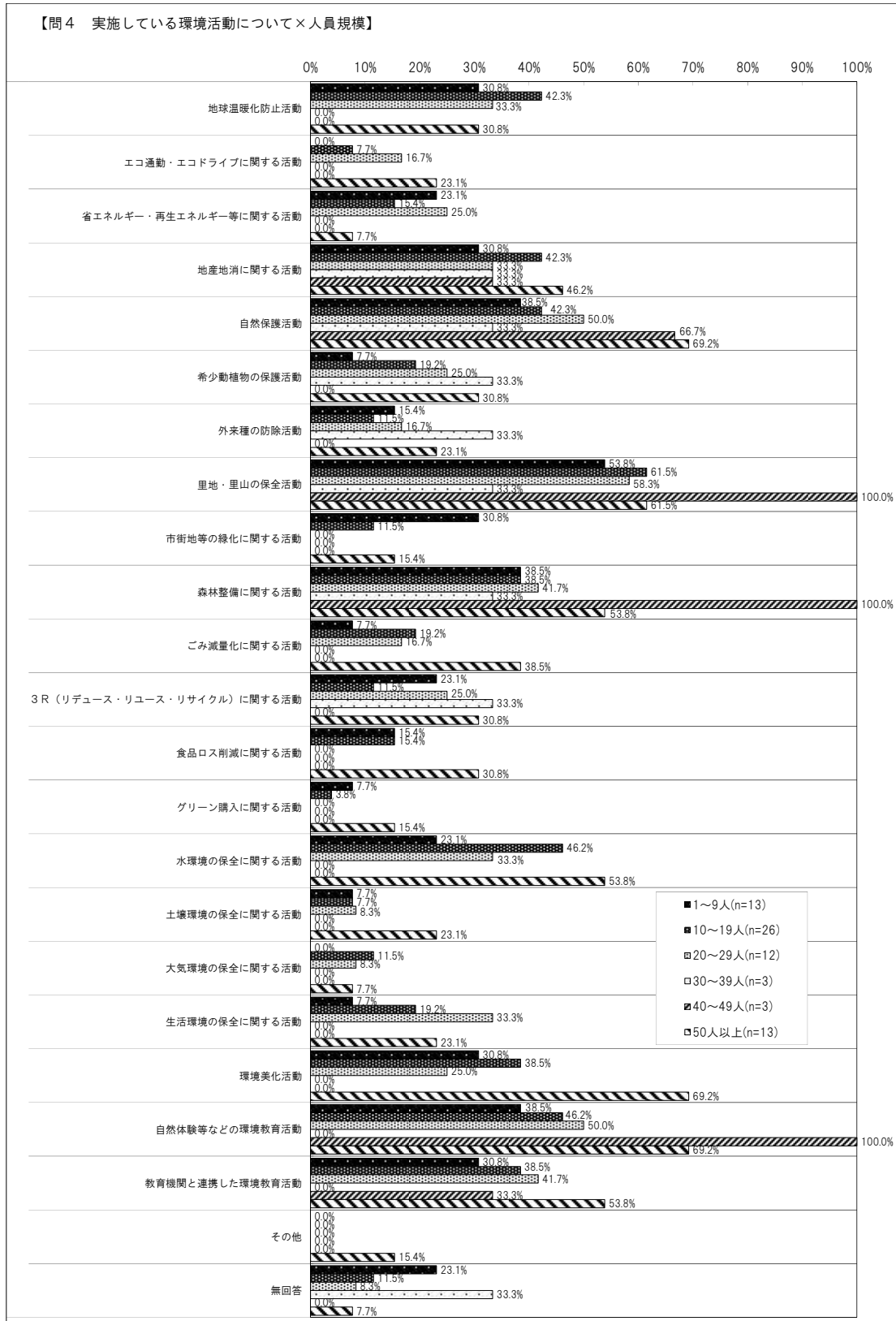
また、「今後実施したい」について、『省エネルギー・再生エネルギー等に関する活動』と『教育機関と連携した環境教育活動』がともに 31.0%と最も高く、次いで『水環境の保全に関する活動』（25.4%）の順となっています。

図 3-4-1 実施している、今後実施したい環境活動



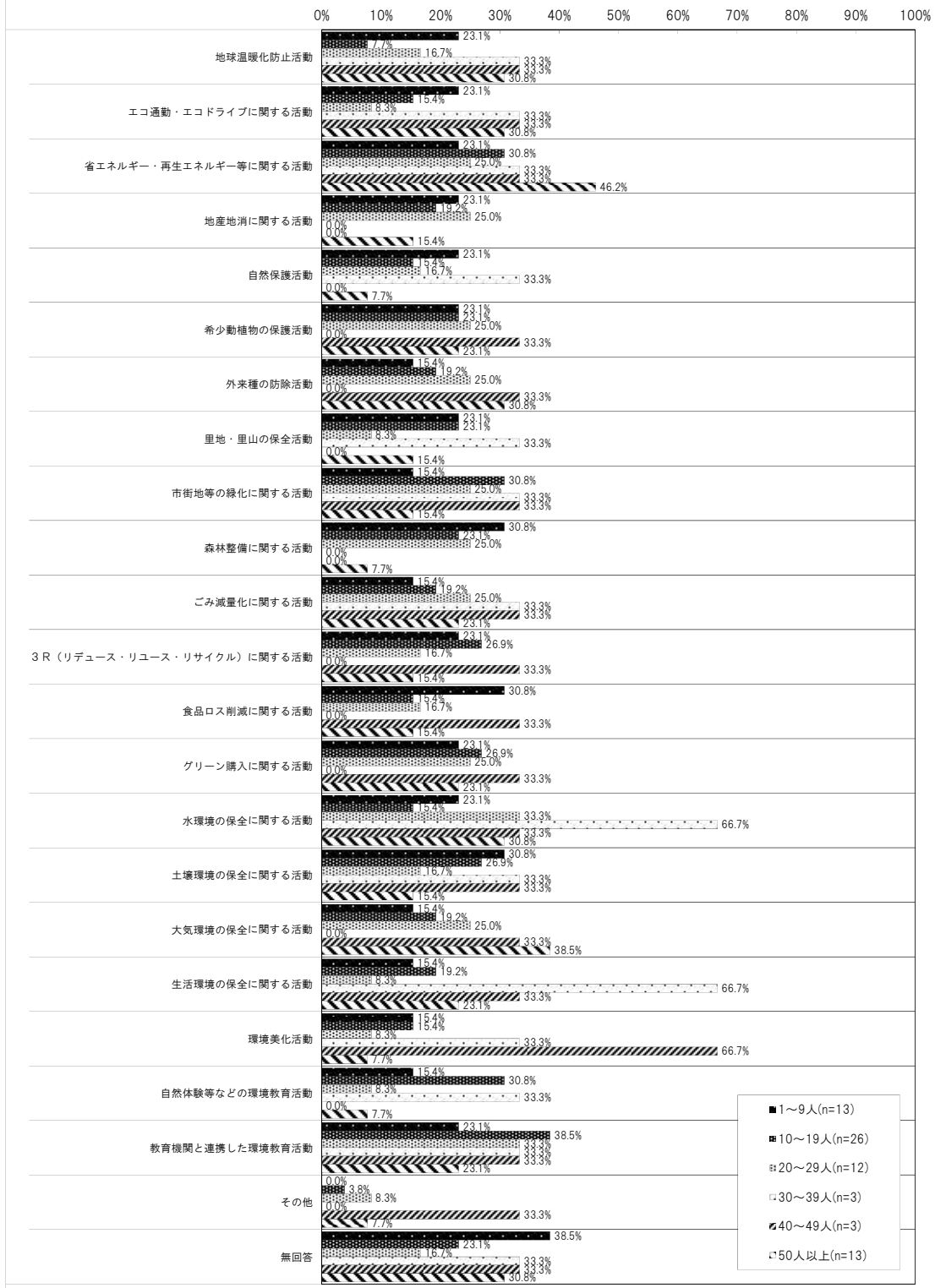
人員規模別（図 3-4-2）でみると、「現在実施している」について、『自然保護活動』で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。「今後実施したい」について、『外来種の防除活動』や『大気環境の保全に関する活動』で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 3-4-2 【人員規模別】実施している、今後実施したい環境活動
 <実施している環境活動>



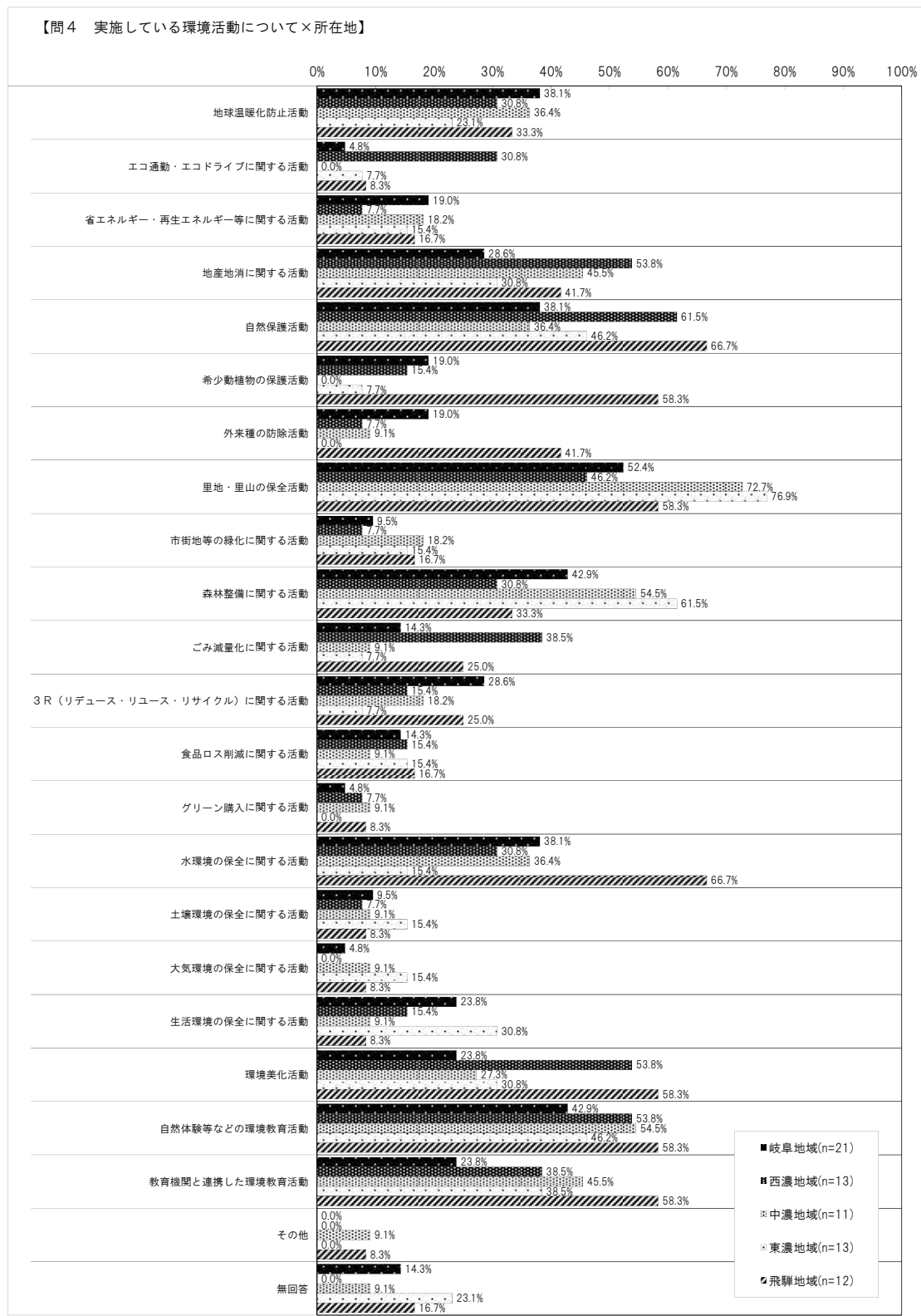
＜今後実施したい環境活動＞

【問4 今後実施したい環境活動について×人員規模】



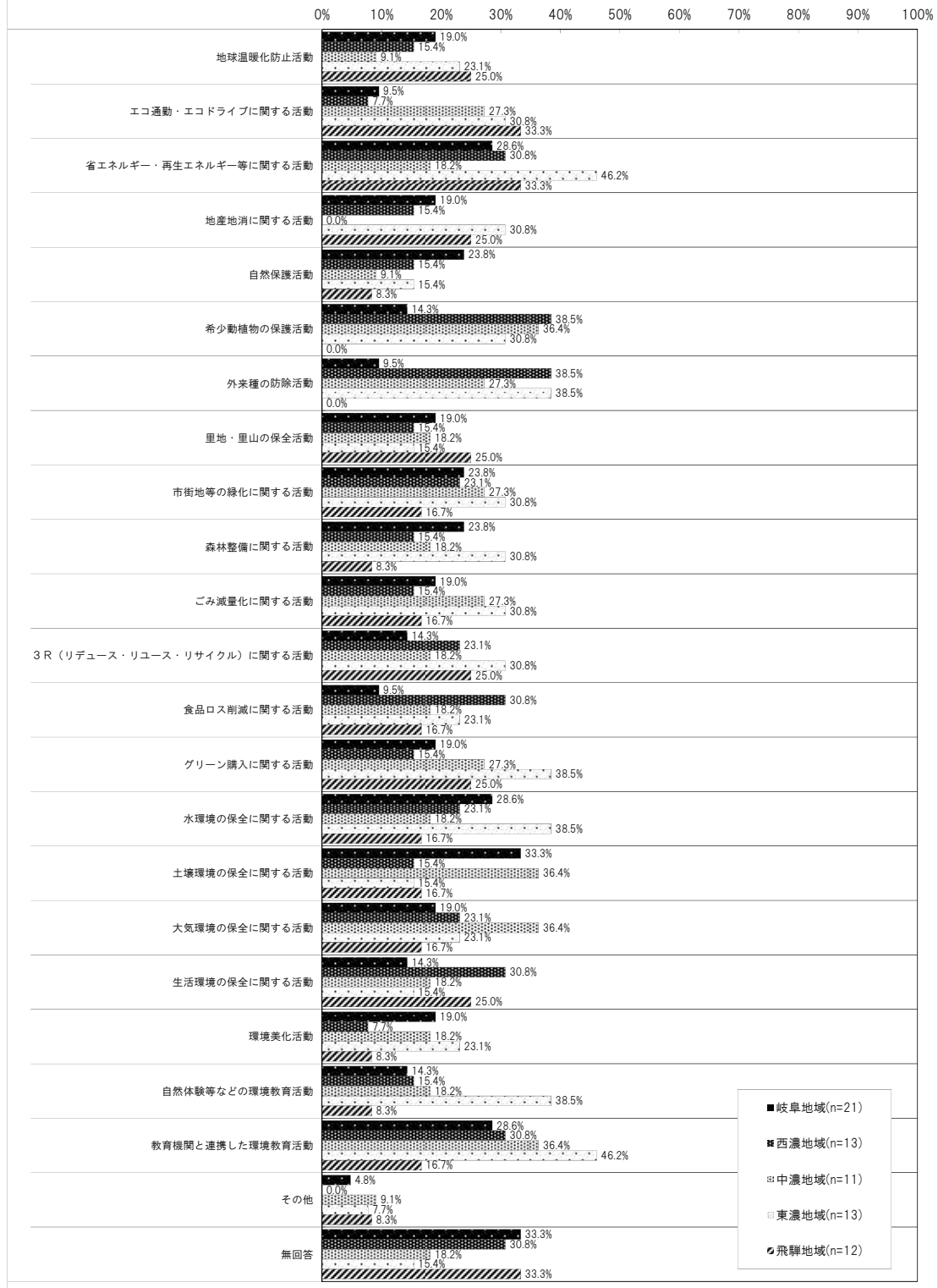
所在地別（図3-4-3）でみると、「現在実施している」について、中濃地域や東濃地域では『里地・里山の保全活動』と『森林整備に関する活動』で他の所在地と比べて高くなっています。「今後実施したい」について、東濃地域では『自然体験等などの環境教育活動』で、他の所在地と比べて高くなっています。

図3-4-3 【所在地別】実施している、今後実施したい環境活動
 <実施している環境活動>



＜今後実施したい環境活動＞

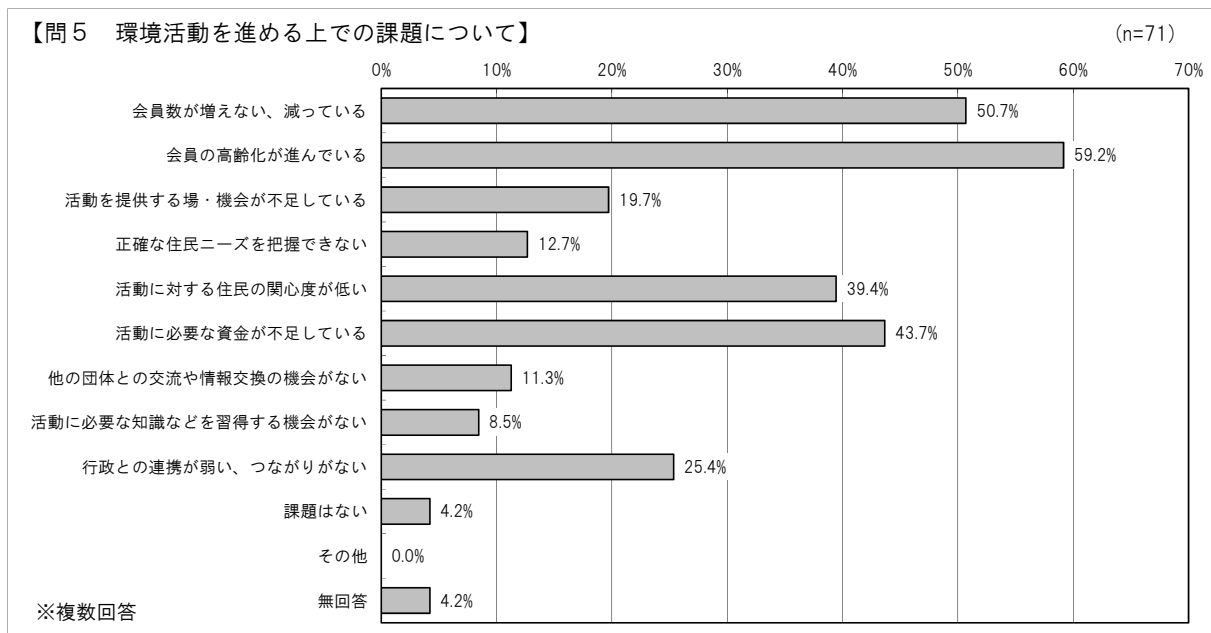
【問4 今後実施したい環境活動について×所在地】



- 問5 貴団体において、環境活動を進めるうえで抱えている課題はありますか。
次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(〇いくつでも)
- (1) 会員数が増えない、減っている
 - (2) 会員の高齢化が進んでいる
 - (3) 活動を提供する場・機会が不足している
 - (4) 正確な住民ニーズを把握できない
 - (5) 活動に対する住民の関心度が低い
 - (6) 活動に必要な資金が不足している
 - (7) 他の団体との交流や情報交換の機会がない
 - (8) 活動に必要な知識などを習得する機会がない
 - (9) 行政との連携が弱い、つながりがない
 - (10) 課題はない
 - (11) その他

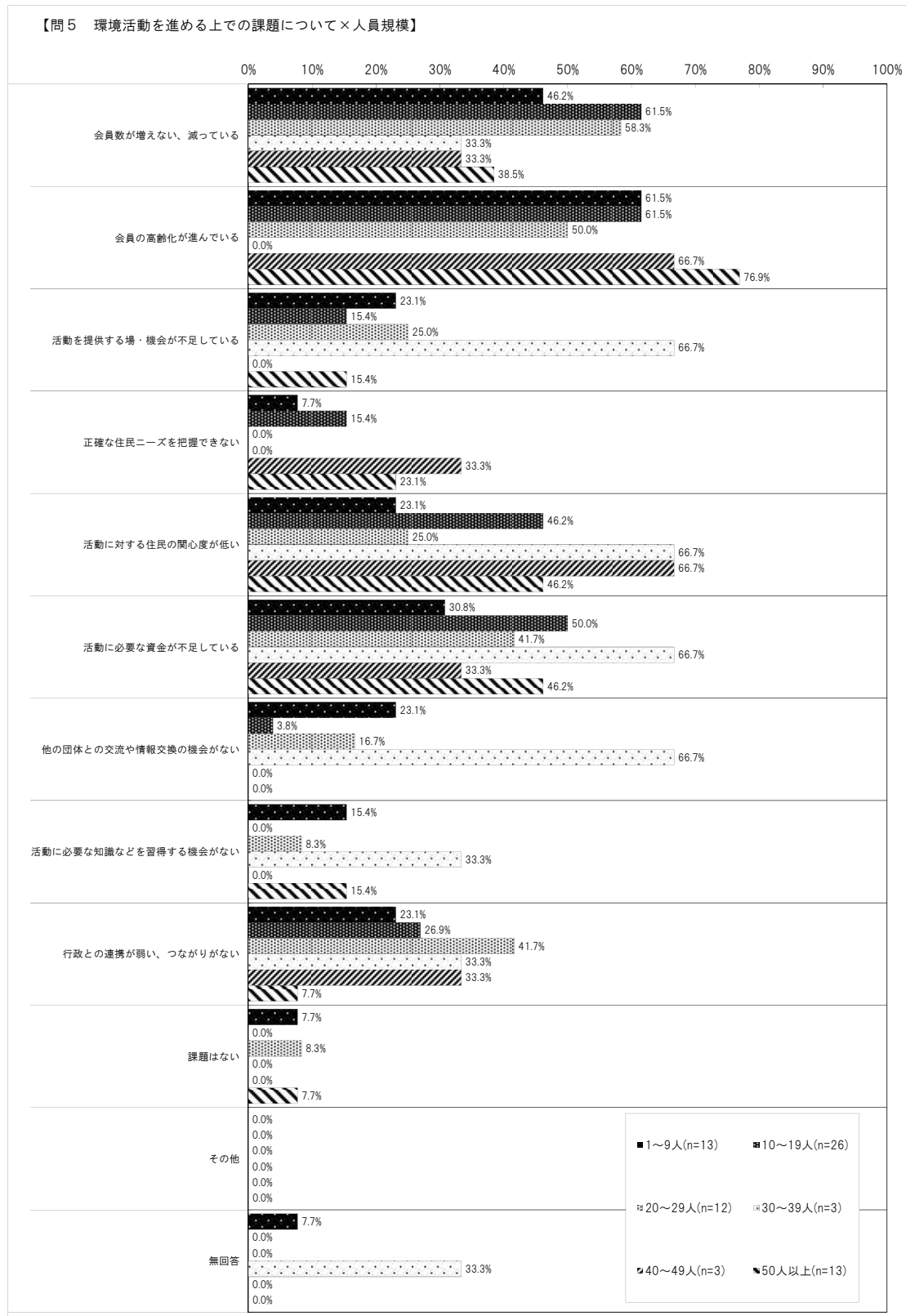
全体(図3-5-1)で見ると、「会員の高齢化が進んでいる」が59.2%と最も高く、次いで「会員数が増えない、減っている」(50.7%)、「活動に必要な資金が不足している」(43.7%)の順となっています。

図3-5-1 環境活動を進める上での課題



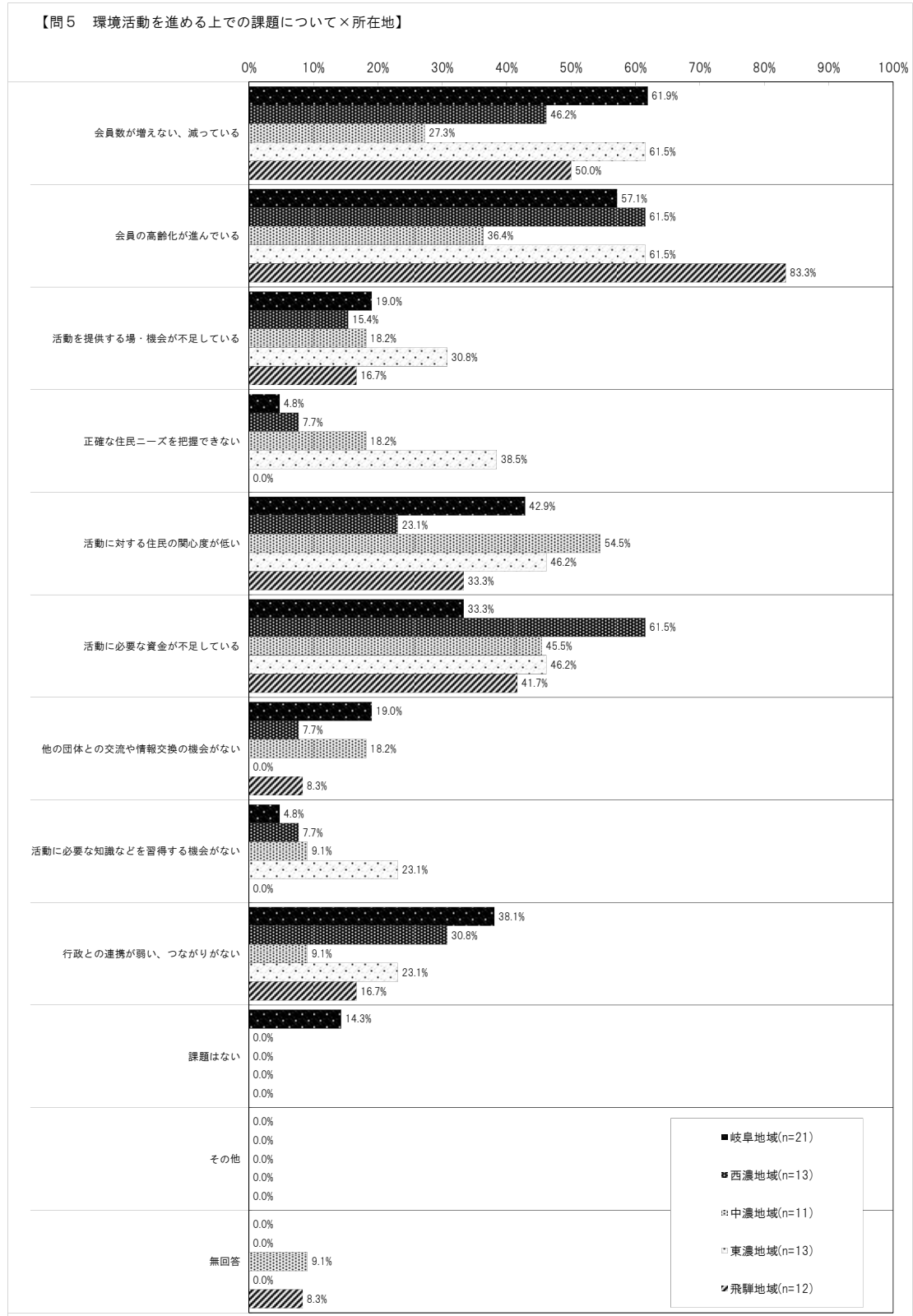
人員規模別（図 3-5-2）でみると、50 人以上では「会員の高齢化が進んでいる」が他の人員規模より高くなっています。

図 3-5-2 【人員規模別】環境活動を進める上での課題



所在地別（図 3-5-3）で見ると、飛騨地域では「会員の高齢化が進んでいる」が他の所在地と比べて高くなっており、西濃地域では「活動に必要な資金が不足している」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-5-3 【所在地別】環境活動を進める上での課題

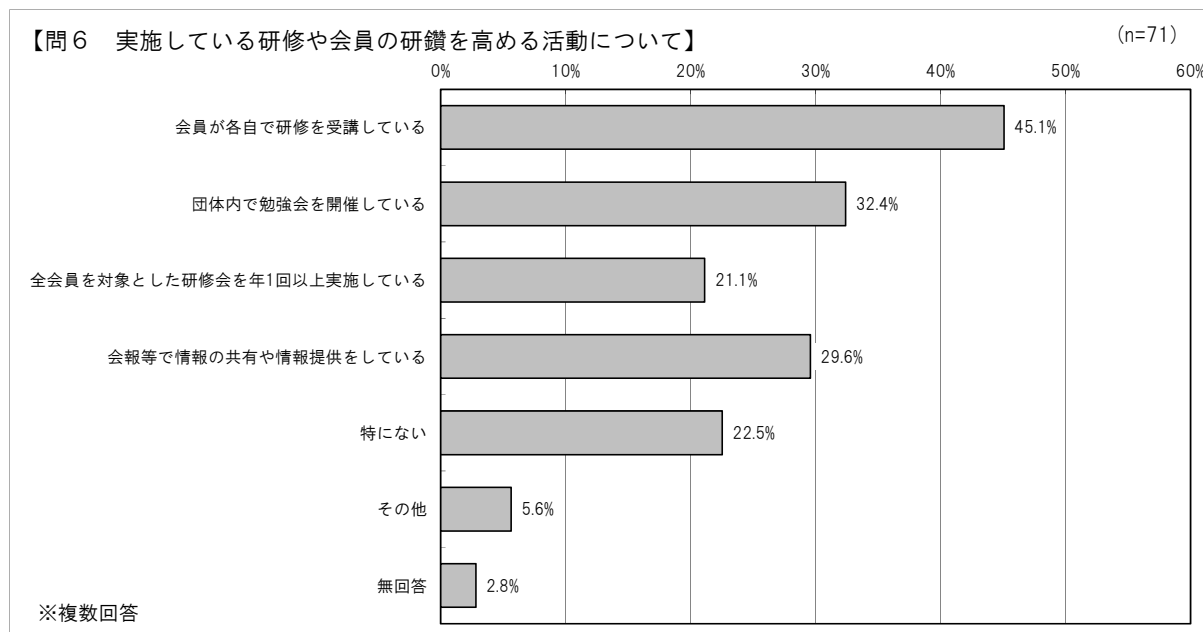


問6 貴団体内で実施している研修や会員の研鑽を高める活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 会員が各自で研修を受講している
- (2) 団体内で勉強会を開催している
- (3) 全会員を対象とした研修会を年1回以上実施している
- (4) 会報等で情報の共有や情報提供をしている
- (5) 特にない
- (6) その他

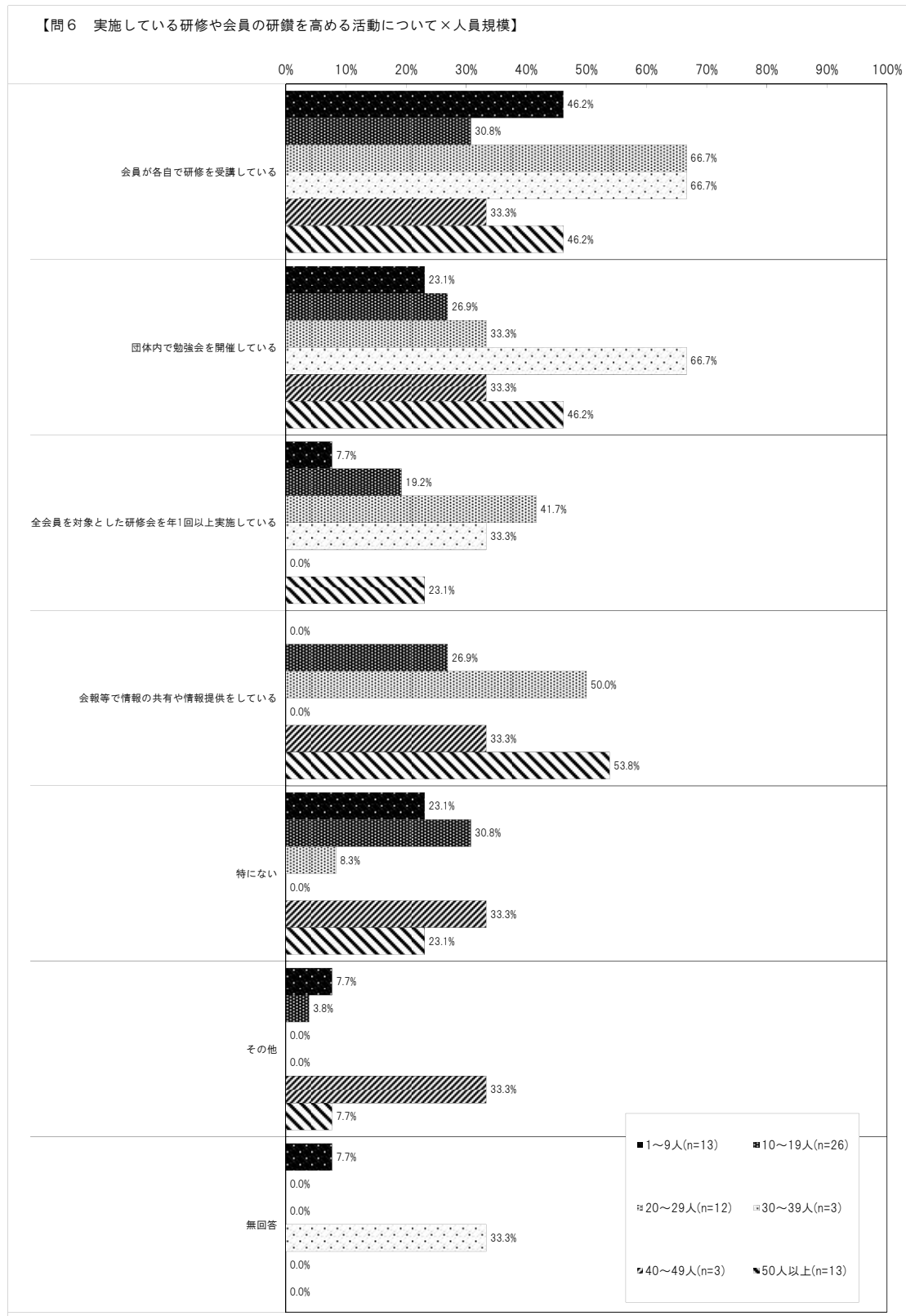
全体(図3-6-1)で見ると、「会員が各自で研修を受講している」が45.1%と最も高く、次いで「団体内で勉強会を開催している」(32.4%)、「会報等で情報の共有や情報提供をしている」(29.6%)の順となっています。

図3-6-1 実施している研修や会員の研鑽を高める活動



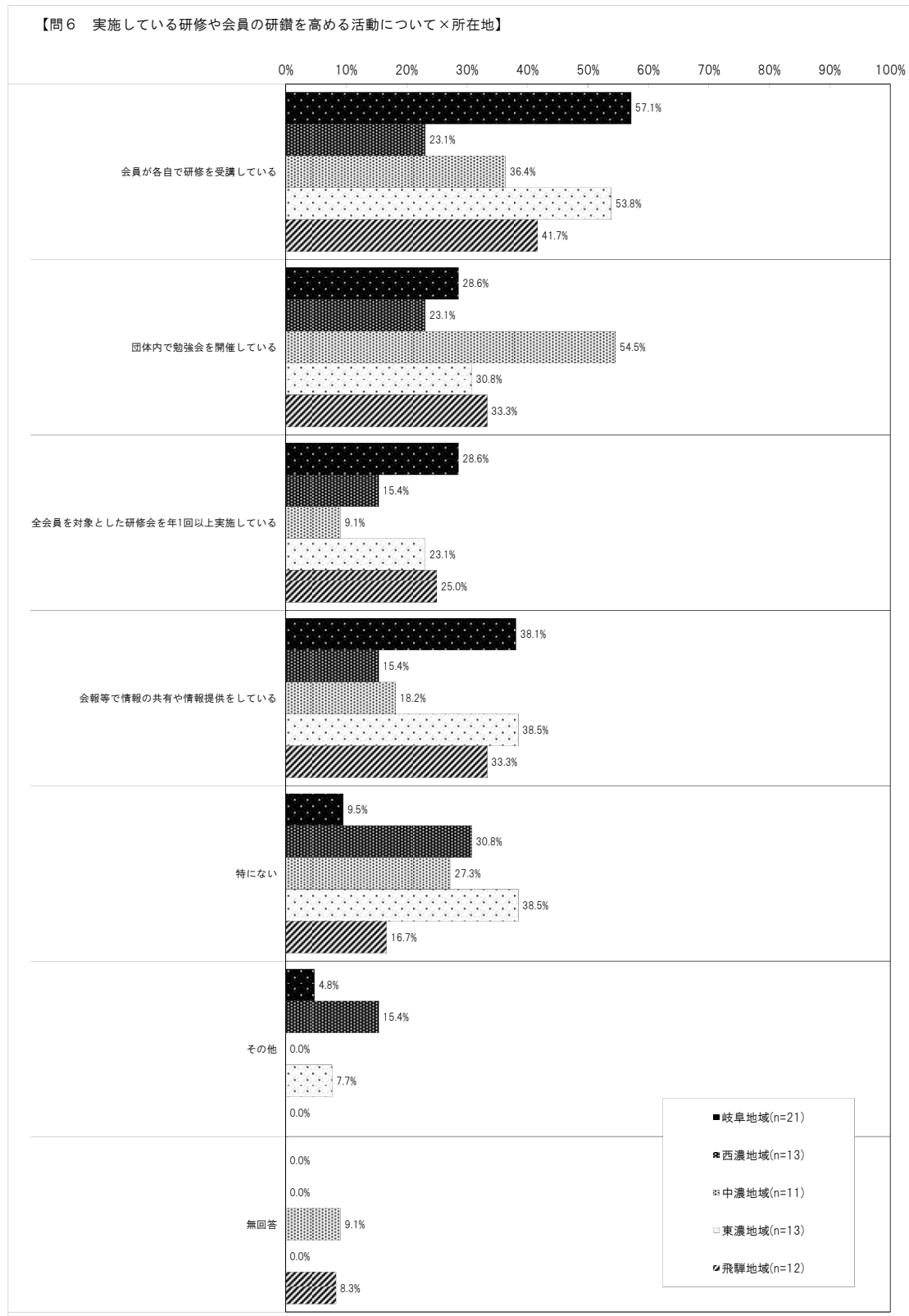
人員規模別（図 3-6-2）でみると、「団体内で勉強会を開催している」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 3-6-2 【人員規模別】実施している研修や会員の研鑽を高める活動



所在地別（図 3-6-3）で見ると、中濃地域では「団体内で勉強会を開催している」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-6-3 【所在地別】実施している研修や会員の研鑽を高める活動

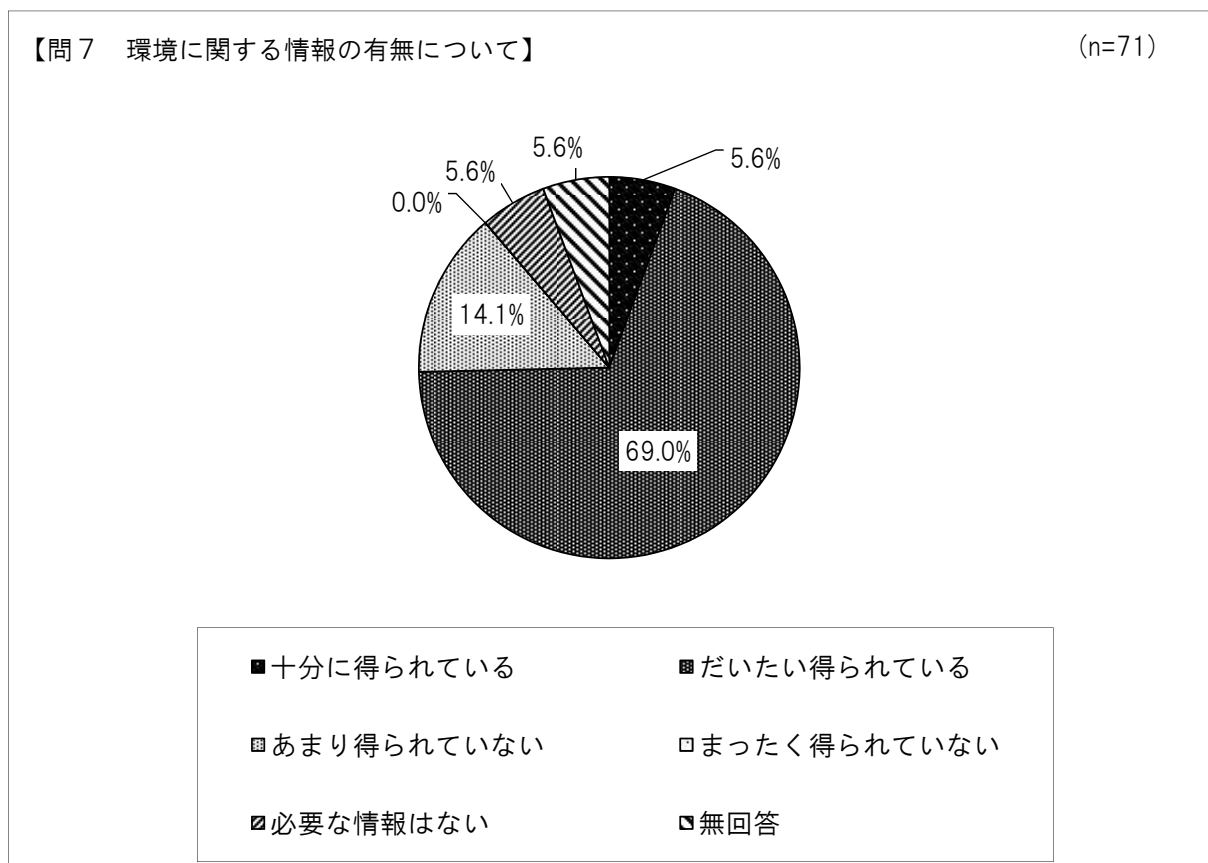


3-2 環境に関する情報について

問7 貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
(3)、(4)に○をつけた方は、()に得られていない情報を記入してください。
(1)十分に得られている
(2)だいたい得られている
(3)あまり得られていない
(4)まったく得られていない
(5)必要な情報はない

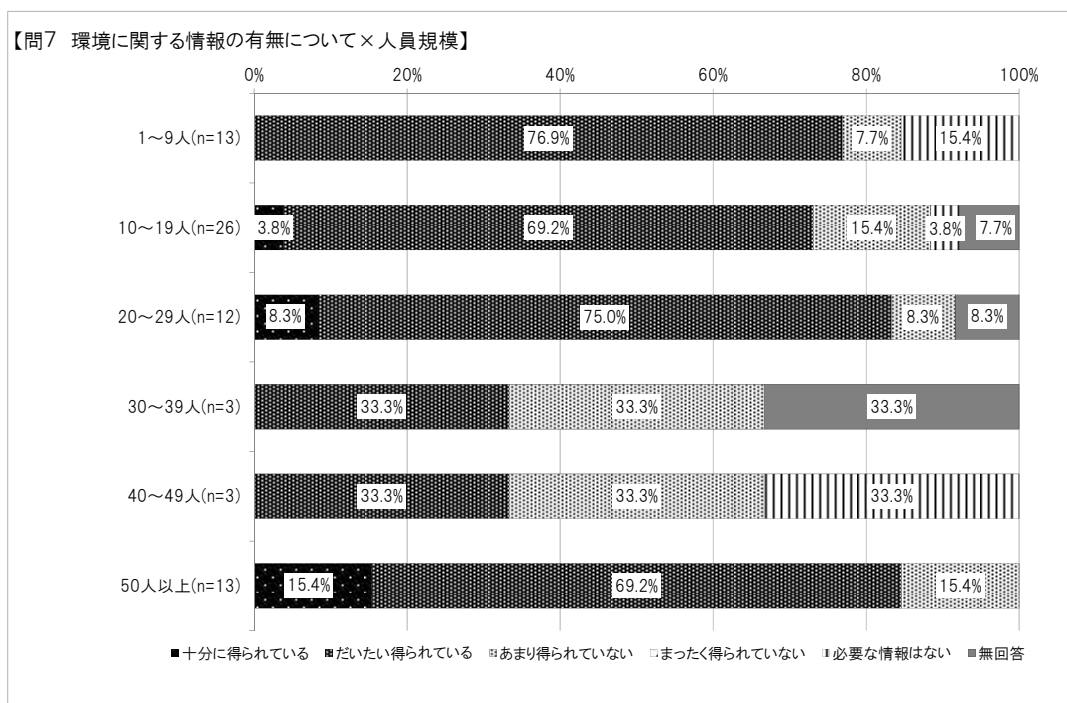
全体(図3-7-1)で見ると、「だいたい得られている」が69.0%と最も高く、次いで「あまり得られていない」(14.1%)の順となっています。

図3-7-1 環境に関する情報の有無



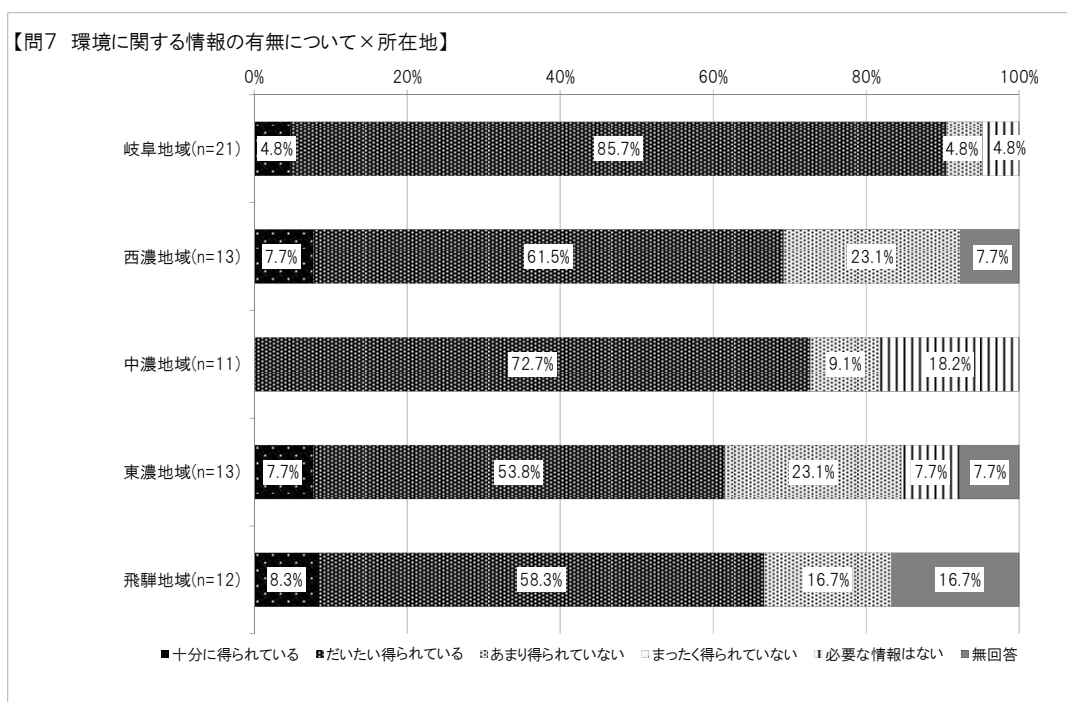
人員規模別（図 3-7-2）で見ると、「十分に得られている」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 3-7-2 【人員規模別】環境に関する情報の有無



所在地別（図 3-7-3）で見ると、岐阜地域では「だいたい得られている」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-7-3 【所在地別】環境に関する情報の有無



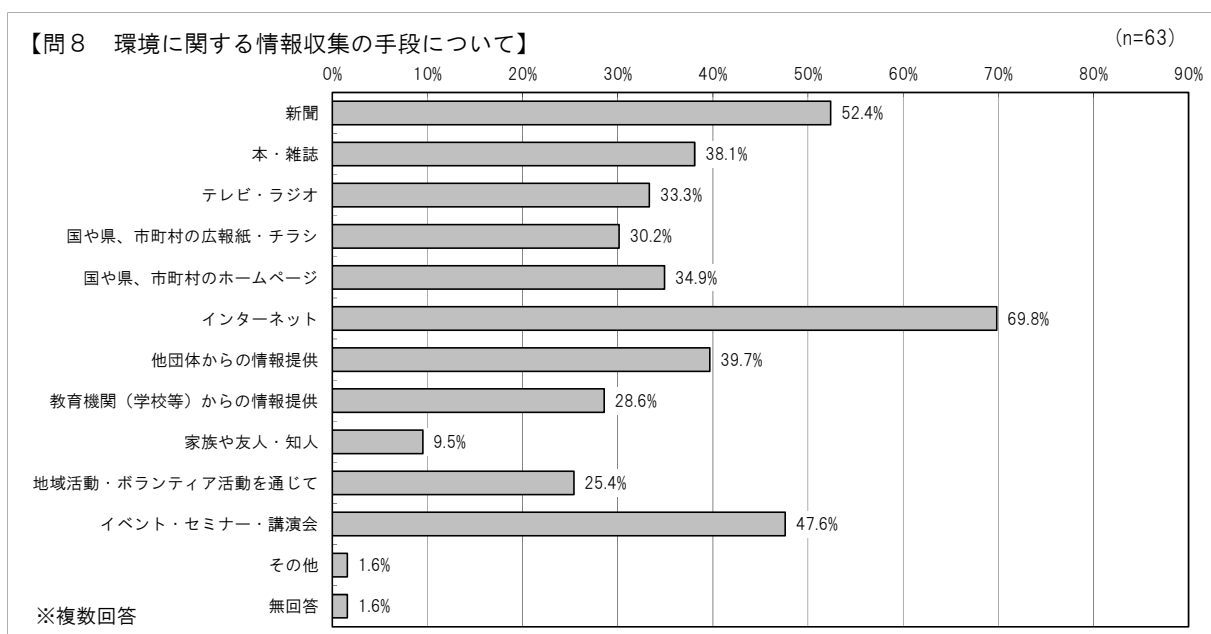
問8 問7で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報を得る主な手段は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 他団体からの情報提供
- (8) 教育機関(大学等)からの情報提供
- (9) 家族や友人・知人
- (10) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (11) イベント・セミナー・講演会
- (12) その他

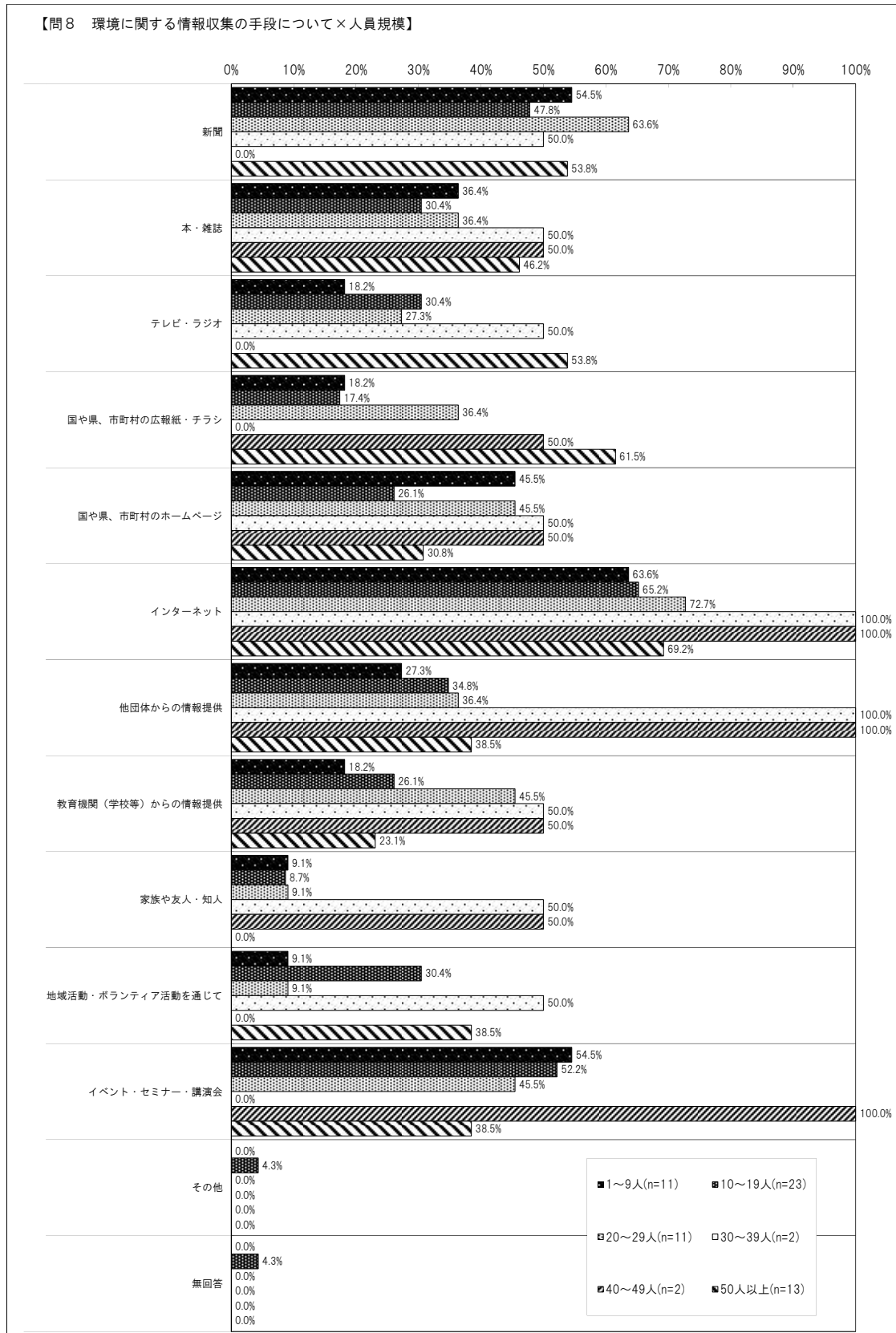
全体(図3-8-1)で見ると、「インターネット」が69.8%と最も高く、次いで「新聞」(52.4%)、「イベント・セミナー・講演会」(47.6%)の順となっています。

図3-8-1 環境に関する情報収集の手段



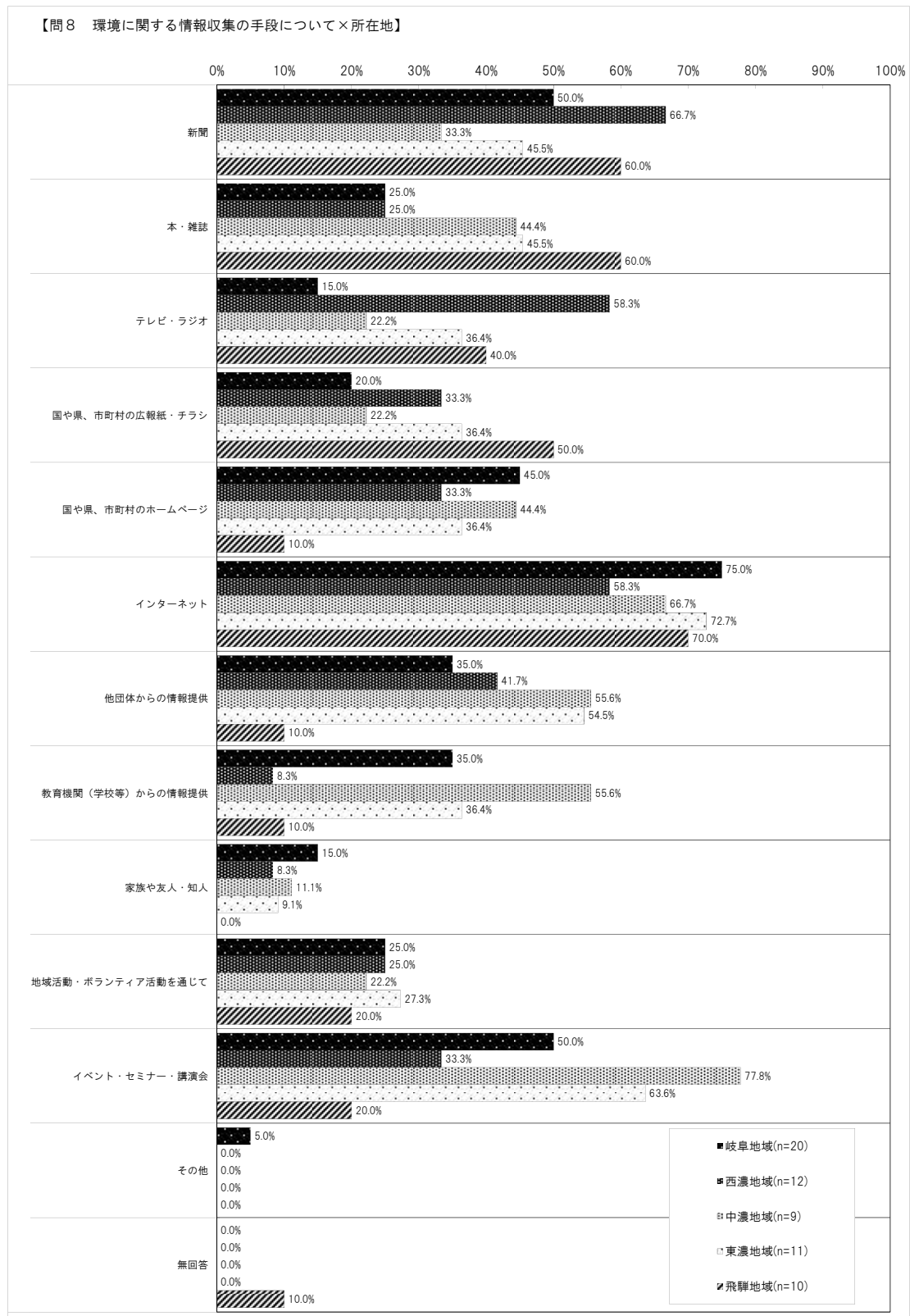
人員規模別（図 3-8-2）で見ると、「イベント・セミナー・講演会」で人員規模が大きくなるにつれて低くなっています。また、「他団体からの情報提供」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 3-8-2 【人員規模別】環境に関する情報収集の手段



所在地別（図 3-8-3）で見ると、飛騨地域では「国や県、市町村のホームページ」や「他団体からの情報提供」が他の所在地と比べて低くなっています。

図 3-8-3 【所在地別】環境に関する情報収集の手段

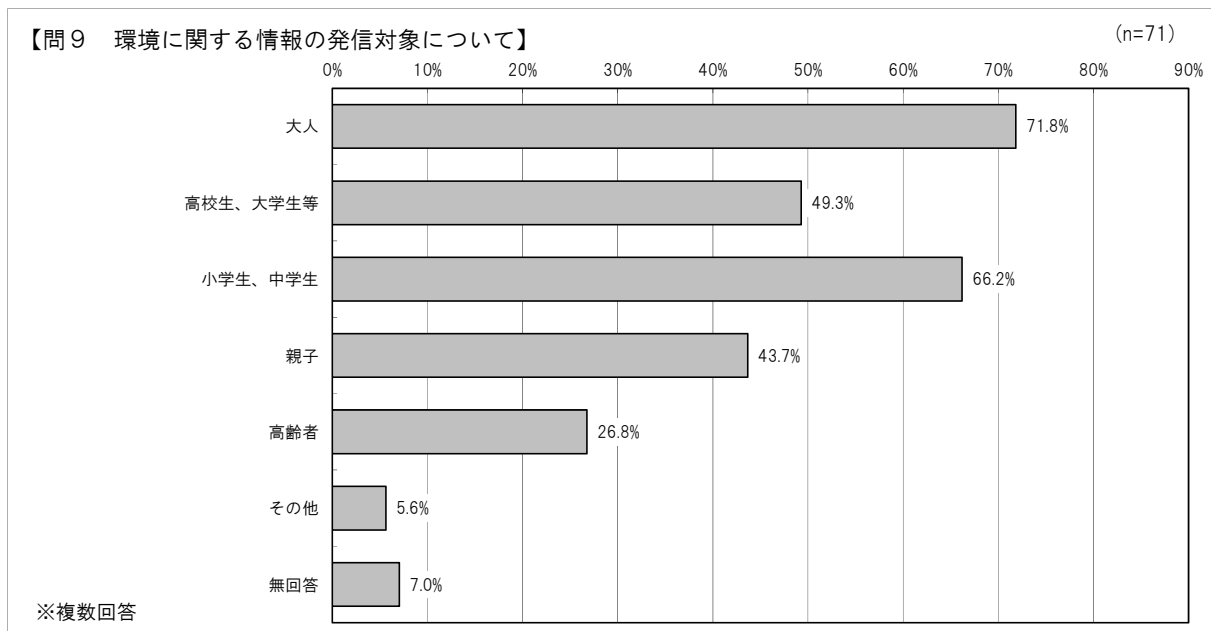


問9 貴団体が実施されている環境活動を、どのような人に知ってもらいたいですか。
 次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 大人
- (2) 高校生、大学生等
- (3) 小学生、中学生
- (4) 親子
- (5) 高齢者
- (6) その他

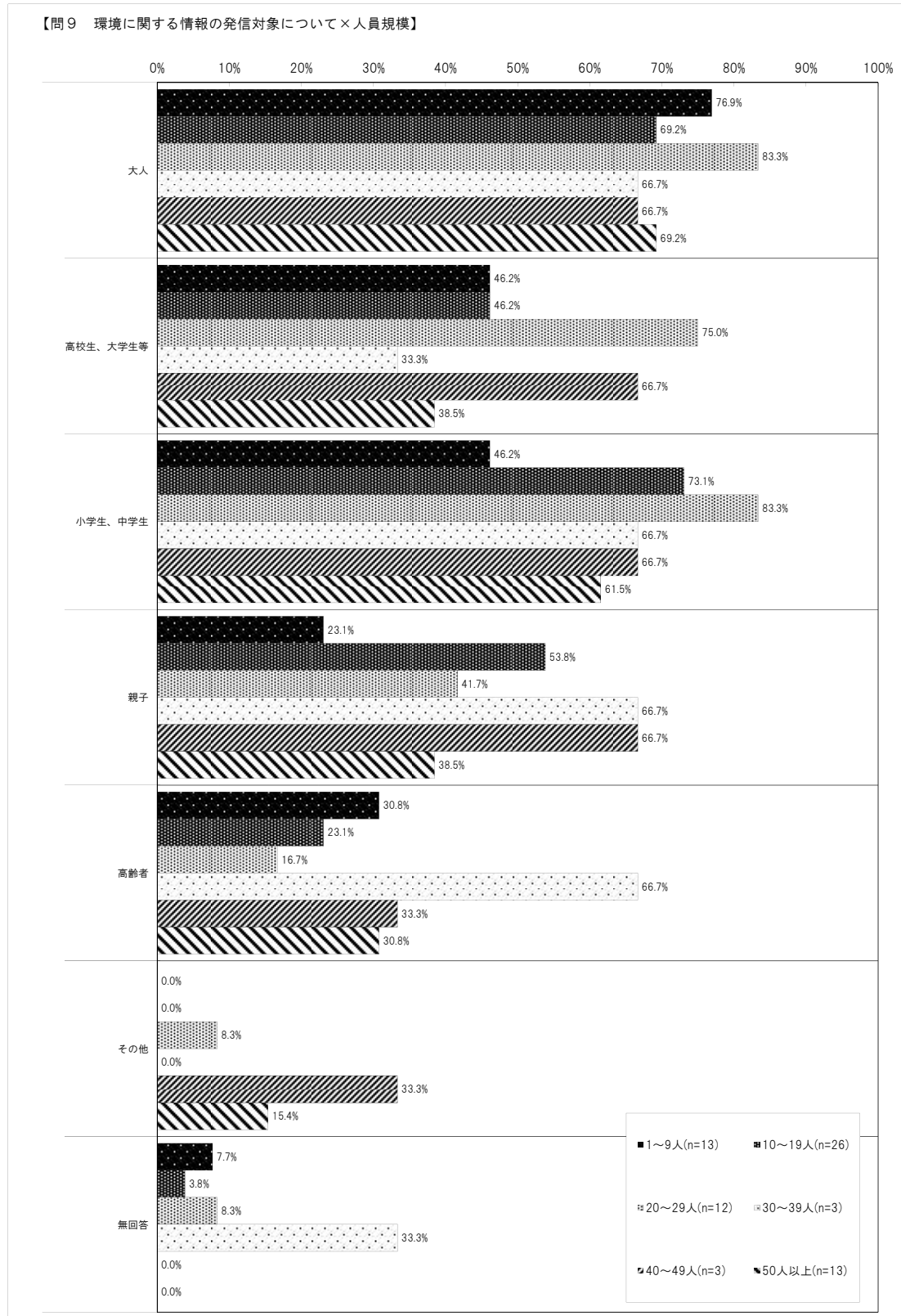
全体(図3-9-1)で見ると、「大人」が71.8%と最も高く、次いで「小学生、中学生」(66.2%)、「高校生、大学生等」(49.3%)の順となっています。

図3-9-1 環境に関する情報の発信対象



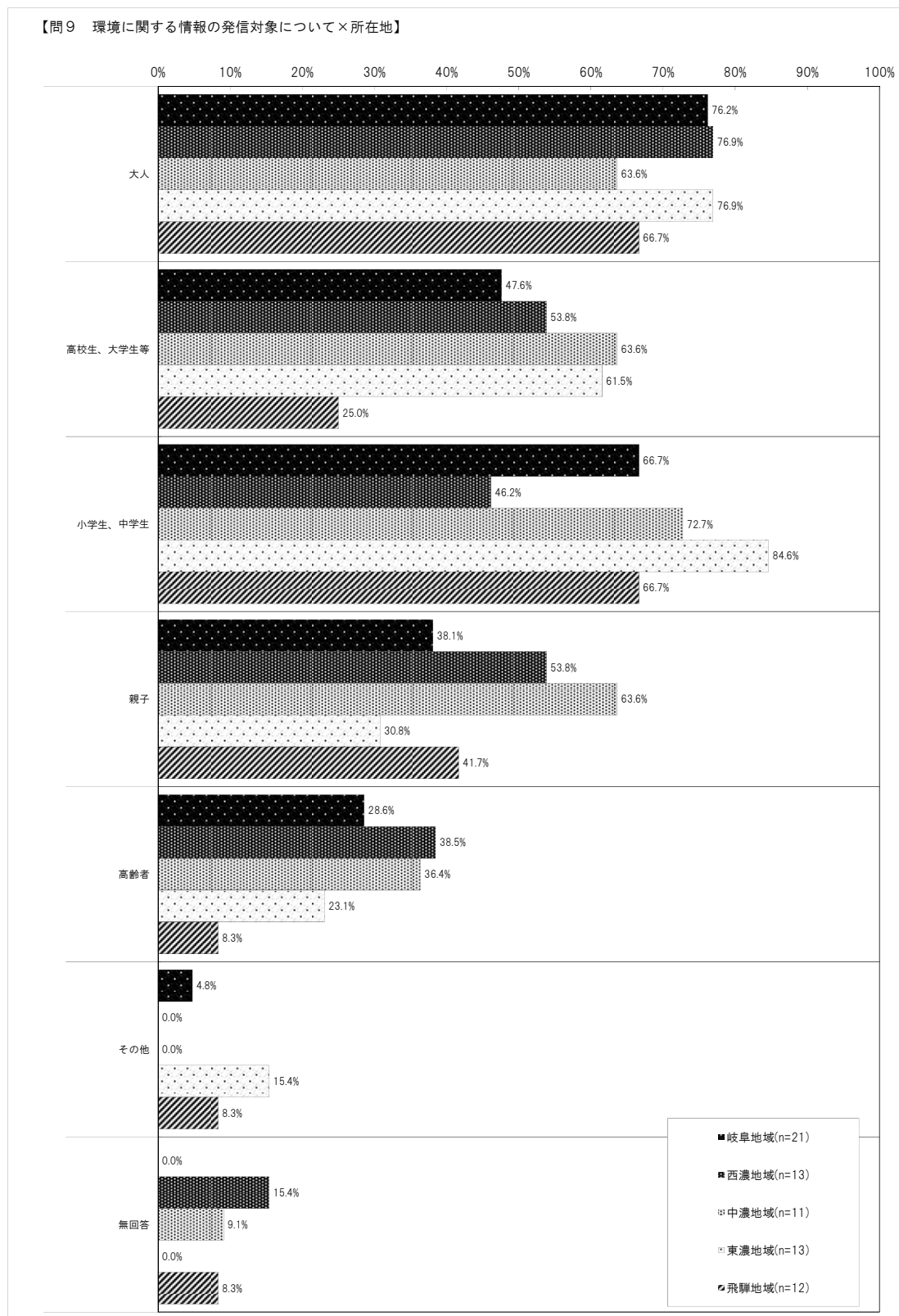
人員規模別（図 3-9-2）でみると、20～29 人では「高校生・大学生等」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-9-2 【人員規模別】環境に関する情報の発信対象



所在地別（図 3-9-3）で見ると、飛騨地域では「高校生・大学生等」が他の所在地と比べて低くなっています。

図 3-9-3 【所在地別】環境に関する情報の発信対象



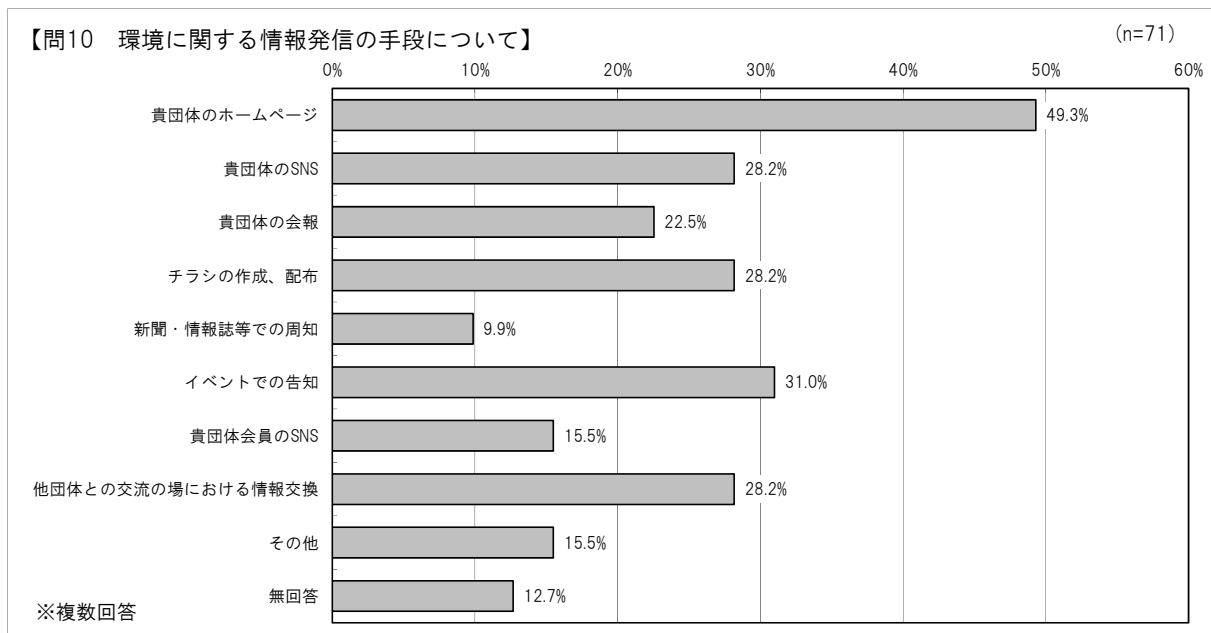
問 10 貴団体が行っている環境活動の情報をどのように発信していますか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 貴団体のホームページ
- (2) 貴団体のSNS
- (3) 貴団体の会報
- (4) チラシの作成、配布
- (5) 新聞・情報誌等での周知
- (6) イベントでの告知
- (7) 貴団体会員のSNS
- (8) 他団体との交流の場における情報交換
- (9) その他

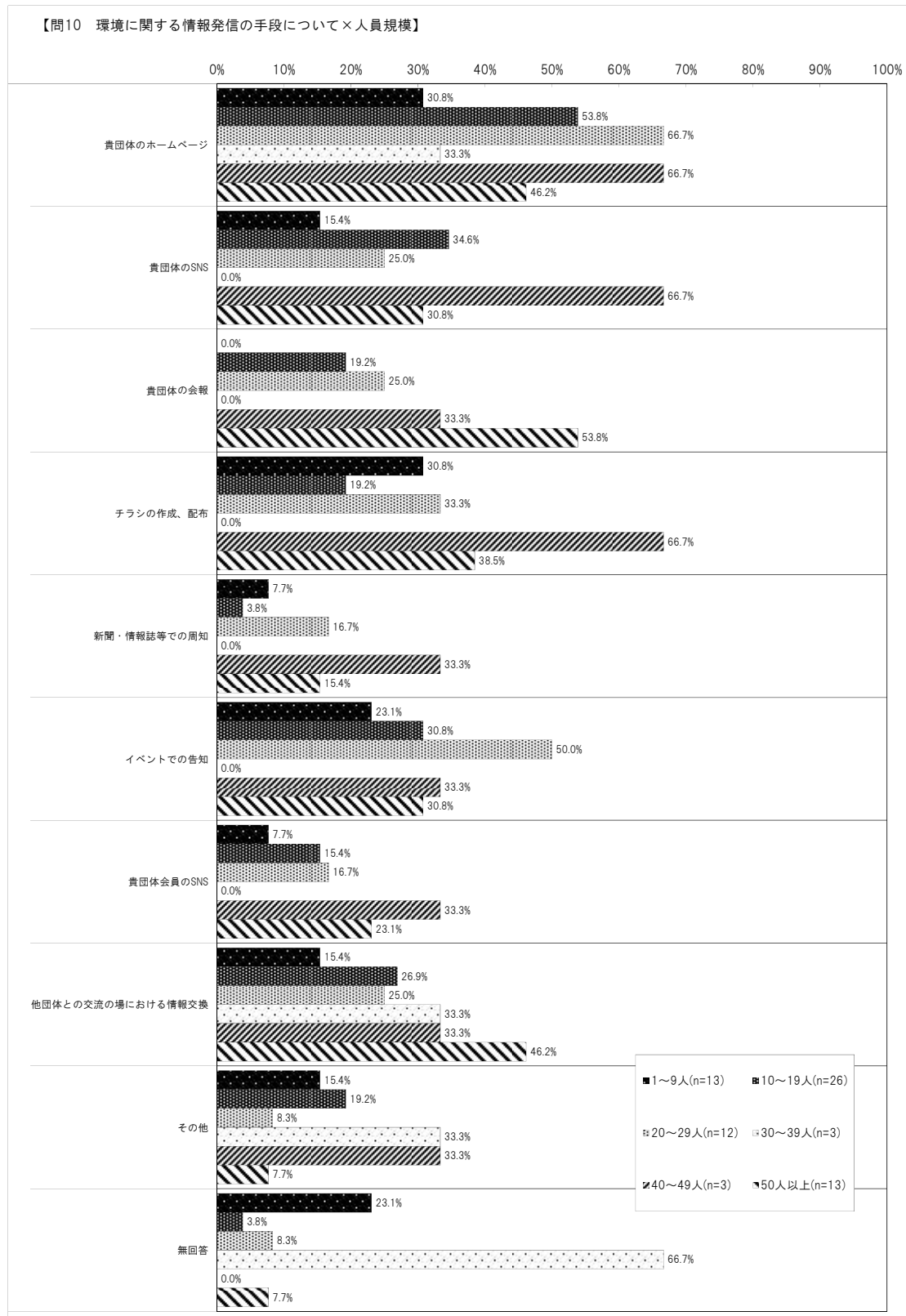
全体(図 3-10-1) でみると、「貴団体のホームページ」が 49.3%と最も高く、次いで「イベントでの告知」(31.0%)、「貴団体のSNS」、「チラシの作成、配布」、「他団体との交流の場における情報交換」(ともに 28.2%) の順となっています。

図 3-10-1 環境に関する情報発信の手段



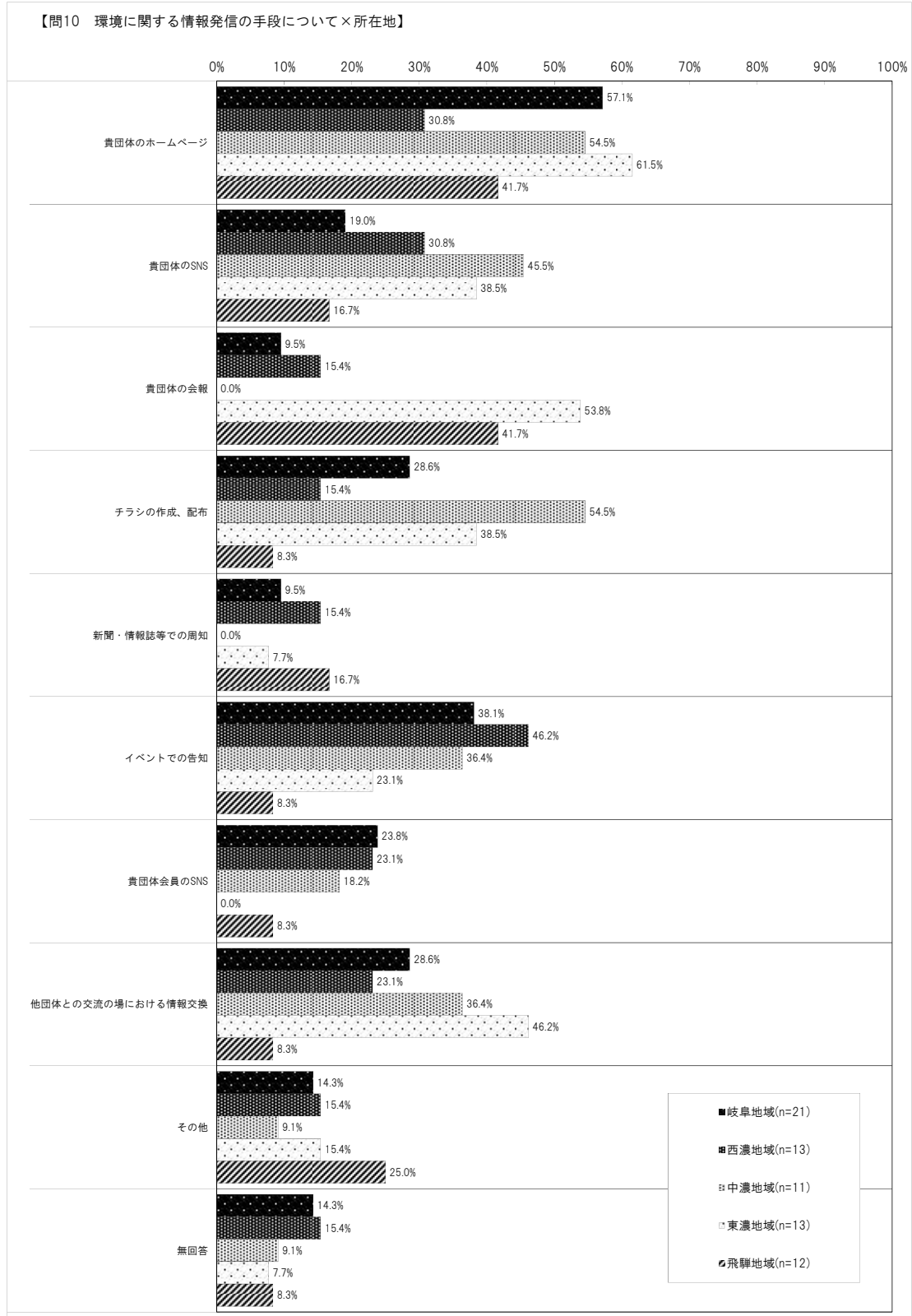
人員規模別（図 3-10-2）でみると、「貴団体の会報」や「貴団体会員のSNS」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 3-10-2 【人員規模別】環境に関する情報発信の手段



所在地別（図 3-10-3）で見ると、西濃地域では「貴団体のホームページ」が他の所在地と比べて低くなっています。

図 3-10-3 【所在地別】環境に関する情報発信の手段



3-3 県が実施する環境施策について

問 11 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、貴団体はどの程度知っていますか。
次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

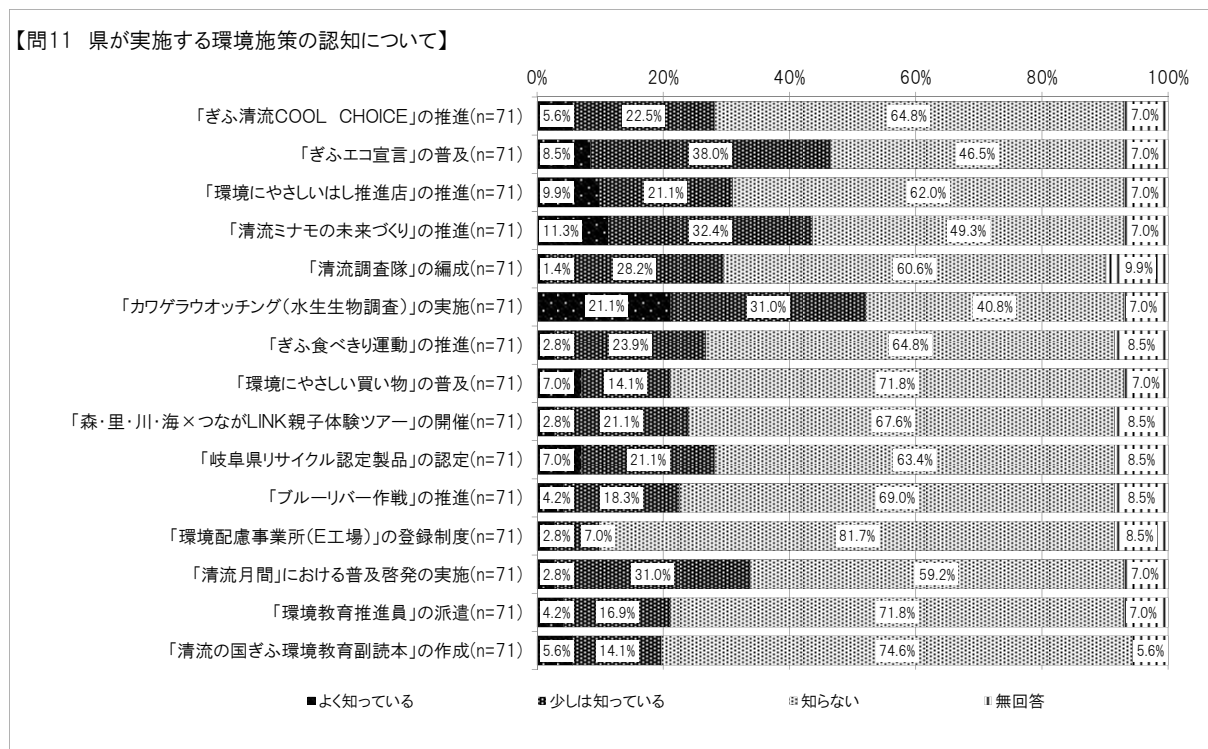
(1)「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進 (2)「ぎふエコ宣言」の普及
 (3)「環境にやさしいはし推進店」の推進 (4)「清流ミナモの未来づくり」の推進
 (5)「清流調査隊」の編成
 (6)「カワゲラウオッチング(水生生物調査)」の実施
 (7)「ぎふ食べきり運動」の推進 (8)「環境にやさしい買い物」の普及
 (9)「森・里・川・海×つながしLINK親子体験ツアー」の開催
 (10)「岐阜県リサイクル認定製品」の認定 (11)「ブルーリバー作戦」の推進
 (12)「環境配慮事業所(E工場)」の登録制度 (13)「清流月間」における普及啓発の実施
 (14)「環境教育推進員」の派遣 (15)「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成

【選択肢】

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 知らない

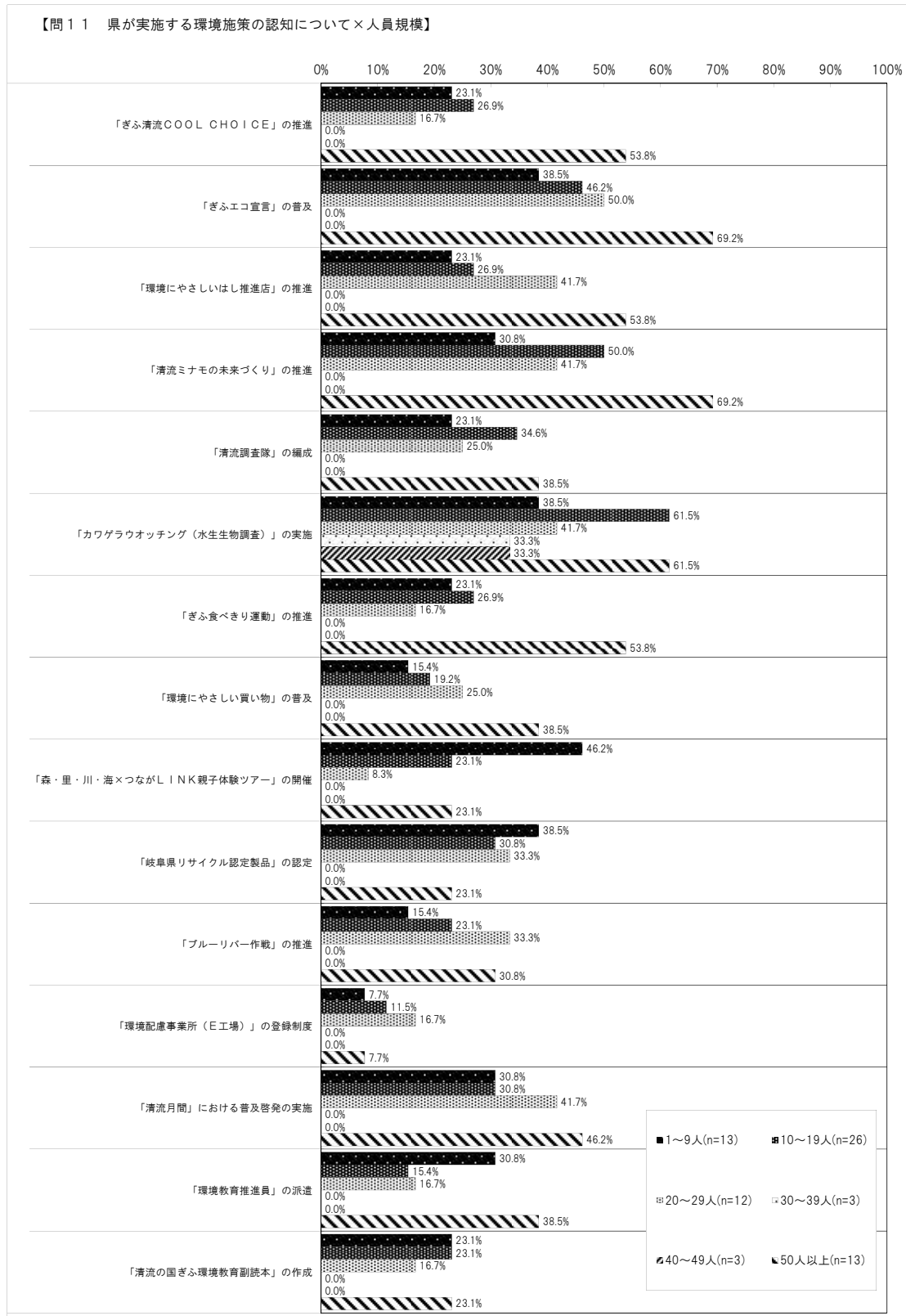
全体(図3-11-1)で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『カワゲラウオッチング(水生生物調査)の実施』が52.1%と最も高く、次いで『「ぎふエコ宣言」の普及』(46.5%)、『「清流ミナモの未来づくり」の推進』(43.7%)の順となっています。

図 3-11-1 県が実施する環境施策の認知



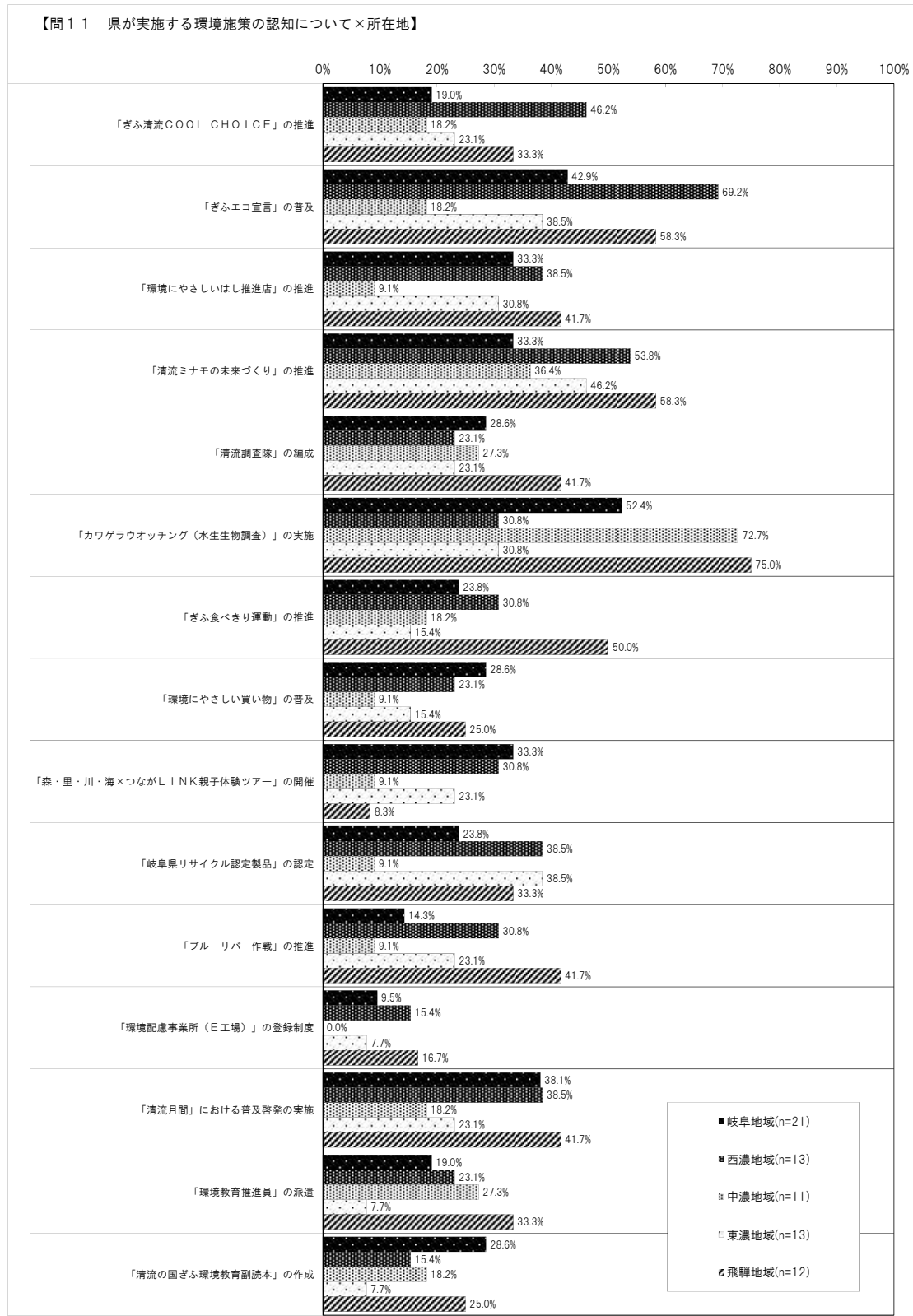
人員規模別（図 3-11-2）でみると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『「ぎふエコ宣言」の普及』や『「環境にやさしいはし推進店」の推進』で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 3-11-2 【人員規模別】県が実施する環境施策の認知



所在地別（図 3-11-3）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、中濃地域と飛騨地域では『「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施』が他の居住地と比べて高くなっています。

図 3-11-3 【所在地別】 県が実施する環境施策の認知



4. 企業を対象とする調査結果

4-1 環境に対する関心や行動について

問1 貴社は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

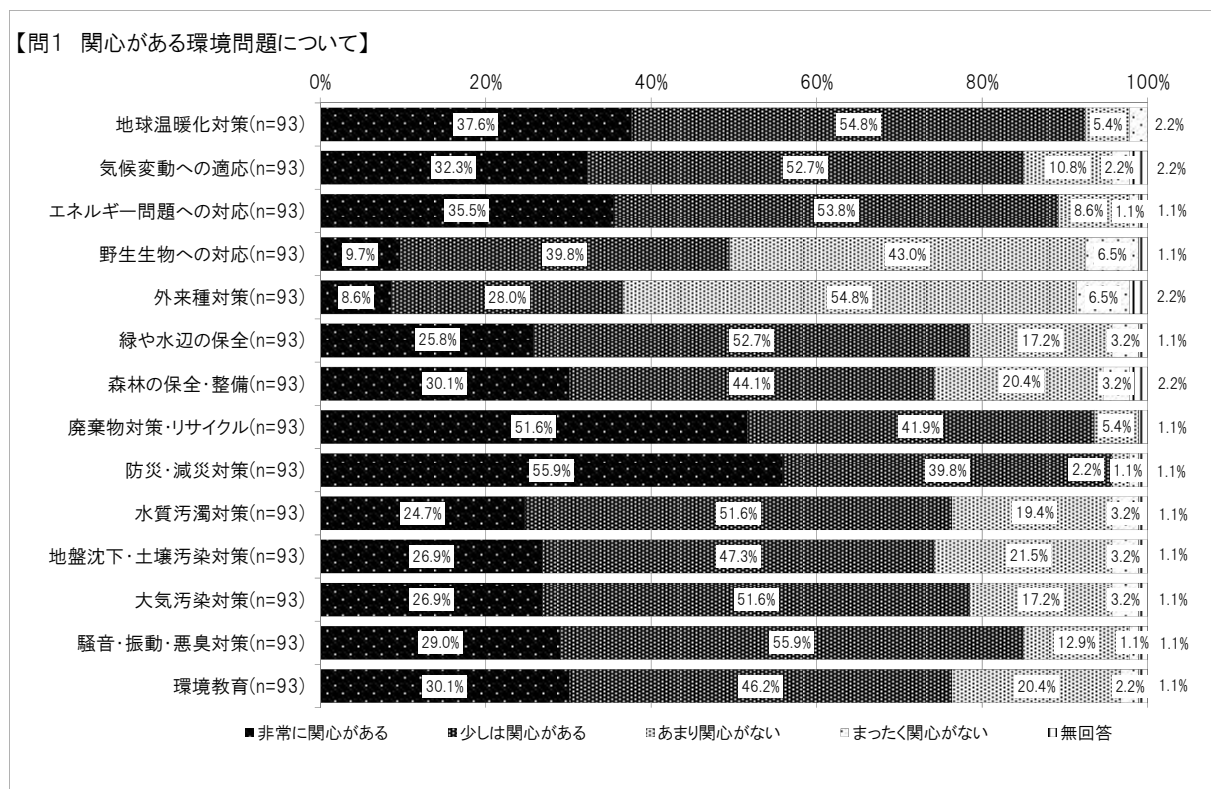
(1) 地球温暖化対策	(2) 気候変動への適応
(3) エネルギー問題への対応	(4) 野生生物への対応
(5) 外来種対策	(6) 緑や水辺の保全
(7) 森林の保全・整備	(8) 廃棄物対策・リサイクル
(9) 防災・減災対策	(10) 水質汚濁対策
(11) 地盤沈下・土壌汚染対策	(12) 大気汚染対策
(13) 騒音・振動・悪臭対策	(14) 環境教育

【選択肢】

1. 非常に関心がある	2. 少しは関心がある
3. あまり関心がない	4. まったく関心がない

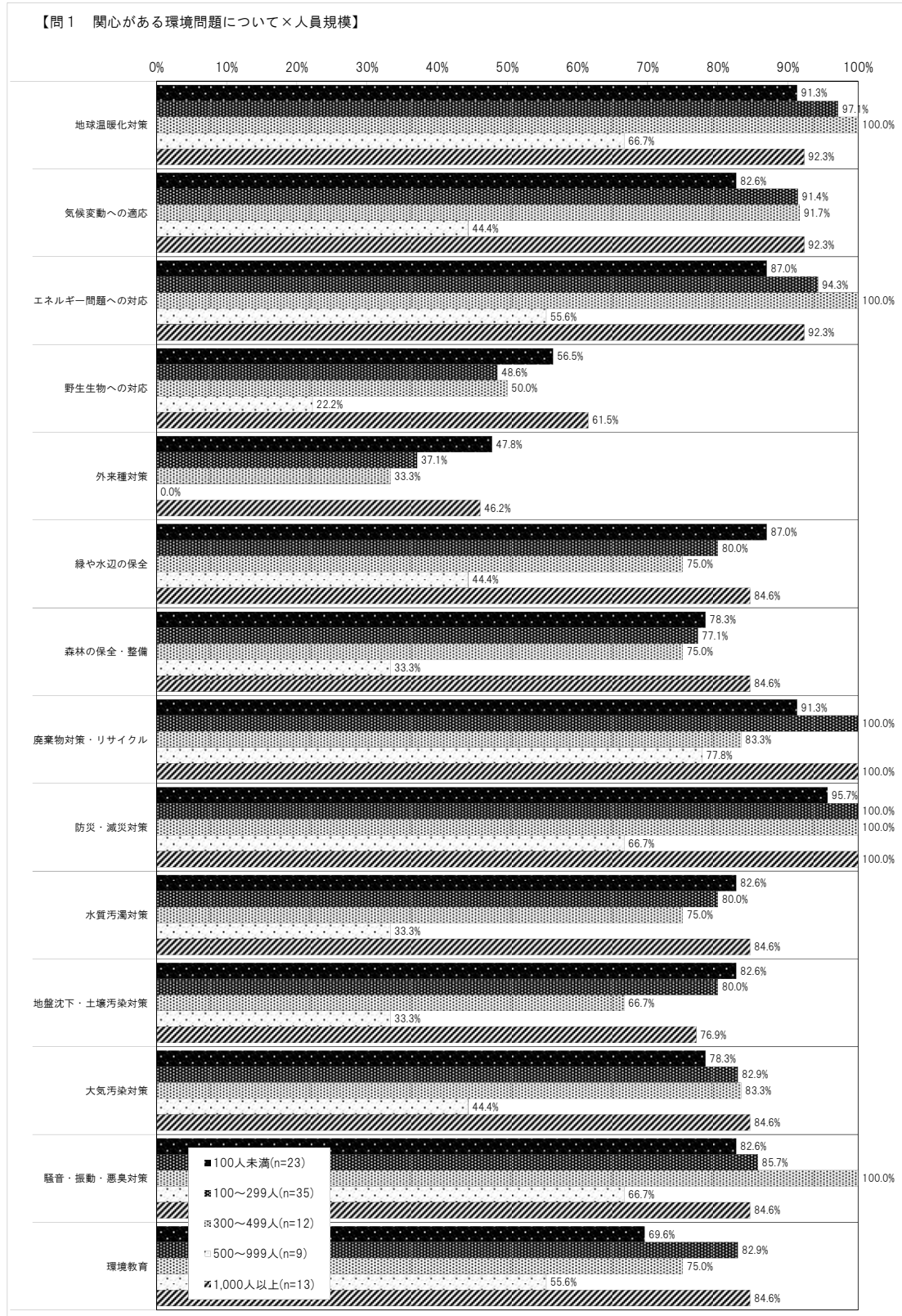
全体(図4-1-1)でみると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、『防災・減災対策』が95.7%と最も高く、次いで『廃棄物対策・リサイクル』(93.5%)、『地球温暖化対策』(92.4%)の順となっています。

図4-1-1 関心がある環境問題



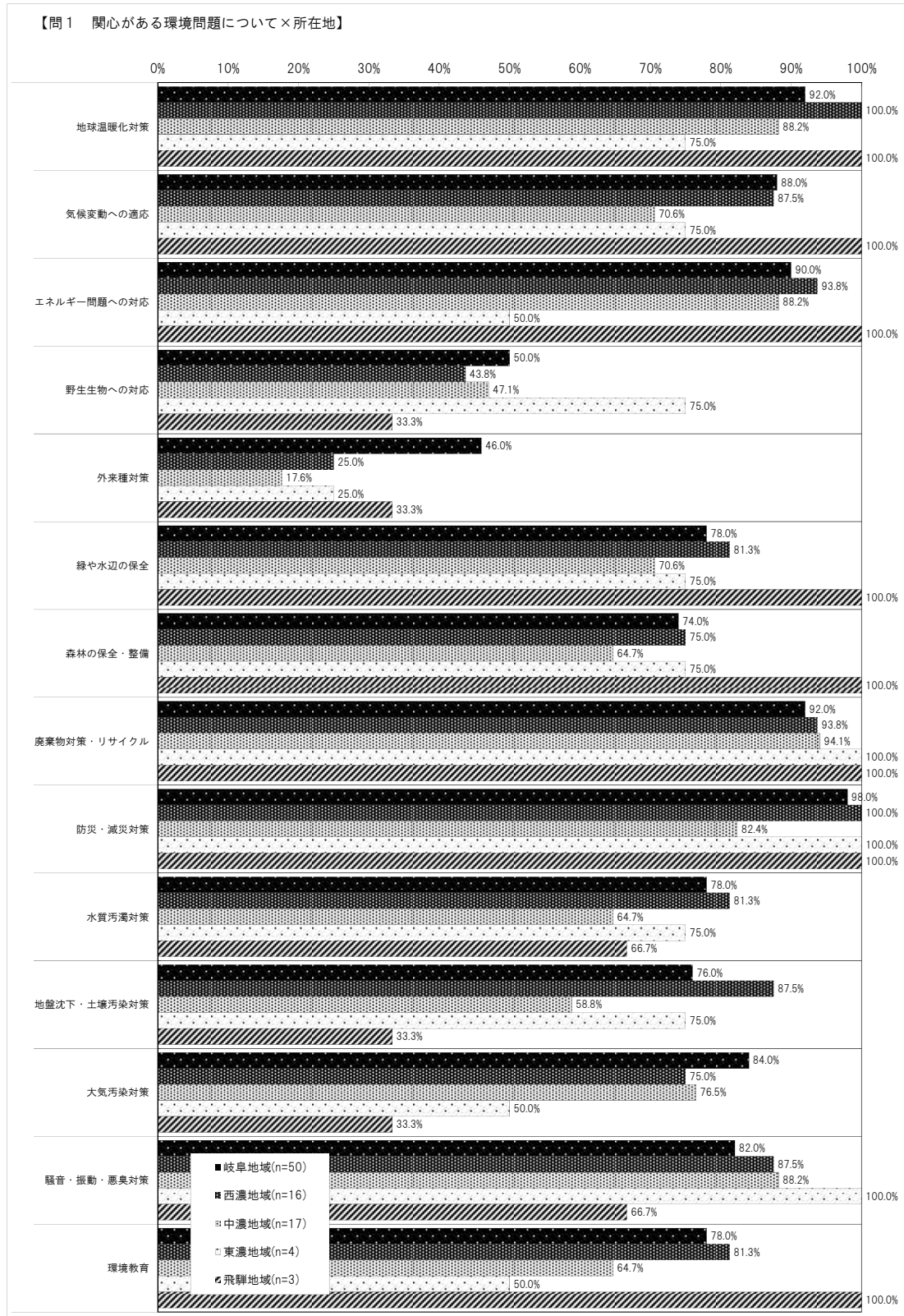
人員規模別（図 4-1-2）でみると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、300～499 人では『廃棄物対策・リサイクル』が他の人員規模と比べて低くなっています。

図 4-1-2 【人員規模別】関心がある環境問題



所在地別（図 4-1-3）で見ると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、中濃地域では『防災・減災対策』で他の所在地と比べて低くなっています。

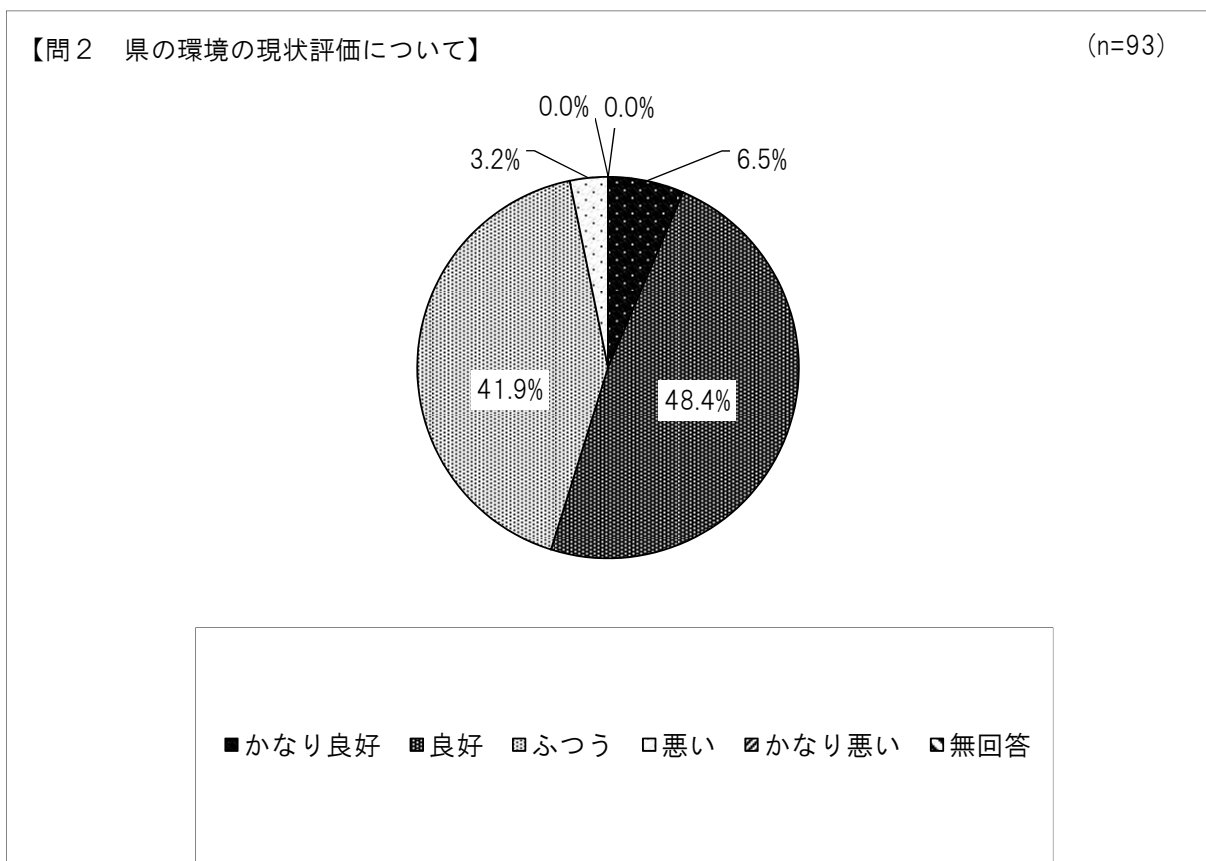
図 4-1-3 【所在地別】 関心がある環境問題



問2 貴社は、県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
 （4）、（5）に○をつけた方は、（ ）に具体的な分野（問1参照）を記入してください。
 （1）かなり良好
 （2）良好
 （3）ふつう
 （4）悪い
 （5）かなり悪い

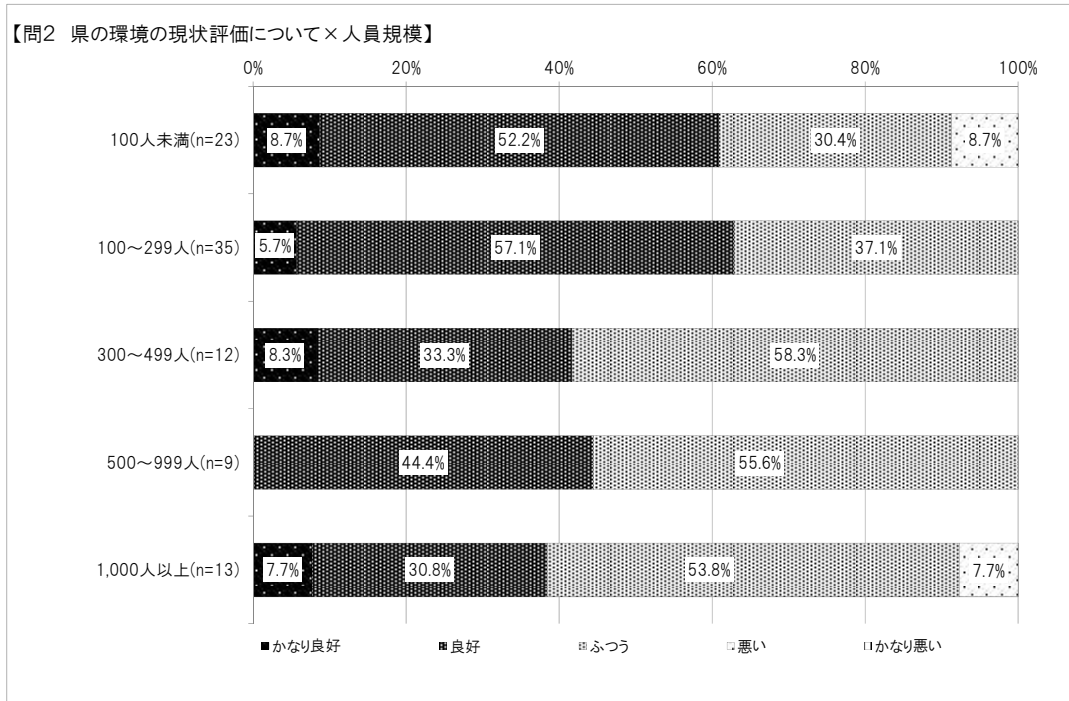
全体（図 4-2-1）で見ると、「良好」が 48.4%と最も高く、次いで「ふつう」（41.9%）、「かなり良好」（6.5%）の順となっています。

図 4-2-1 県の環境の現状評価



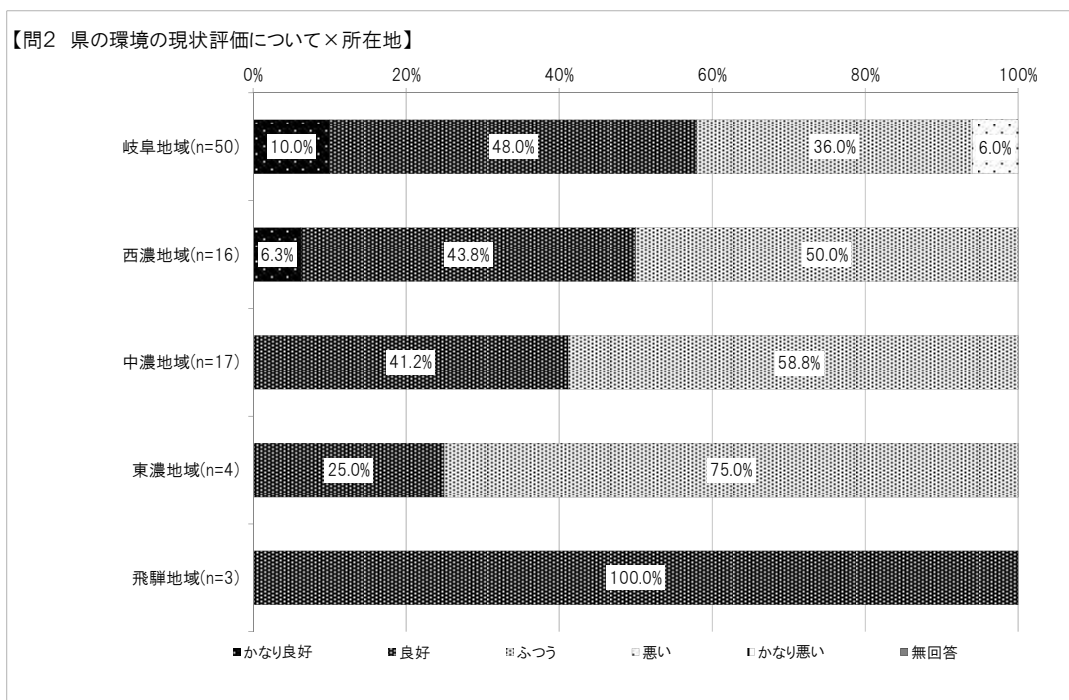
人員規模別（図 4-2-2）で見ると、100 人未満では「ふつう」が他の人員規模と比べて低くなっています。

図 4-2-2 【人員規模別】 県の環境の現状評価



所在地別（図 4-2-3）で見ると、岐阜地域では「かなり良好」や「良好」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-2-3 【所在地別】 県の環境の現状評価



問3 貴社は、県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

（○は1つ）

（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）に具体的な分野（問1参照）を記入してください。

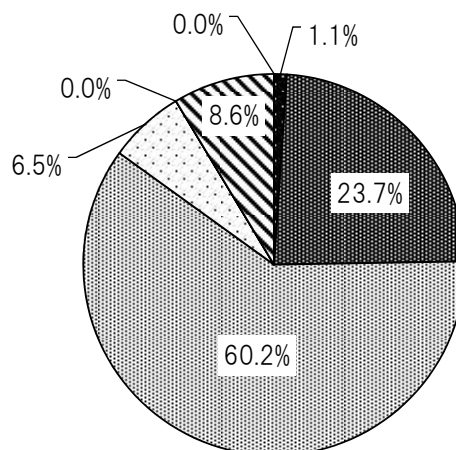
- （1）かなり良くなった
- （2）良くなった
- （3）変わらない
- （4）悪くなった
- （5）かなり悪くなった
- （6）わからない

全体（図4-3-1）で見ると、「変わらない」が60.2%と最も高く、次いで「良くなった」（23.7%）、「わからない」（8.6%）の順となっています。

図4-3-1 県の環境の5年前との比較

【問3 県の環境の5年前との比較について】

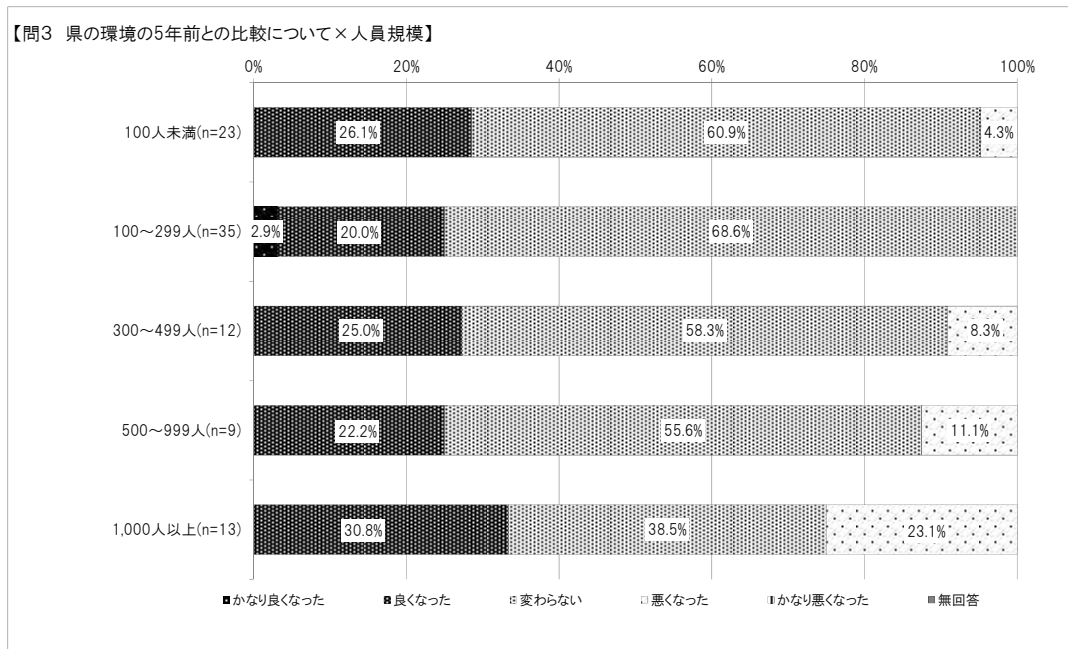
(n=93)



- かなり良くなった
- 良くなった
- 変わらない
- 悪くなった
- かなり悪くなった
- わからない
- 無回答

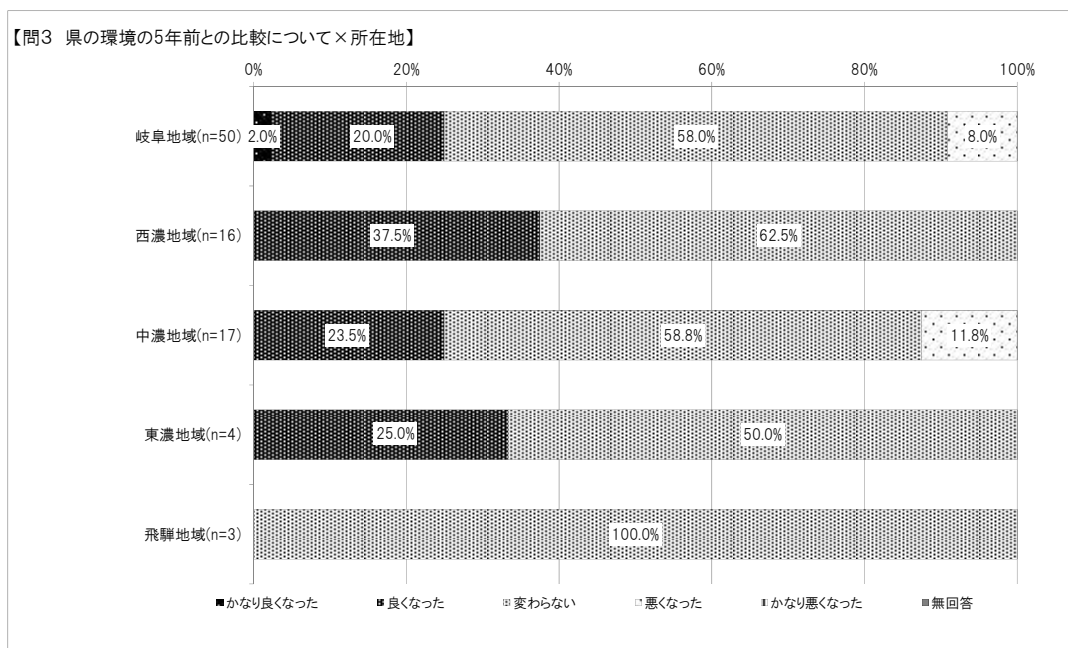
人員規模別（図 4-3-2）で見ると、1,000 人以上では「良くなった」、「悪くなった」が他の人員規模より高くなっており、二極化しています。

図 4-3-2 【人員規模別】 県の環境の 5 年前との比較



所在地別（図 4-3-3）で見ると、西濃地域では「良くなった」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-3-3 【所在地別】 県の環境の 5 年前との比較

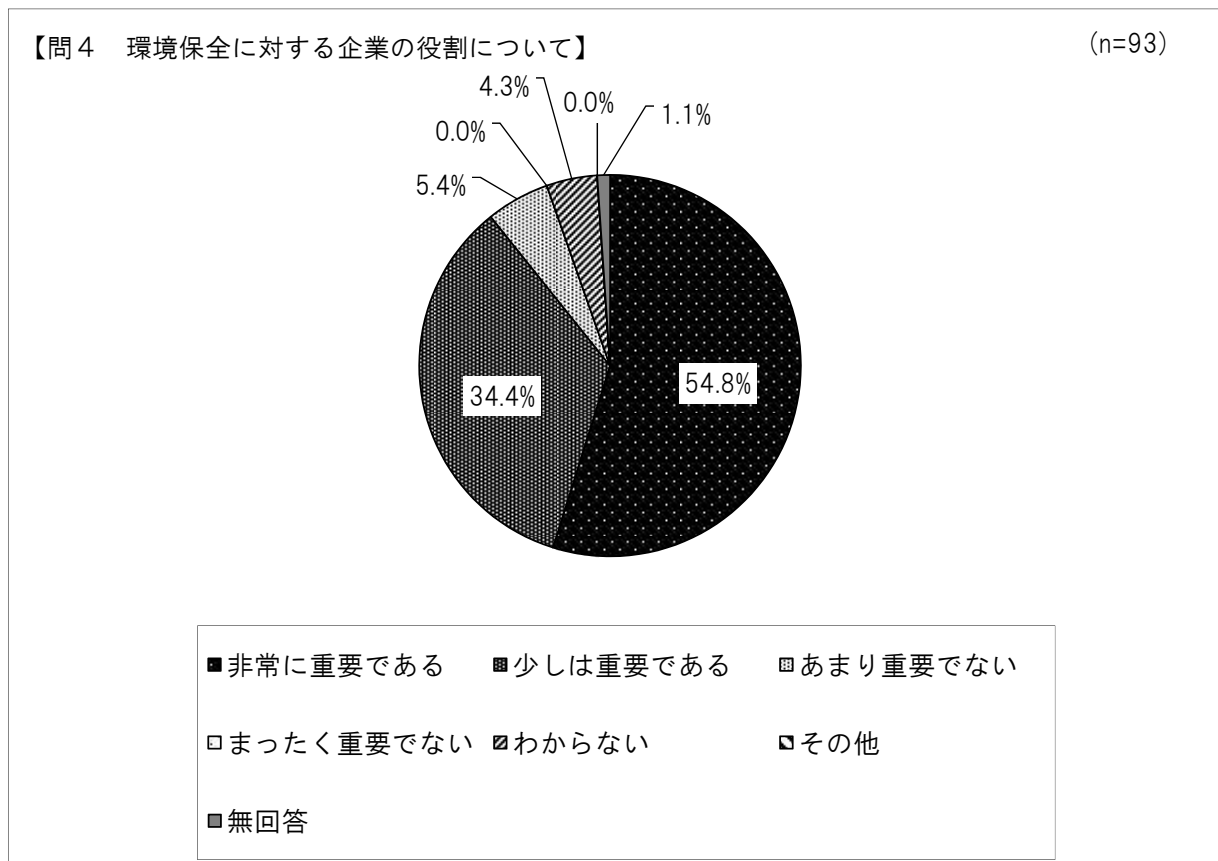


問4 貴社では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 非常に重要である
- (2) 少しは重要である
- (3) あまり重要でない
- (4) まったく重要でない
- (5) わからない
- (6) その他

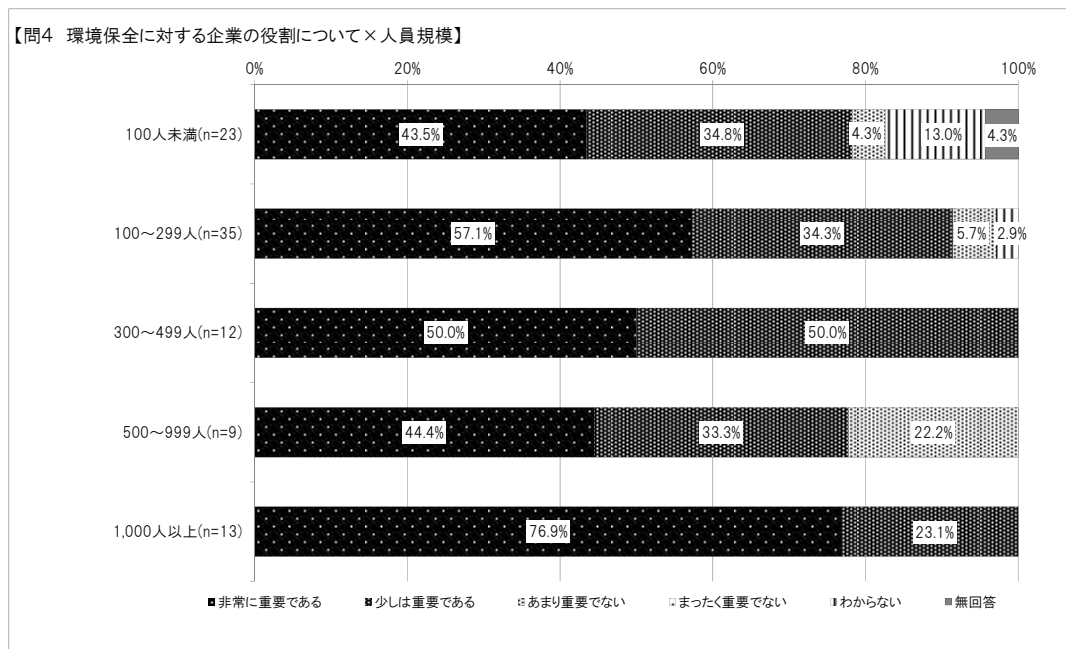
全体(図4-4-1)で見ると、「非常に重要である」が54.8%と最も高く、次いで「少しは重要である」(34.4%)、「あまり重要でない」(5.4%)の順となっています。

図4-4-1 環境保全に対する企業の役割



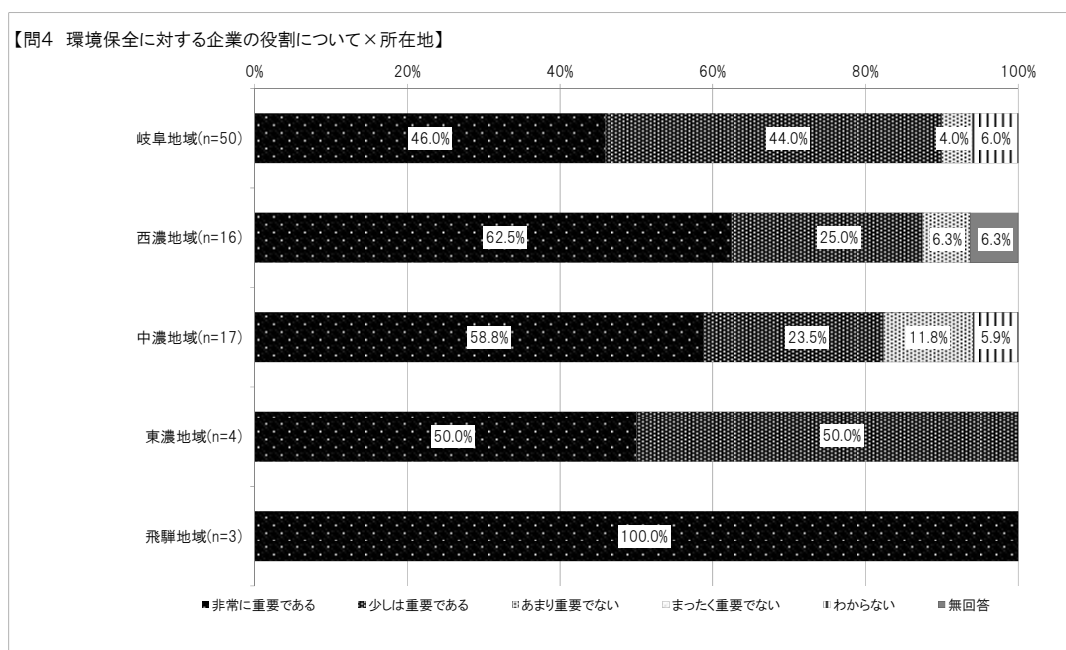
人員規模別（図 4-4-2）で見ると、1,000 人以上では「非常に重要である」が他の人員規模より高くなっています。

図 4-4-2 【人員規模別】環境保全に対する企業の役割



所在地別（図 4-4-3）で見ると、中濃地域では「あまり重要でない」が他の所在地と比べて高くなっています。

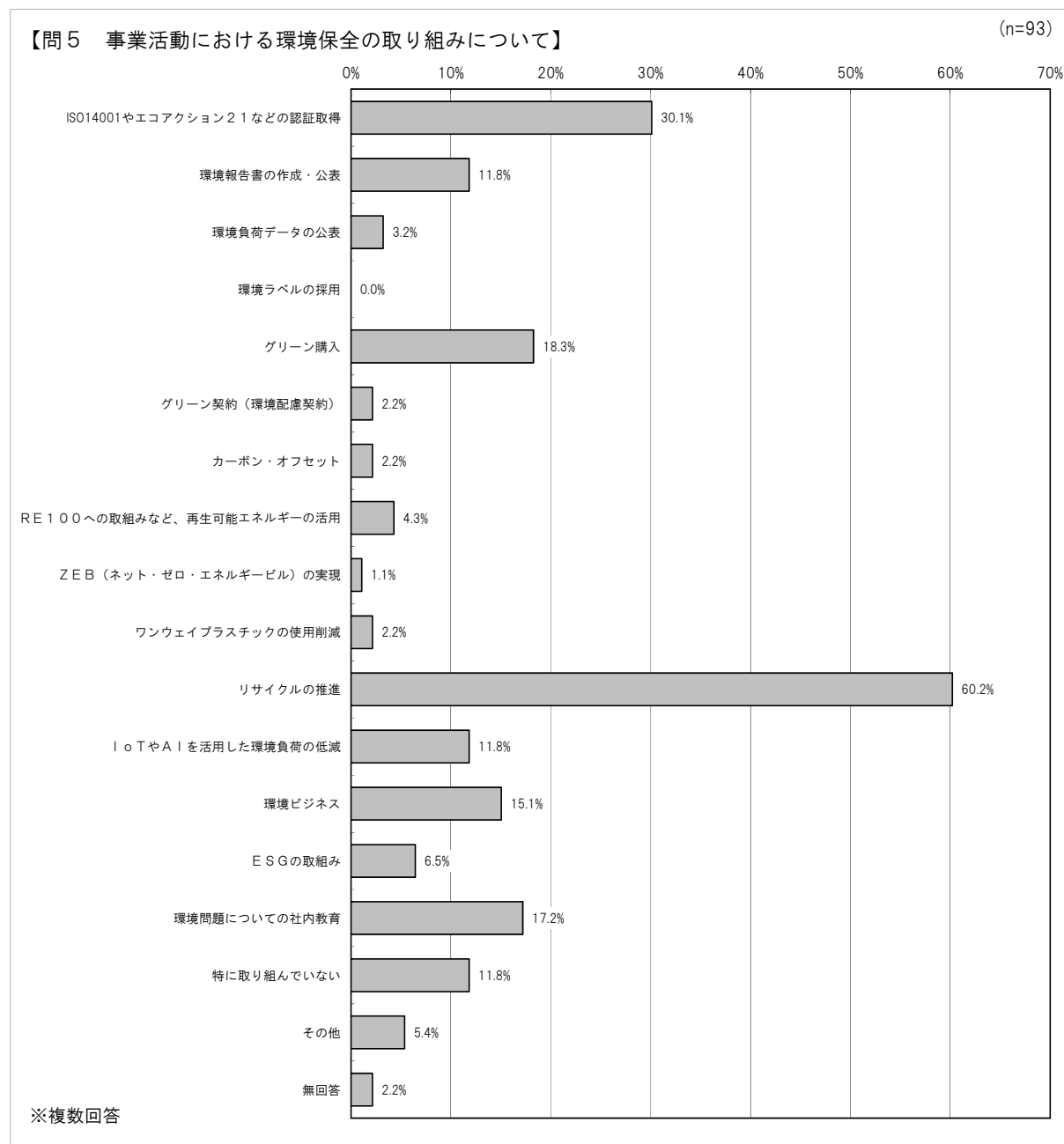
図 4-4-3 【所在地別】環境保全に対する企業の役割



- 問5 貴社では、事業活動においてどのような環境保全の取組みを実施していますか。
次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)
- (1) ISO14001 やエコアクション21などの認証取得
 - (2) 環境報告書の作成・公表
 - (3) 環境負荷データの公表
 - (4) 環境ラベルの採用
 - (5) グリーン購入
 - (6) グリーン契約（環境配慮契約）
 - (7) カーボン・オフセット
 - (8) RE100への取組みなど、再生可能エネルギーの活用
 - (9) ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）の実現
 - (10) ワンウェイプラスチックの使用削減
 - (11) リサイクルの推進
 - (12) IoTやAIを活用した環境負荷の低減
 - (13) 環境ビジネス
 - (14) ESGの取組み
 - (15) 環境問題についての社内教育
 - (16) 特に取り組んでいない
 - (17) その他

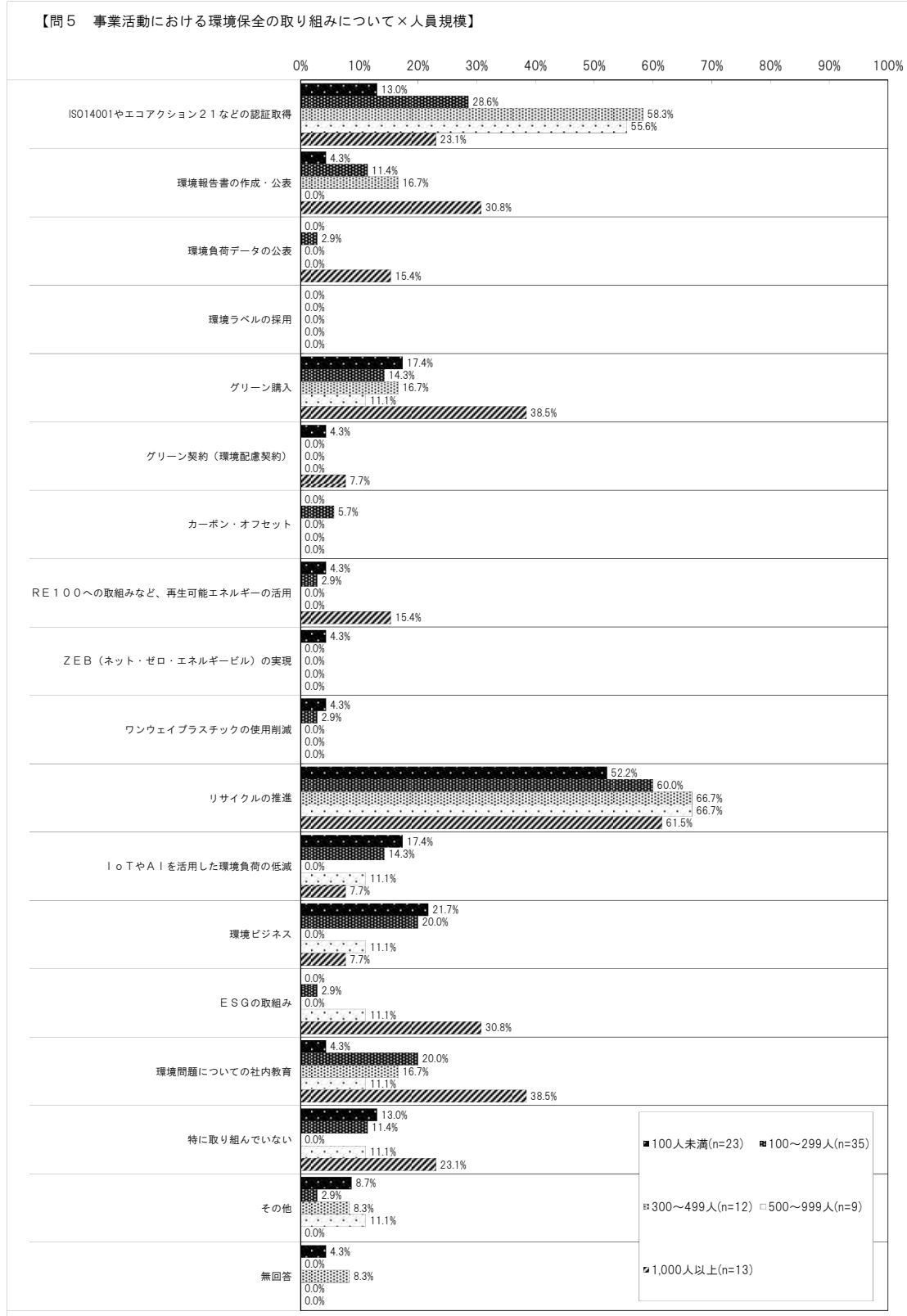
全体（図 4-5-1）で見ると、「リサイクルの推進」が 60.2%と最も高く、次いで「ISO14001 やエコアクション 21 などの認証取得」（30.1%）、「グリーン購入」（18.3%）の順となっています。

図 4-5-1 事業活動における環境保全の取り組み



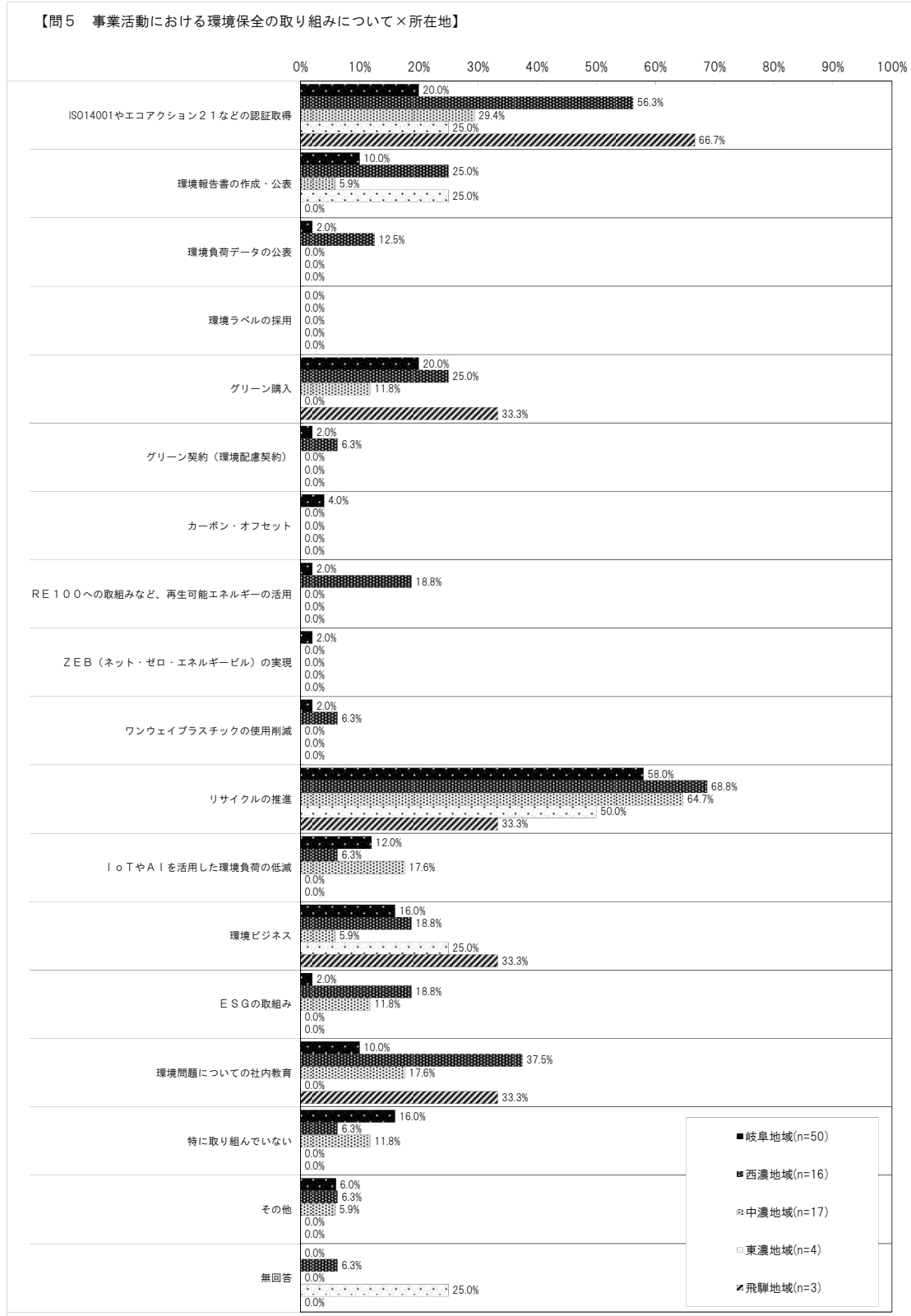
人員規模別（図 4-5-2）でみると、「環境報告書の作成・公表」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 4-5-2 【人員規模別】事業活動における環境保全の取り組み



所在地別（図 4-5-3）で見ると、西濃地域では「IoT や AI を活用した環境負荷の低減」を除く、すべての取り組みで他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-5-3 【所在地別】事業活動における環境保全の取り組み

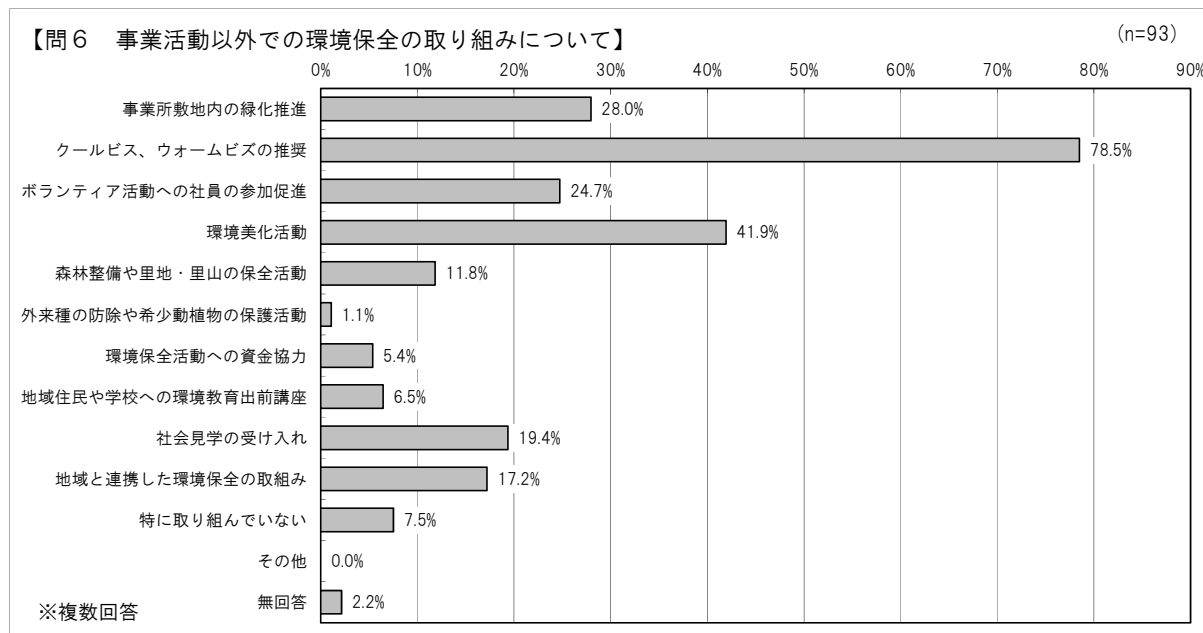


問6 貴社では、事業活動以外でどのような環境保全の取組みを実施していますか。
 次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 事業所敷地内の緑化推進
- (2) クールビズ、ウォームビズの推奨
- (3) ボランティア活動への社員の参加促進
- (4) 環境美化活動
- (5) 森林整備や里地・里山の保全活動
- (6) 外来種の防除や希少動植物の保護活動
- (7) 環境保全活動への資金協力
- (8) 地域住民や学校への環境教育出前講座
- (9) 社会見学の受け入れ
- (10) 地域と連携した環境保全の取組み
- (11) 特に取り組んでいない
- (12) その他

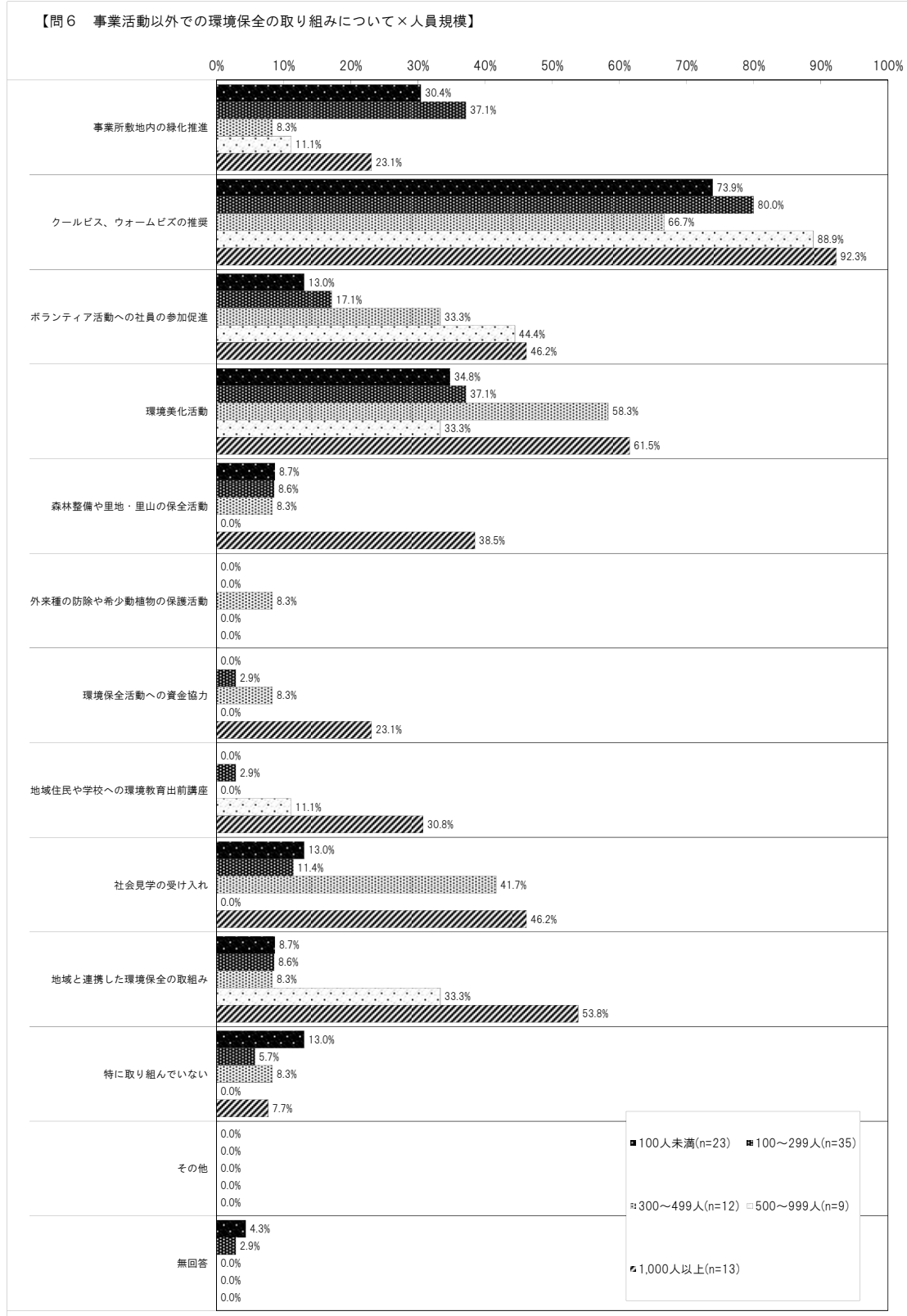
全体(図4-6-1)で見ると、「クールビズ、ウォームビズの推奨」が78.5%と最も高く、次いで「環境美化活動」(41.9%)、「事業所敷地内の緑化推進」(28.0%)の順となっています。

図4-6-1 事業活動以外での環境保全の取組み



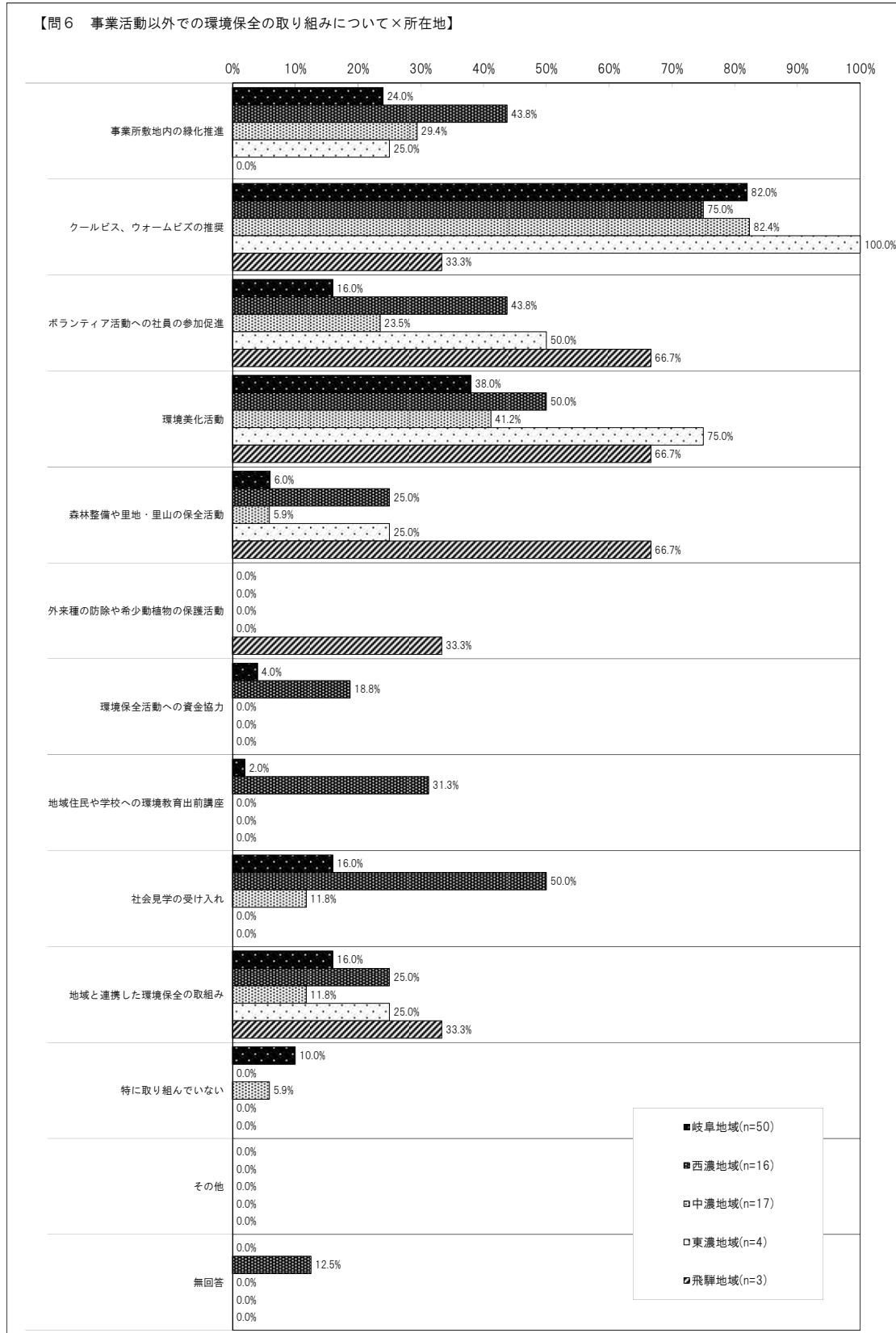
人員規模別（図 4-6-2）でみると、「ボランティア活動への社員の参加促進」や「環境美化活動」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 4-6-2 【人員規模別】事業活動以外での環境保全の取り組み



所在地別（図 4-6-3）で見ると、西濃地域では「クールビス、ウォームビズの推奨」を除く、すべての取り組みで他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-6-3 【所在地別】事業活動以外での環境保全の取り組み

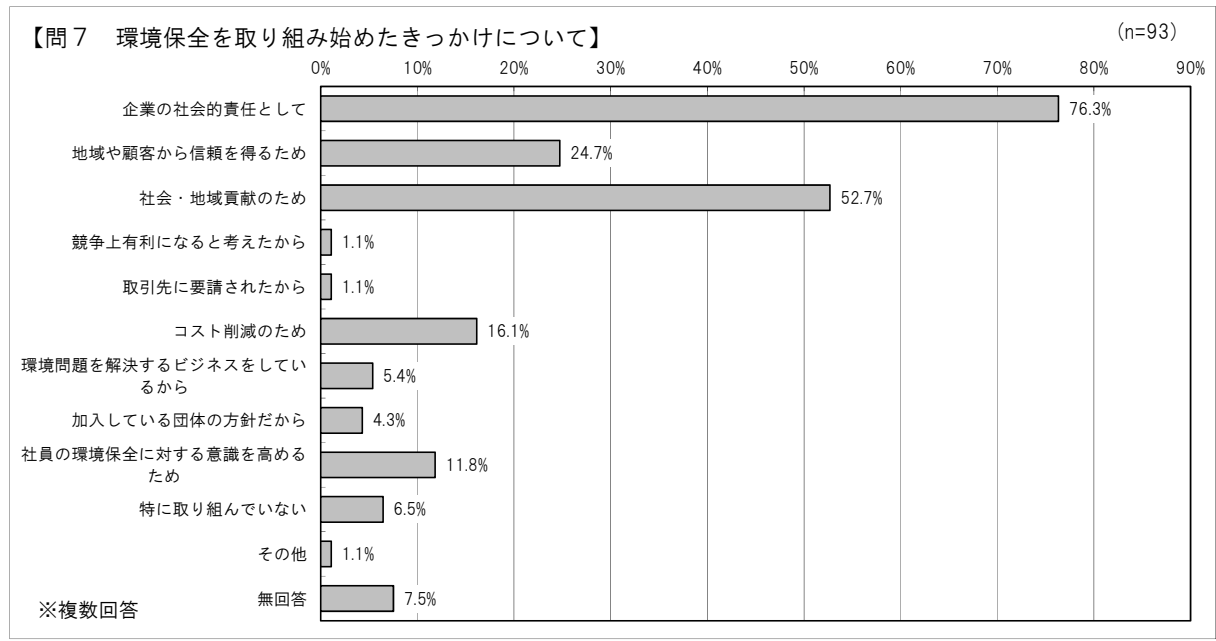


問7 問5・問6でお伺いした取組みを始めたきっかけは何ですか。
 次のうち、あてはまるものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 企業の社会的責任として
- (2) 地域や顧客から信頼を得るため
- (3) 社会・地域貢献のため
- (4) 競争上有利になると考えたから
- (5) 取引先に要請されたから
- (6) コスト削減のため
- (7) 環境問題を解決するビジネスをしているから
- (8) 加入している団体の方針だから
- (9) 社員の環境保全に対する意識を高めるため
- (10) 特に取り組んでいない
- (11) その他

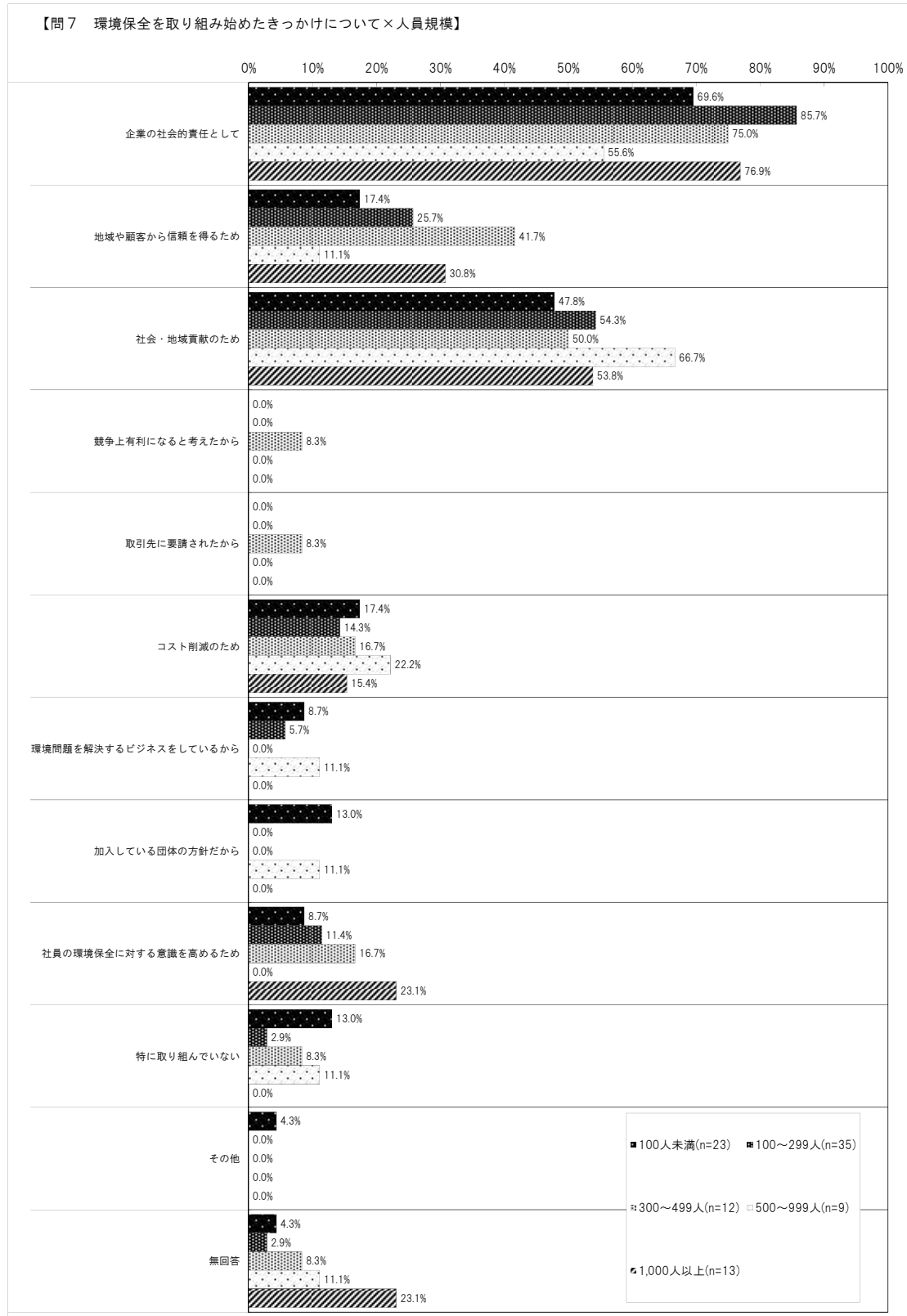
全体(図4-7-1)で見ると、「企業の社会的責任として」が76.3%と最も高く、次いで「社会・地域貢献のため」(52.7%)、「地域や顧客から信頼を得るため」(24.7%)の順となっています。

図4-7-1 環境保全を取り組み始めたきっかけ



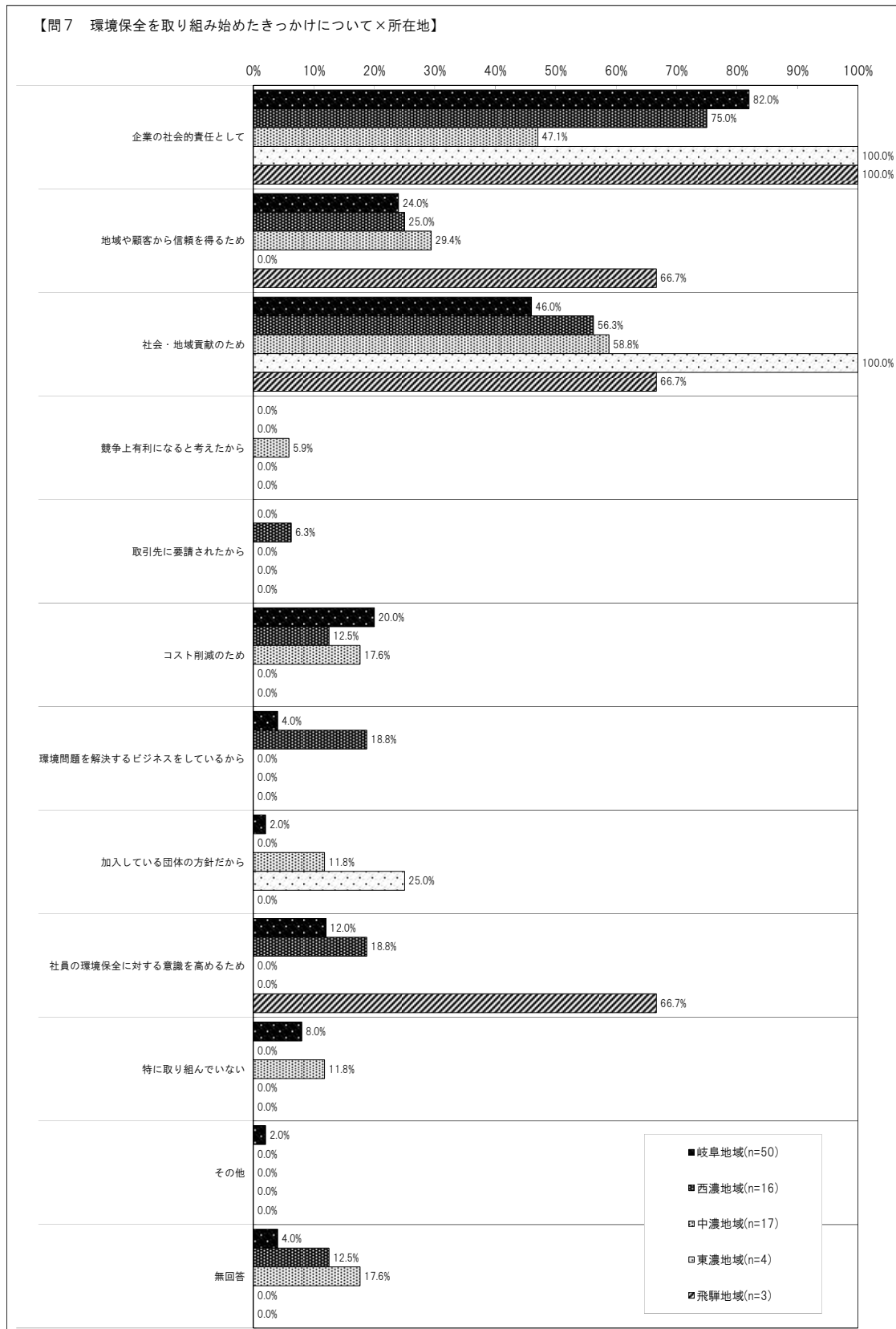
人員規模別（図 4-7-2）でみると、「社員の環境保全に対する意識を高めるため」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 4-7-2 【人員規模別】環境保全を取り組み始めたきっかけ



所在地別（図 4-7-3）で見ると、中濃地域では「企業の社会的責任として」で他の所在地と比べて低くなっています。

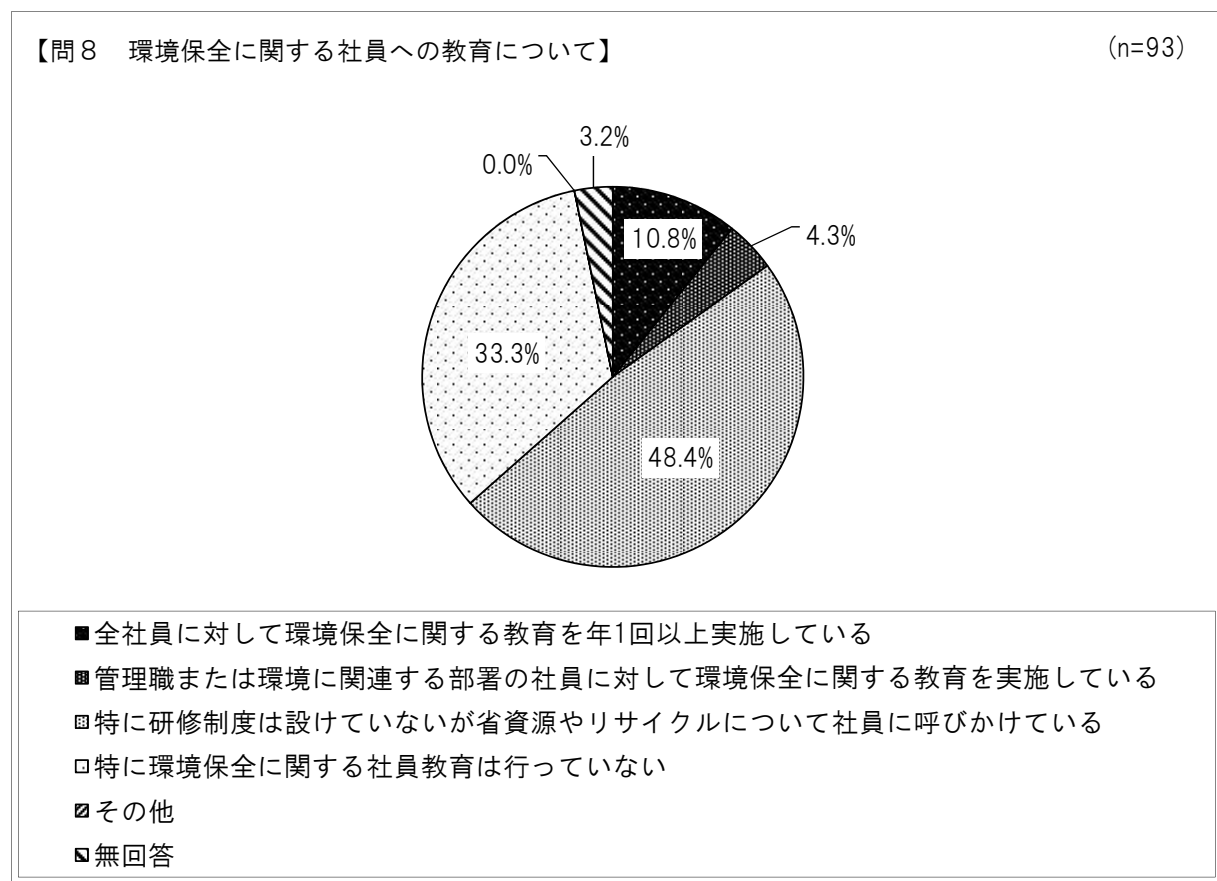
図 4-7-3 【所在地別】環境保全を取り組み始めたきっかけ



問8 貴社において、環境保全に関する社員への教育をどのように実施していますか。
 次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
 (1)、(2)に○をつけた方は、()に内容を記入してください。
 (1) 全社員に対して環境保全に関する教育を年1回以上実施している
 (2) 管理職または環境に関連する部署の社員に対して環境保全に関する教育を実施している
 (3) 特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている
 (4) 特に環境保全に関する社員教育は行っていない
 (5) その他

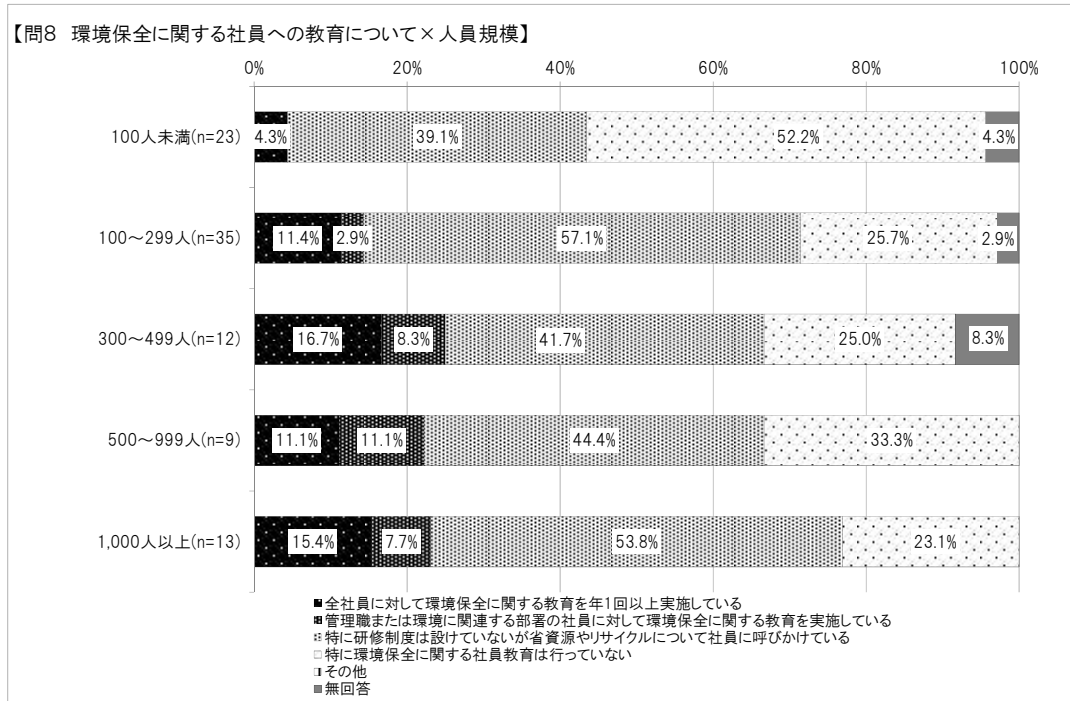
全体(図4-8-1)で見ると、「特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている」が48.4%と最も高く、次いで「特に環境保全に関する社員教育は行っていない」(33.3%)、「全社員に対して環境保全に関する教育を年1回以上実施している」(10.8%)の順となっています。

図4-8-1 環境保全に関する社員への教育



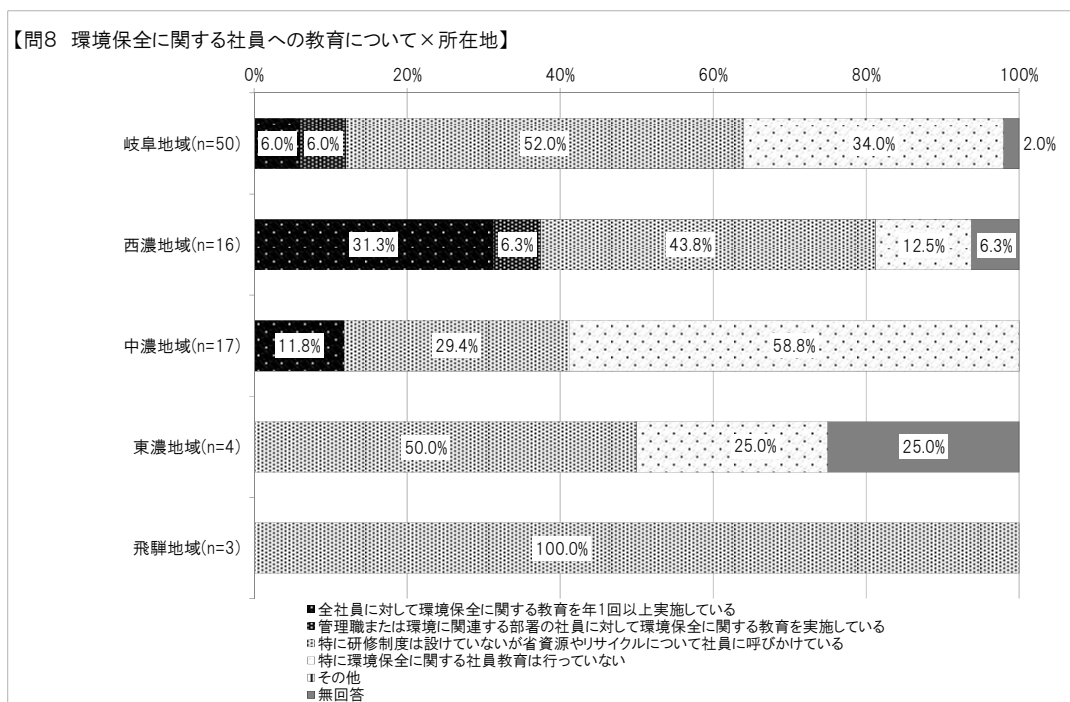
人員規模別（図 4-8-2）で見ると、100 人未満では「特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている」が他の人員規模より高くなっています。

図 4-8-2 【人員規模別】環境保全に関する社員への教育



所在地別（図 4-8-3）で見ると、西濃地域では「全社員に対して環境保全に関する教育を年 1 回以上実施している」で他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-8-3 【所在地別】環境保全に関する社員への教育

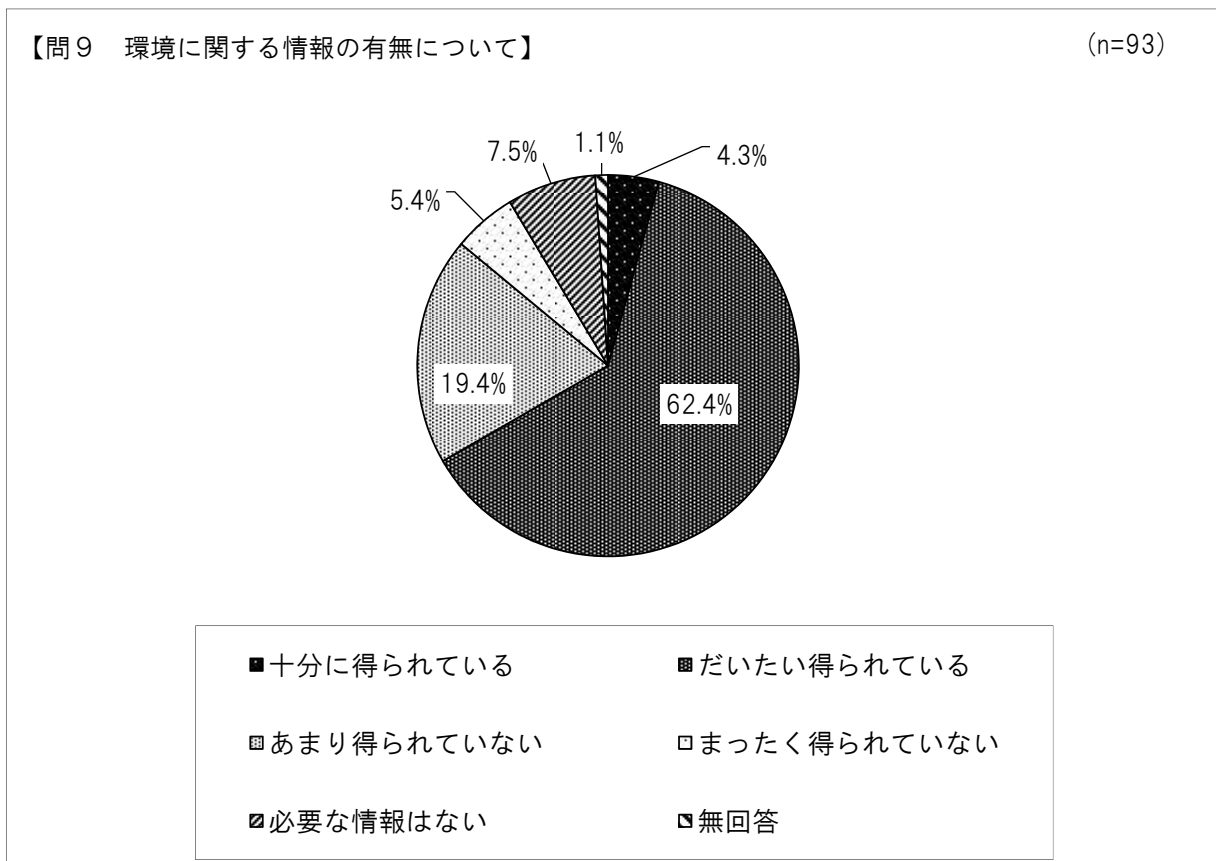


4-2 環境に関する情報について

問7 貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために必要な情報は得られていますか。
次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
(3)、(4)に○をつけた方は、()に得られていない情報を記入してください。
(1)十分に得られている
(2)だいたい得られている
(3)あまり得られていない
(4)まったく得られていない
(5)必要な情報はない

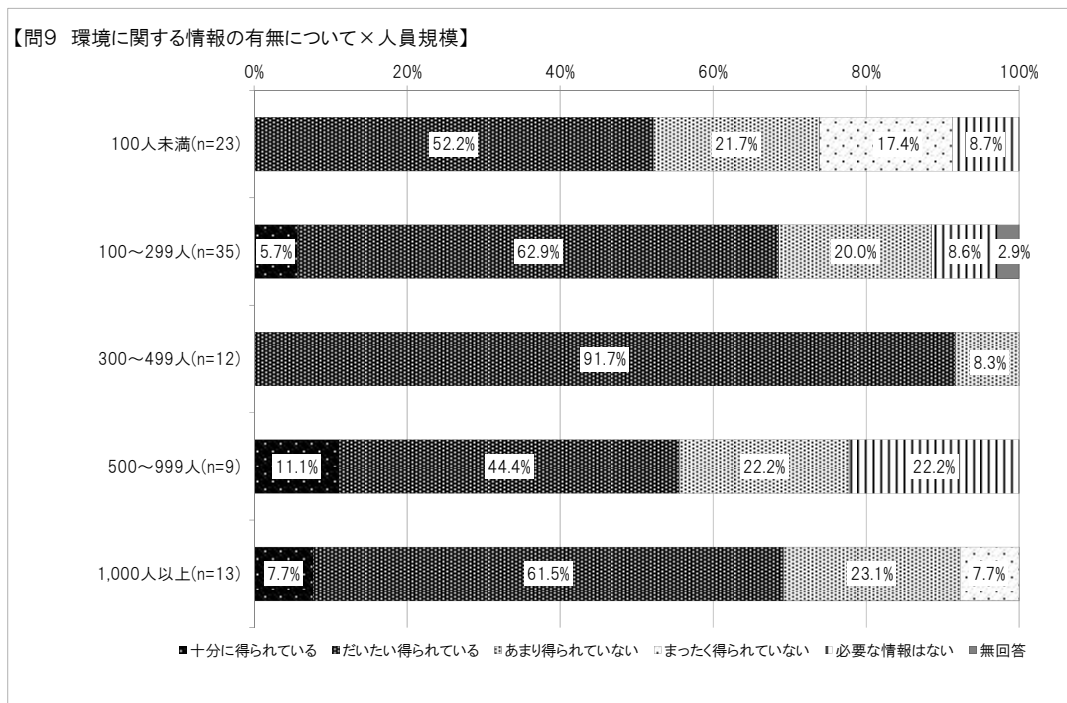
全体(図4-9-1)で見ると、「だいたい得られている」が62.4%と最も高く、次いで「あまり得られていない」(19.4%)、「必要な情報はない」(7.5%)の順となっています。

図4-9-1 環境に関する情報の有無



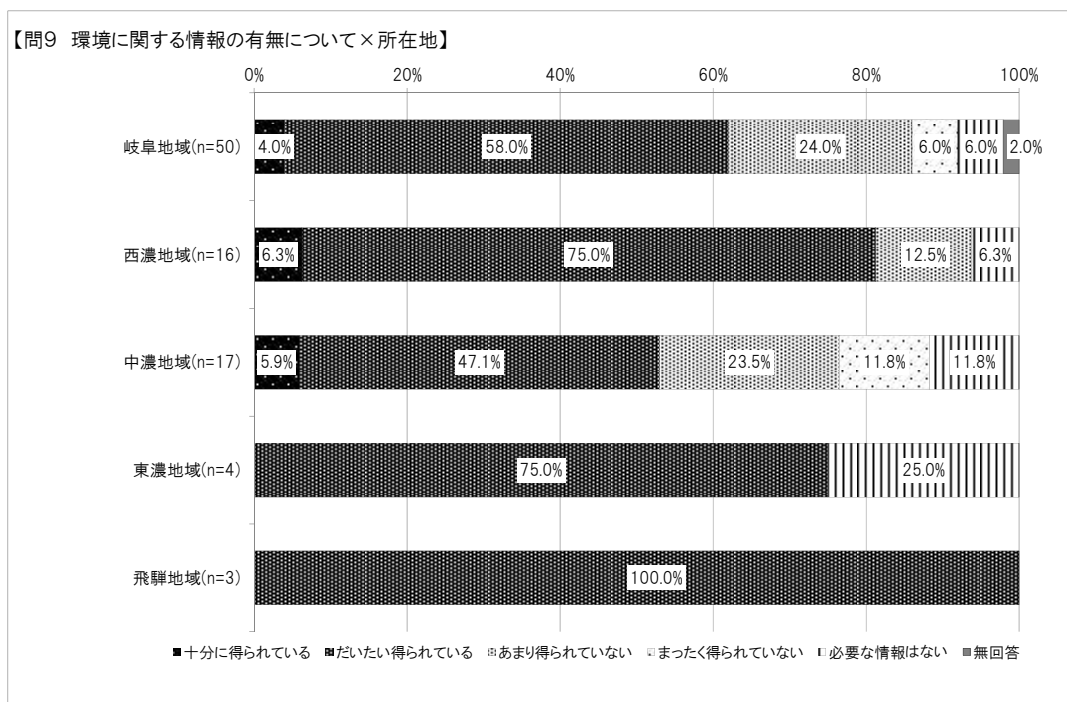
人員規模別（図 4-9-2）で見ると、300～499 人では「だいたい得られている」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 4-9-2 【人員規模別】環境に関する情報の有無



所在地別（図 4-9-3）で見ると、西濃地域では「だいたい得られている」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-9-3 【所在地別】環境に関する情報の有無



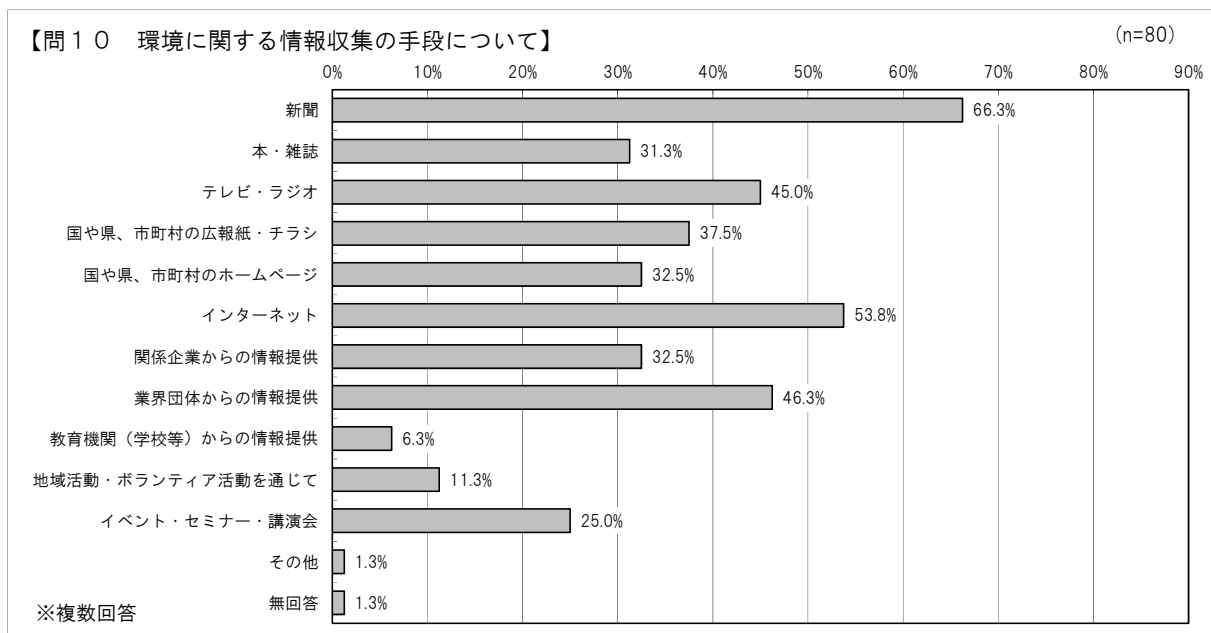
問10 問9で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取り組みをするために情報を得る主な手段は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 関係企業からの情報提供
- (8) 業界団体からの情報提供
- (9) 教育機関(大学等)からの情報提供
- (10) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (11) イベント・セミナー・講演会
- (12) その他

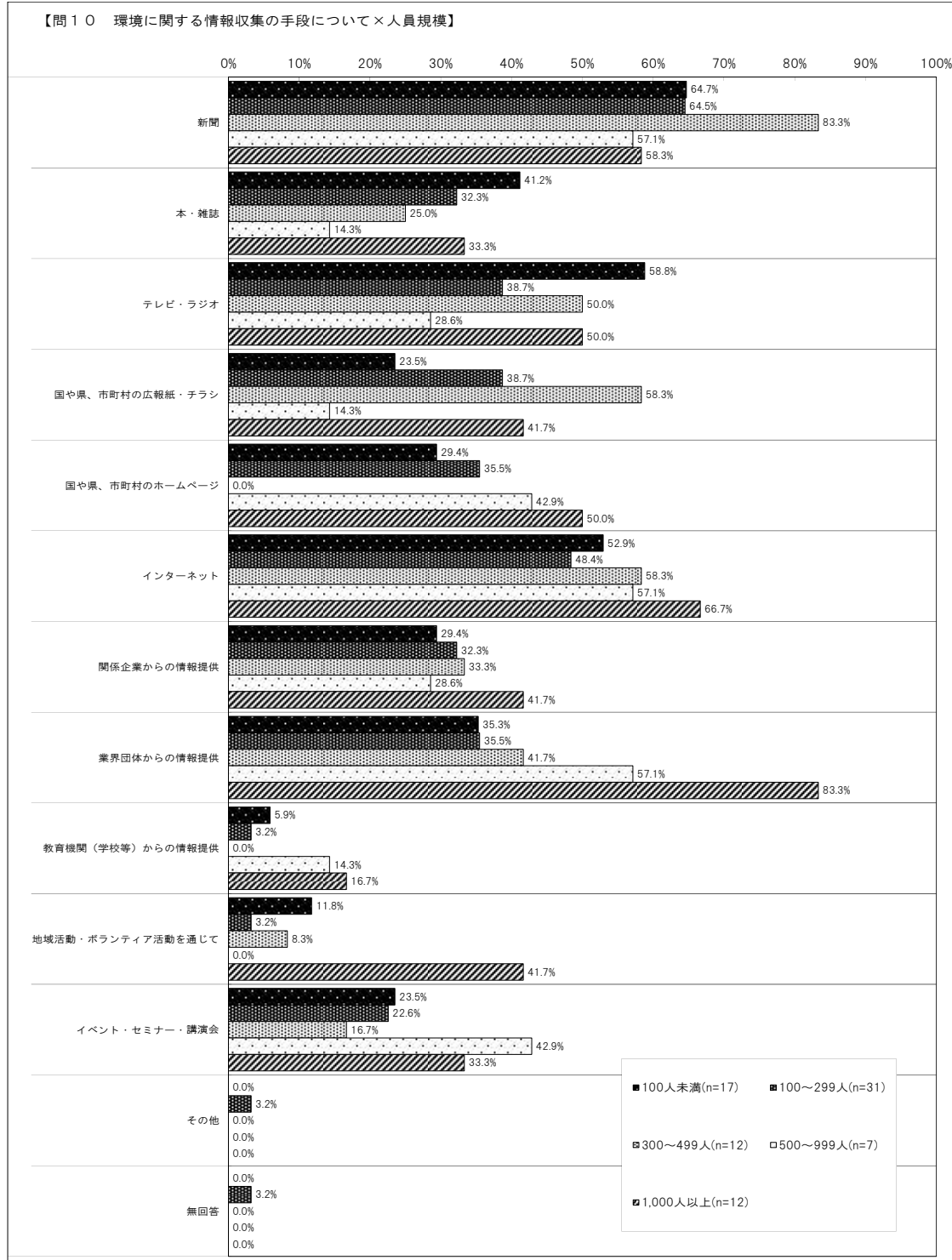
全体(図4-10-1)で見ると、「新聞」が66.3%と最も高く、次いで「インターネット」(53.8%)、「業界団体からの情報提供」(46.3%)の順となっています。

図4-10-1 環境に関する情報収集の手段



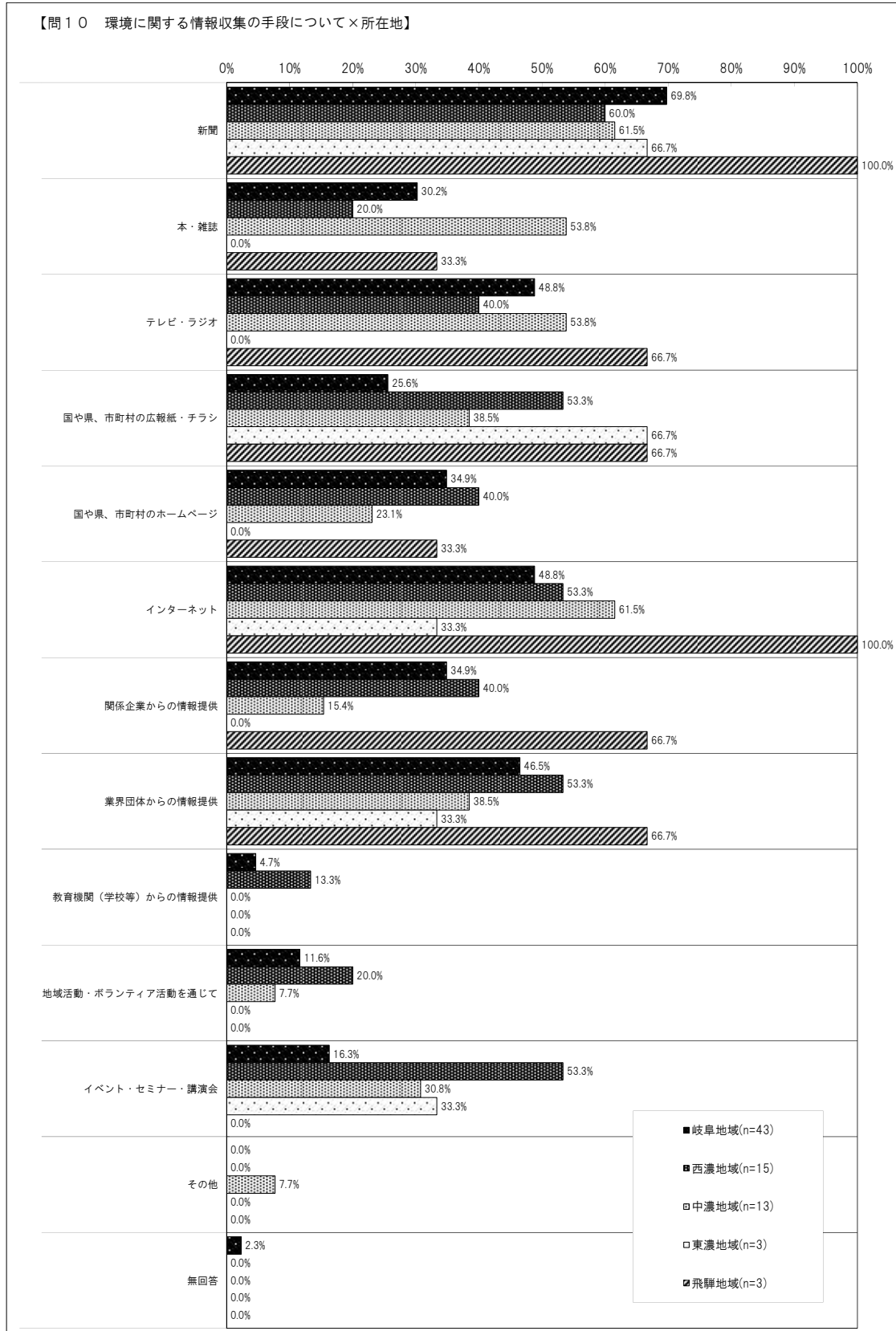
人員規模別（図 4-10-2）でみると、「関係企業からの情報提供」で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。また、1,000 人以上では「業界団体からの情報提供」や「地域活動・ボランティア活動を通じて」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 4-10-2 【人員規模別】環境に関する情報収集の手段



所在地別（図 4-10-3）で見ると、西濃地域では「国や県、市町村の広報紙・チラシ」や「イベント・セミナー・講演会」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-10-3 【所在地別】環境に関する情報収集の手段



4-3 県が実施する環境施策について

問 11 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、貴社はどの程度知っていますか。
次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

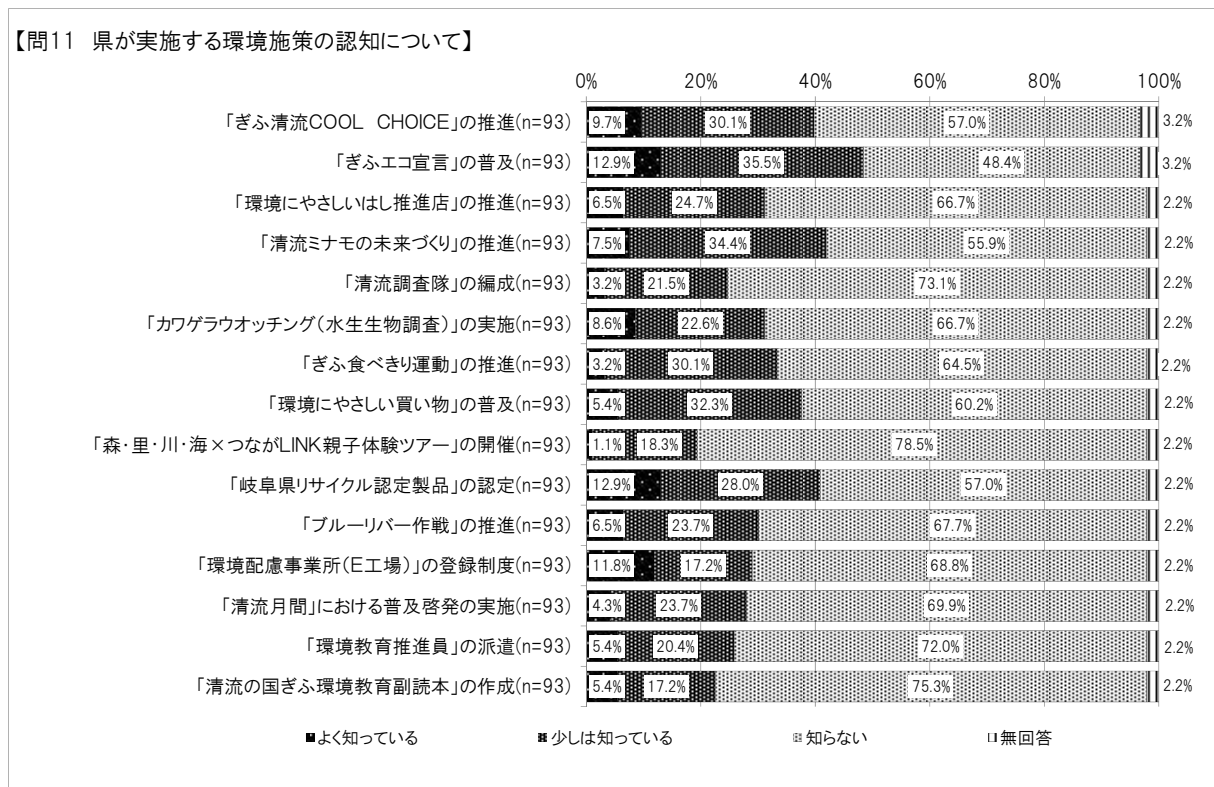
(1)「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進 (2)「ぎふエコ宣言」の普及
 (3)「環境にやさしいはし推進店」の推進 (4)「清流ミナモの未来づくり」の推進
 (5)「清流調査隊」の編成
 (6)「カワゲラウオッチング(水生生物調査)」の実施
 (7)「ぎふ食べきり運動」の推進 (8)「環境にやさしい買い物」の普及
 (9)「森・里・川・海×つながりLINK親子体験ツアー」の開催
 (10)「岐阜県リサイクル認定製品」の認定 (11)「ブルーリバー作戦」の推進
 (12)「環境配慮事業所(E工場)」の登録制度 (13)「清流月間」における普及啓発の実施
 (14)「環境教育推進員」の派遣 (15)「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成

【選択肢】

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 知らない

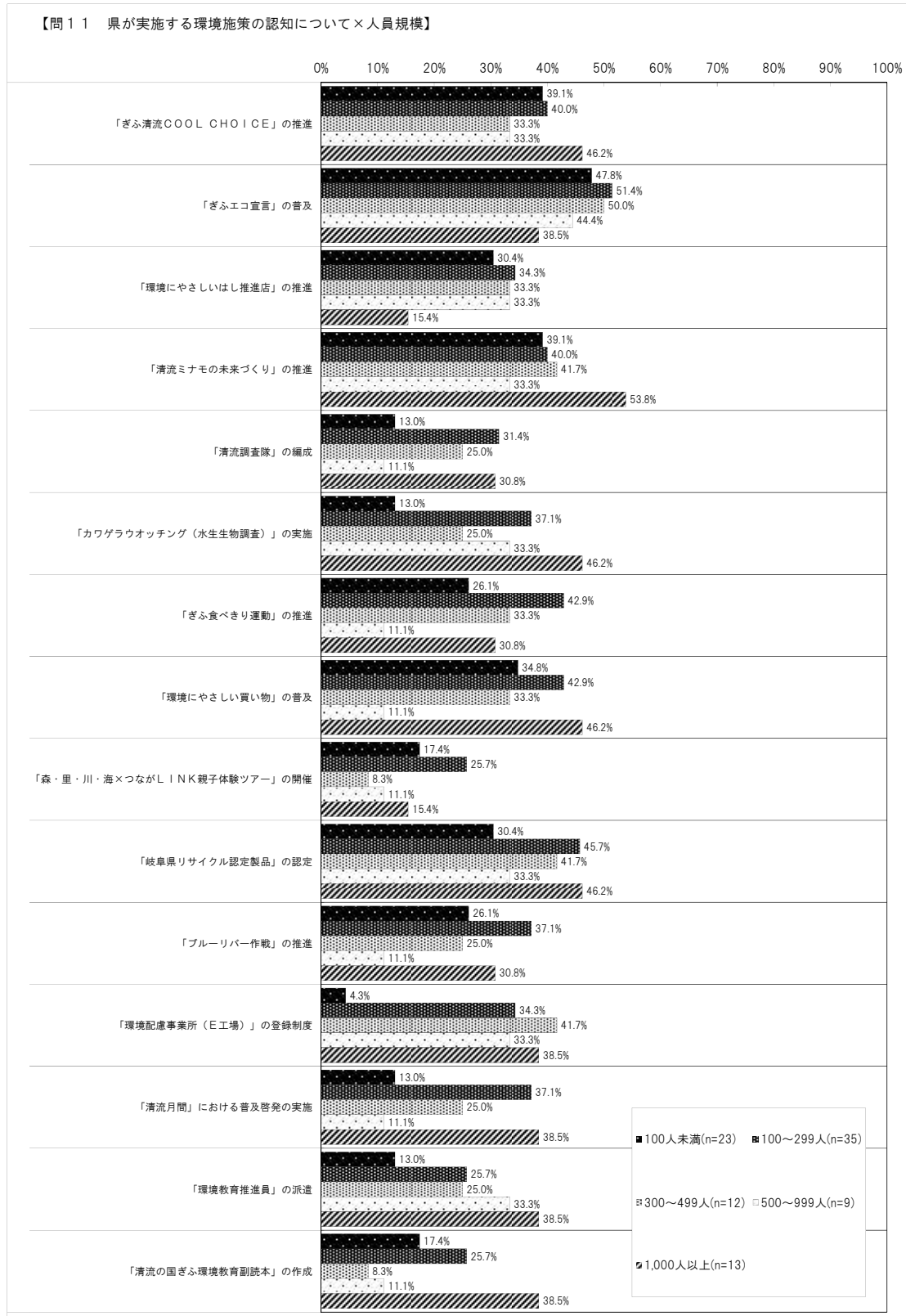
全体(図4-11-1)で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『ぎふエコ宣言』の普及』が48.4%と最も高く、次いで『清流ミナモの未来づくり』の推進』(41.9%)、『岐阜県リサイクル認定製品』の認定』(40.9%)の順となっています。

図 4-11-1 県が実施する環境施策の認知



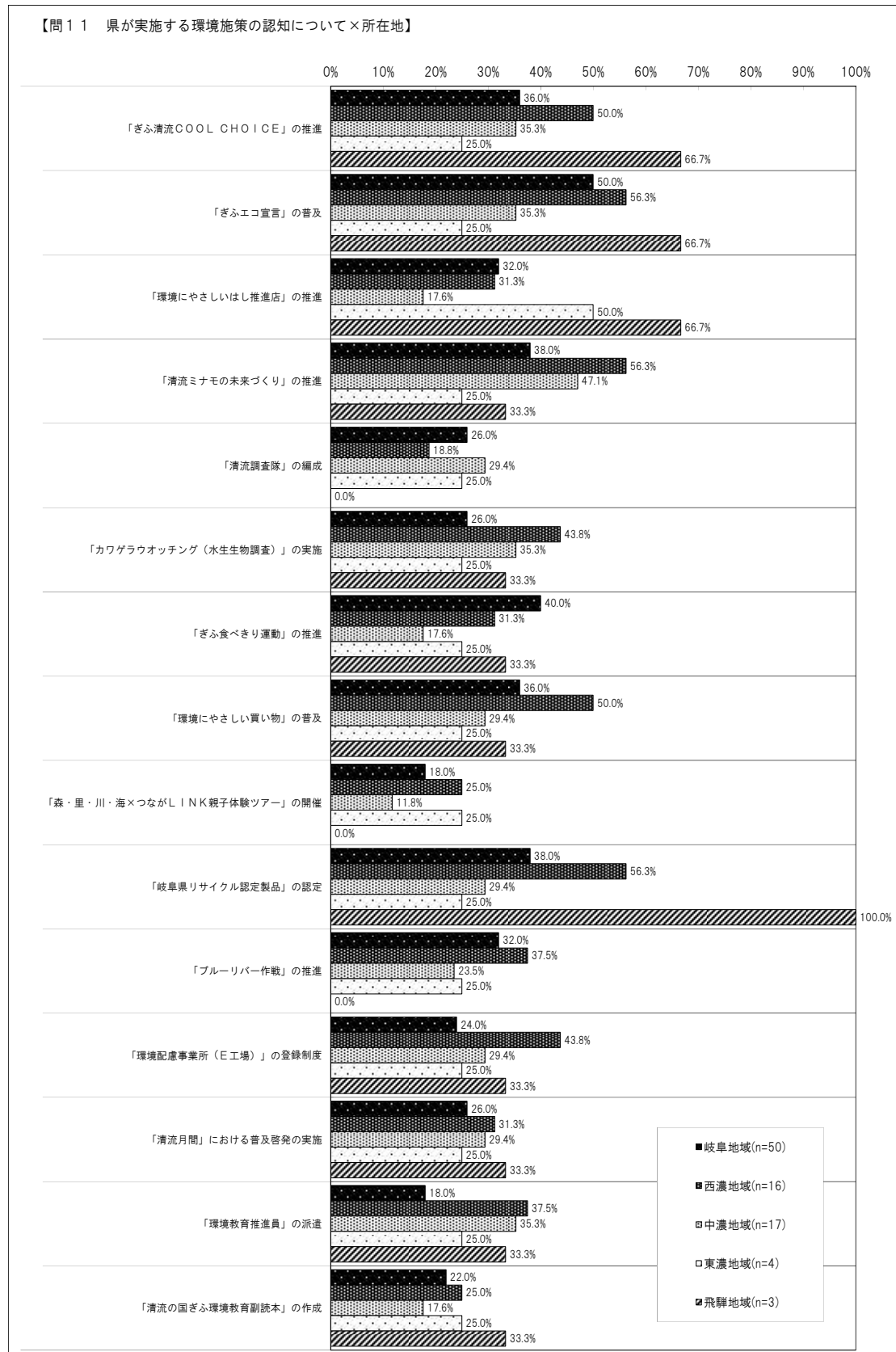
人員規模別（図 4-11-2）でみると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『清流ミナモの未来づくり』の推進』で人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 4-11-2 【人員規模別】県が実施する環境施策の認知



所在地別（図 4-11-3）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、西濃地域では『「環境にやさしいはし推進店」の推進』、『「清流調査隊」の編成』、『「ぎふ食べきり運動」の推進』を除く、すべての項目が他の居住地と比べて高くなっています。

図 4-11-3 【所在地別】県が実施する環境施策の認知



5. 一般県民調査と環境関連団体調査、企業調査の比較結果

5-1 環境に対する関心や行動について

比較1 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

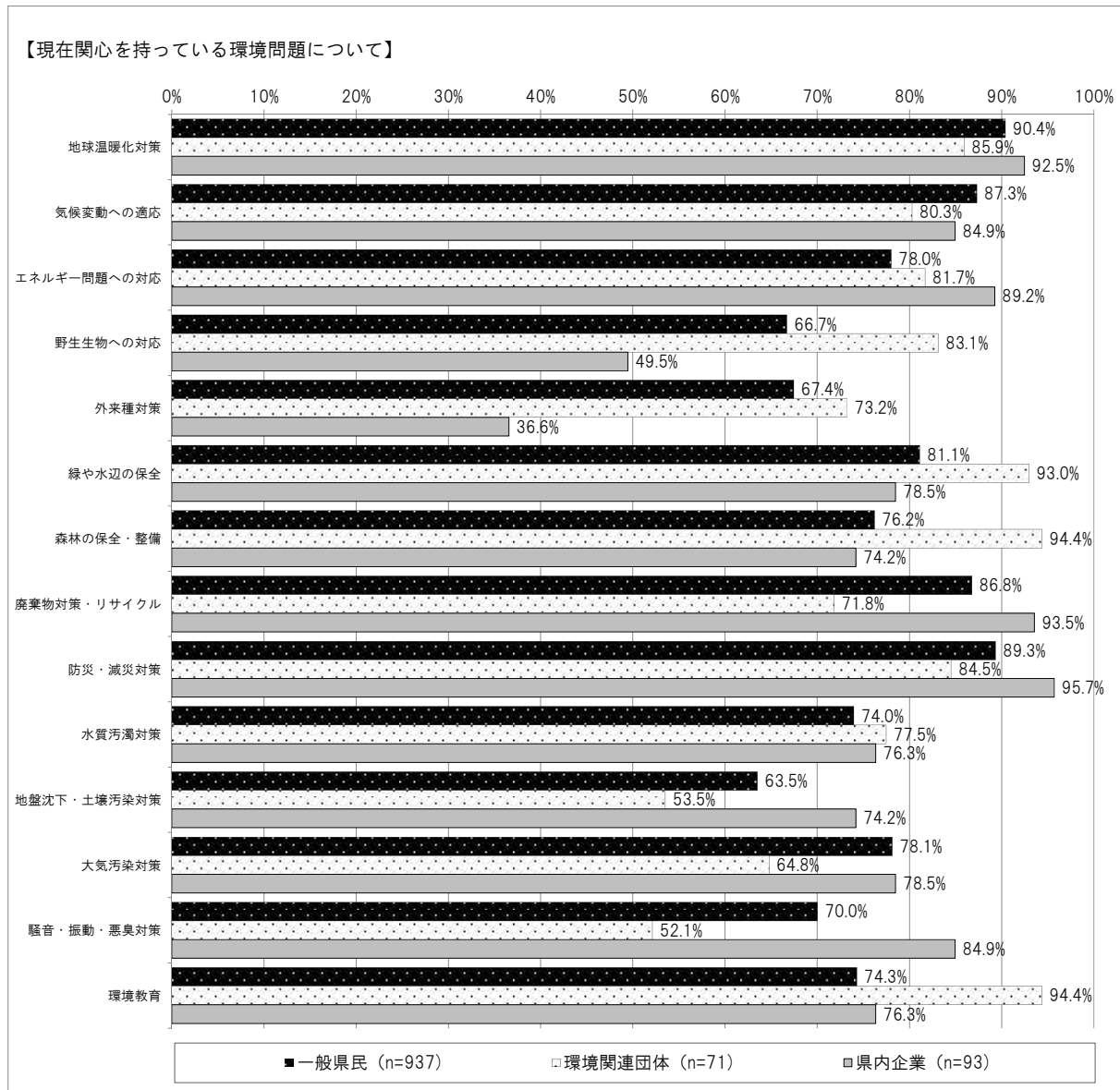
【項目】

- | | |
|------------------|-----------------|
| (1) 地球温暖化対策 | (2) 気候変動への適応 |
| (3) エネルギー問題への対応 | (4) 野生生物への対応 |
| (5) 外来種対策 | (6) 緑や水辺の保全 |
| (7) 森林の保全・整備 | (8) 廃棄物対策・リサイクル |
| (9) 防災・減災対策 | (10) 水質汚濁対策 |
| (11) 地盤沈下・土壌汚染対策 | (12) 大気汚染対策 |
| (13) 騒音・振動・悪臭対策 | (14) 環境教育 |

※各項目の回答数は「非常に関心がある」と「少しは関心がある」を合わせたものとなります。

各調査（図 5-1）を比較すると、県民は『気候変動への対応』で他の調査より高くなっており、団体では『野生生物への対応』、『外来種対策』、『緑や水辺の保全』、『森林の保全・整備』、『水質汚濁対策』、『環境教育』の 6 つの項目で他の調査より高くなっており、その他の項目については企業が他の調査より高くなっています。

図 5-1 【比較】 関心がある環境問題



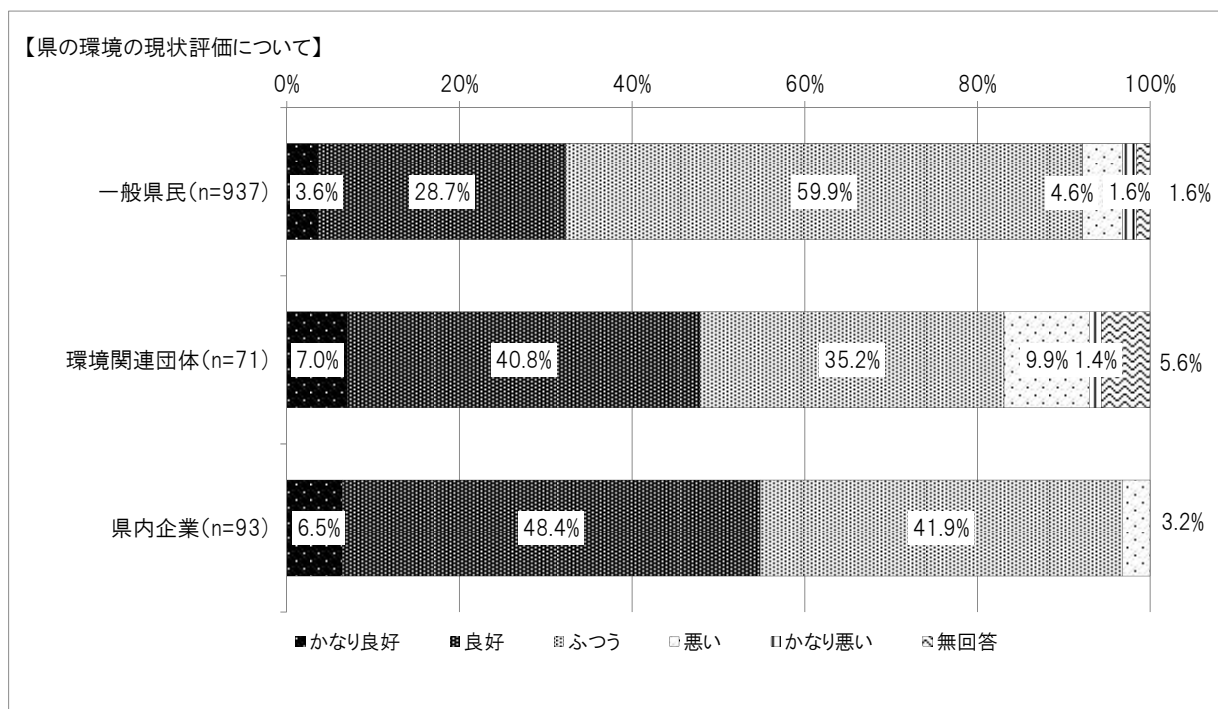
比較2 県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった
- (5) かなり悪くなった
- (6) わからない

各調査（図 5-2）を比較すると、「良好」は企業が 48.4%と最も高く、次いで団体が 40.8%、県民が 28.7%の順となっています。

図 5-2 【比較】県の環境の現状評価

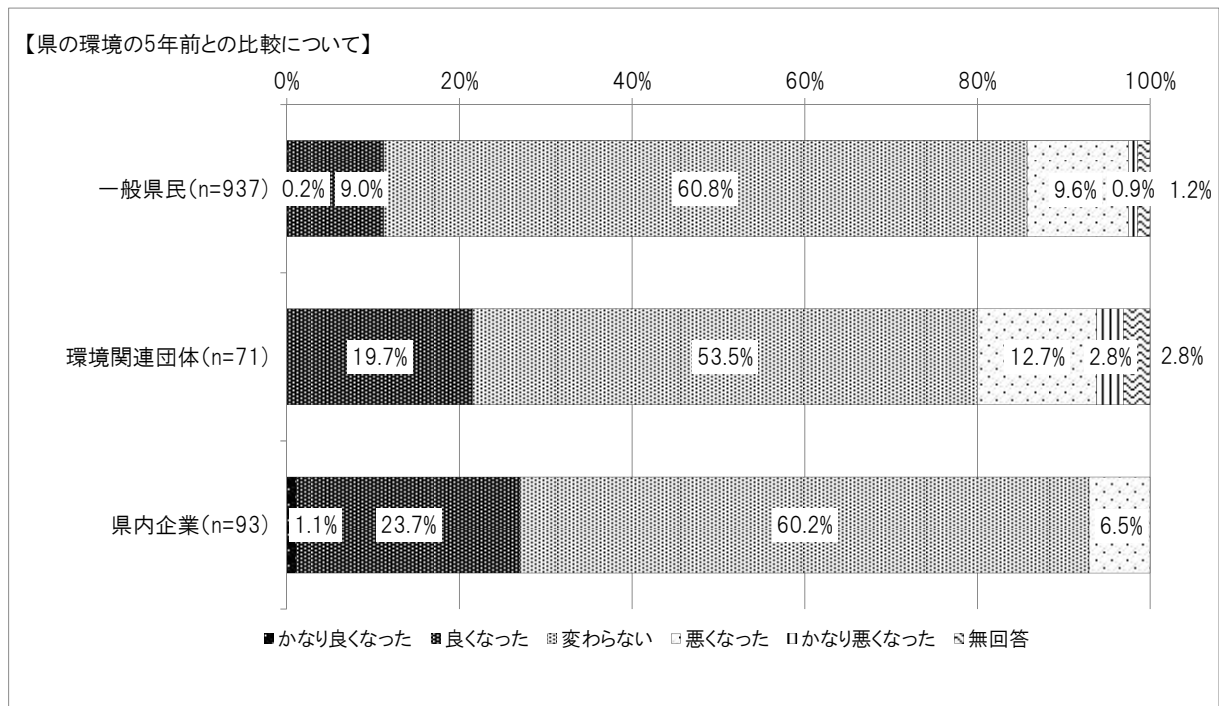


比較3 県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

(1) かなり良くなった
 (2) 良くなった
 (3) 変わらない
 (4) 悪くなった
 (5) かなり悪くなった
 (6) わからない

各調査(図5-3)を比較すると、「良くなった」は企業が23.7%と最も高く、次いで団体が19.7%、県民が9.0%の順となっています。各調査結果について、比較2と同様の傾向がみられます。

図5-3 【比較】県の環境の5年前との比較



5-2 環境に関する情報について

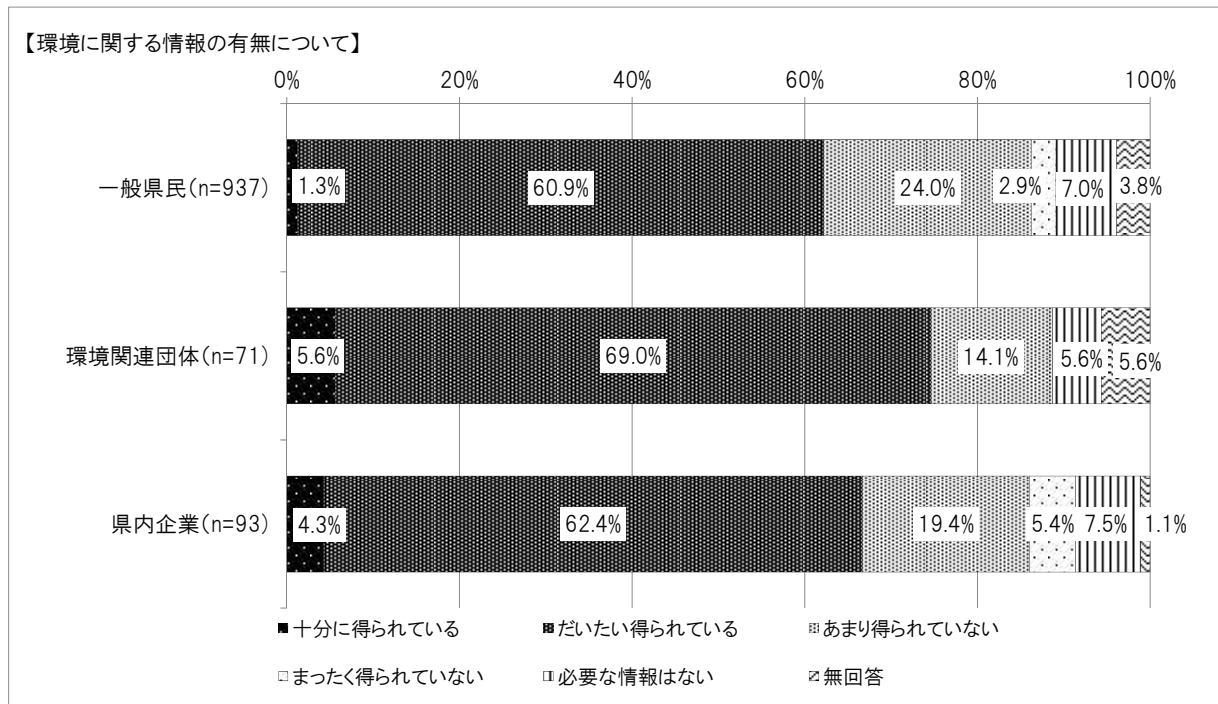
比較4 環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために必要な情報は得られていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない
- (4) まったく得られていない
- (5) 必要な情報はない

各調査(図5-4)を比較すると、「だいたい得られている」は団体が69.0%と最も高く、次いで企業が62.4%、県民が60.9%の順となっています。

図5-4 【比較】環境に関する情報の有無



比較5 前問で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取り組みをするために情報を得る主な手段は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

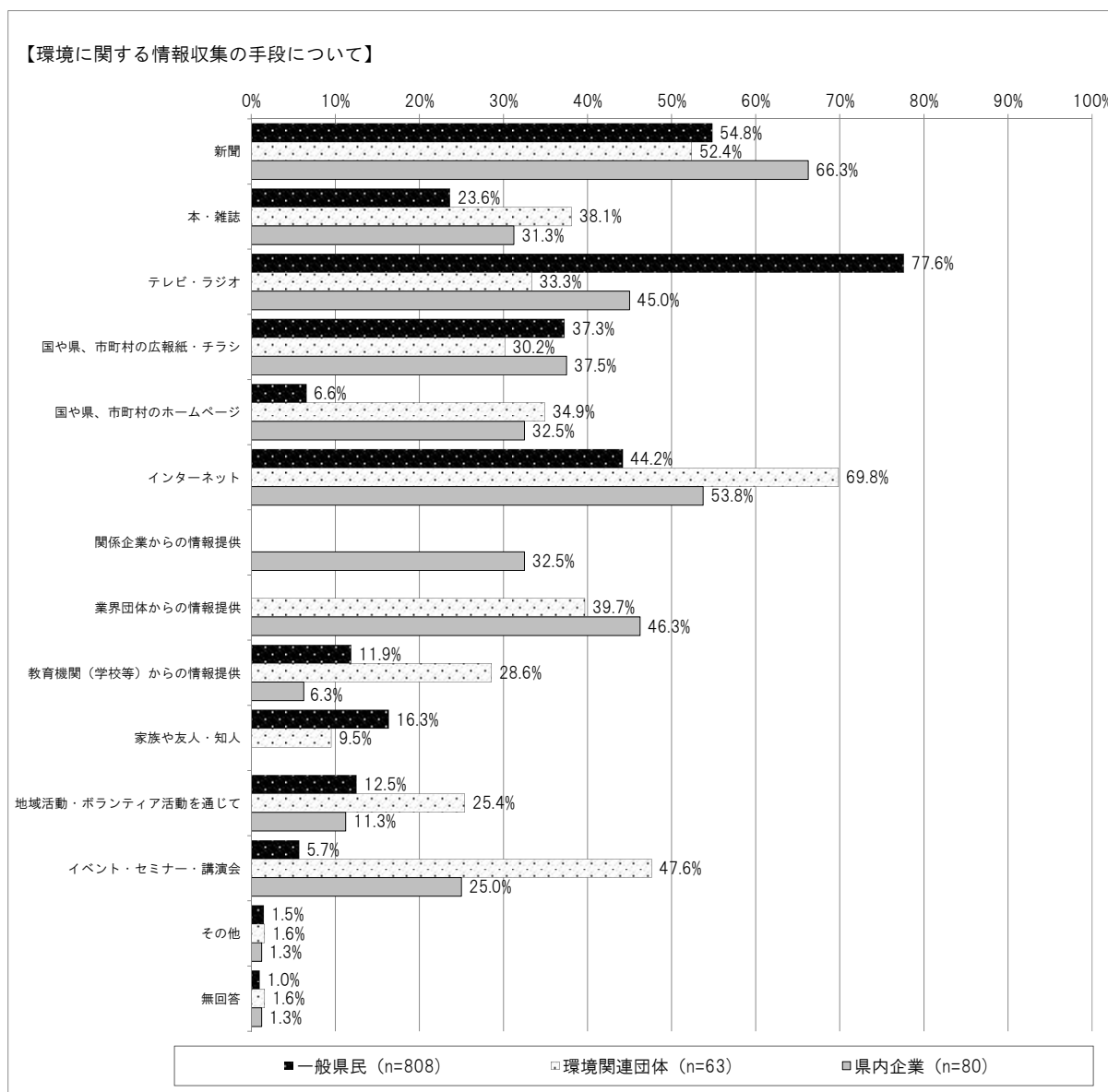
- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 関係企業からの情報提供
- (8) 業界団体からの情報提供
- (9) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (10) 家族や友人・知人
- (11) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (12) イベント・セミナー・講演会
- (13) その他

※1「関係企業からの情報提供」、「業界団体からの情報提供(他団体からの情報提供)」、「家族や友人・知人」について、確認していない調査では記載しておりません。

※2「業界団体からの情報提供」と「他団体からの情報提供」は同一の選択肢として扱っています。

各調査（図 5-5）を比較すると、県民は「テレビ・ラジオ」が 30 ポイント以上、他の調査より高くなっており、団体では「イベント・セミナー・講演会」が 20 ポイント以上、「インターネット」や「教育機関（学校等）からの情報提供」が 15 ポイント以上、「地域活動・ボランティア活動を通じて」が 10 ポイント以上、他の調査より高くなっており、企業では「新聞」が 10 ポイント以上、他の調査より高くなっています。

図 5-5 【比較】環境に関する情報収集の手段



5-3 県が実施する環境施策について

比較6 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、どの程度知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

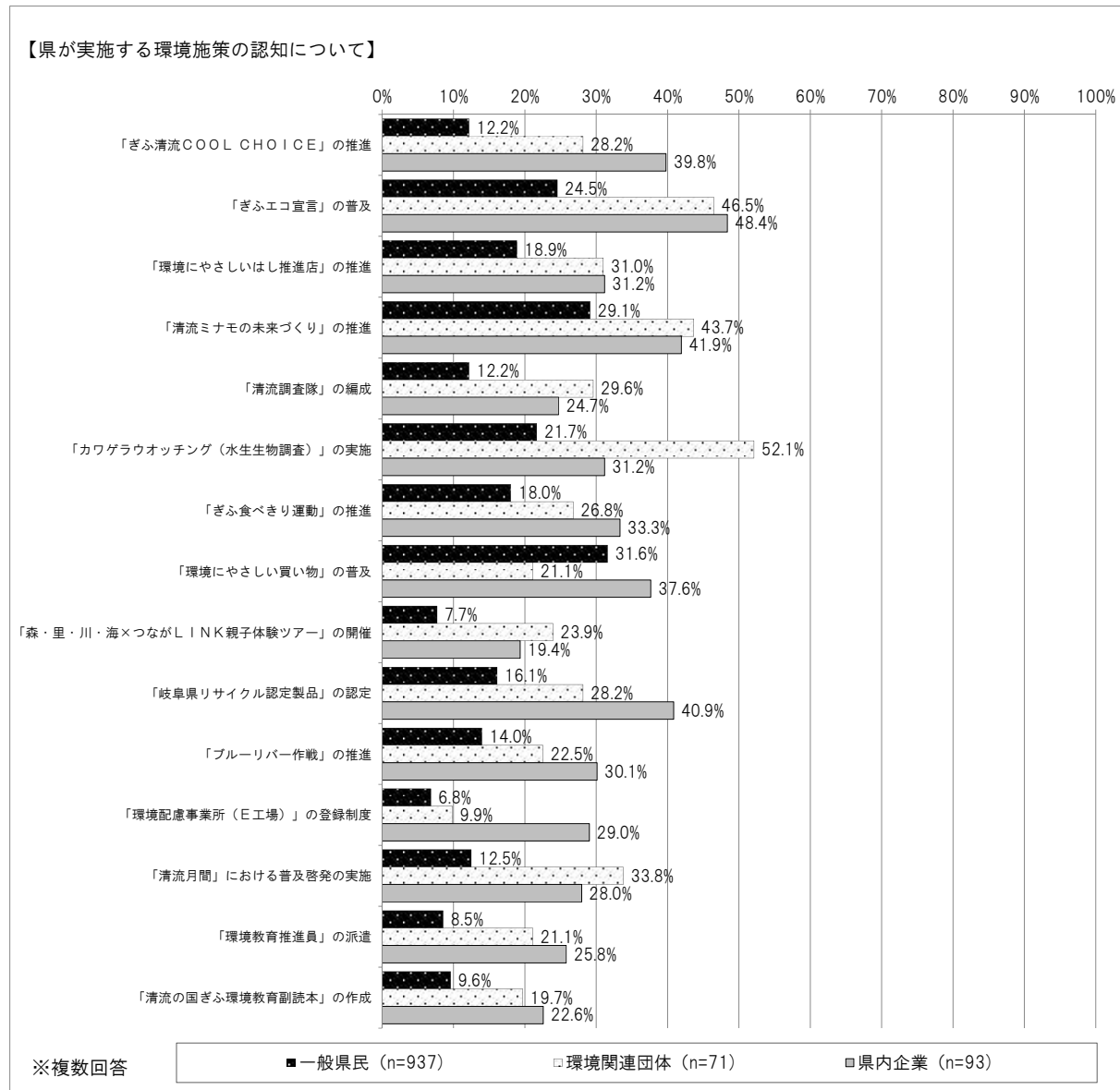
【項目】

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| (1)「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進 | (2)「ぎふエコ宣言」の普及 |
| (3)「環境にやさしいはし推進店」の推進 | (4)「清流ミナモの未来づくり」の推進 |
| (5)「清流調査隊」の編成 | |
| (6)「カワゲラウォッチング(水生生物調査)」の実施 | |
| (7)「ぎふ食べきり運動」の推進 | (8)「環境にやさしい買い物」の普及 |
| (9)「森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー」の開催 | |
| (10)「岐阜県リサイクル認定製品」の認定 | (11)「ブルーリバー作戦」の推進 |
| (12)「環境配慮事業所(E工場)」の登録制度 | (13)「清流月間」における普及啓発の実施 |
| (14)「環境教育推進員」の派遣 | (15)「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成 |

※各項目の回答数は「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせたものとなります。

各調査（図5-6）を比較すると、県民は『「環境にやさしい買い物」の普及』を除く、すべての項目で他の調査より低くなっています。団体では『「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施』と『「清流月間」における普及啓発の実施』の2つの項目で他の調査より高くなっており、その他の項目については企業が他の調査より高くなっています。

図5-6 【比較】県が実施する環境施策の認知



○資料 調査票（一般県民用調査票）

環境に関する意識調査（県民のみなさまへ） 【ご協力のお願い】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、平成28年3月に「岐阜県環境基本計画（第5次）」を策定し、環境の保全及び創出に関する様々な取組みを推進しておりますが、今後新たな計画の検討を進めることとしております。

つきましては、新たな計画の策定にあたり、県民のみなさまの環境に対するお考えやご意見などを把握するため、県内に居住する満20歳以上の方2,000人を無作為に選ばせていただきアンケート調査を行うことといたしました。

この調査票は無記名でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、ホームページ等で掲載する予定ですが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・ 回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・ 同封の返信用封筒に入れて、**令和元年 12月 16日（月）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・ 公表時期は令和2年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境生活部 環境企画課 環境企画係
電 話：（県庁代表）058-272-1111（内線2696）
F A X：058-278-2610

環境に関する意識調査票（県民のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、あなたご自身のことについておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

① あなたの年齢を教えてください。

1	20歳～29歳	2	30歳～39歳	3	40歳～49歳
4	50歳～59歳	5	60歳～69歳	6	70歳以上

（令和元年10月1日現在の満年齢でお答えください。）

② あなたのお住まいの地域を教えてください。

1	岐阜地域 （岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
2	西濃地域 （大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
3	中濃地域 （関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
4	東濃地域 （多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
5	飛騨地域 （高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）

環境に対する関心や行動について伺います

問1 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	少しは 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
(1) 地球温暖化対策	1	2	3	4
(2) 気候変動への適応	1	2	3	4
(3) エネルギー問題への対応	1	2	3	4
(4) 野生生物への対応	1	2	3	4
(5) 外来種対策	1	2	3	4
(6) 緑や水辺の保全	1	2	3	4
(7) 森林の保全・整備	1	2	3	4
(8) 廃棄物対策・リサイクル	1	2	3	4
(9) 防災・減災対策	1	2	3	4
(10) 水質汚濁対策	1	2	3	4
(11) 地盤沈下・土壌汚染対策	1	2	3	4
(12) 大気汚染対策	1	2	3	4
(13) 騒音・振動・悪臭対策	1	2	3	4
(14) 環境教育	1	2	3	4

問2 あなたは、県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()に具体的な分野(問1参照)を記入してください。

- (1) かなり良好
- (2) 良好
- (3) ふつう
- (4) 悪い (具体的な分野：)
- (5) かなり悪い (具体的な分野：)

問3 あなたは、県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになつたと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()に具体的な分野(問1参照)を記入してください。

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった (具体的な分野：)
- (5) かなり悪くなった (具体的な分野：)
- (6) わからない

問4 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) クールシェア・ウォームシェアスポット※を利用している
※涼しく快適に過ごせる施設や場所（クールスポット）やあたたかく快適に過ごせる施設や場所（ウォームスポット）をみんなでシェア（共有）する取組みです
- (2) アイドリングストップなど、エコドライブを実践している
- (3) 電車やバス、自転車をできる限り利用している
- (4) 省エネ型の家電や照明器具（LED など）を使っている
- (5) 長時間使わない電化製品は主電源を切っている
- (6) 再生可能エネルギーを活用している
- (7) 買い物をするときには、マイバックを持参したり、余分な包装は断っている
- (8) マイボトルやマイカップを使用している
- (9) 外食には、マイはしを持参している
- (10) 買い物をするときには、必要な分だけ購入している
- (11) 詰め替えのできる商品を選んでいる
- (12) リサイクル製品を購入したり、フリーマーケットを利用している
- (13) 食べ残しや食材の無駄（食品ロス）を減らしている
- (14) 地域で生産された商品を購入している
- (15) お風呂の残り湯を洗濯に使用したり、シャワーの流しっぱなしはしない
- (16) 地域の清掃活動や緑化活動などに参加している
- (17) 特にしていない
- (18) その他（内容： _____)

問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで、難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。次のうち、あなたの考えに近いものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 行動するための時間がない
- (2) 行動による効果が実感できない
- (3) 行動するためのお金がない
- (4) 何をどう行動すればよいか分からない
- (5) 家族や仲間の協力が得られない
- (6) 環境問題の現状が分からない
- (7) 何となく抵抗感がある
- (8) 必要性を感じない
- (9) その他（内容： _____)

環境に関する情報について伺います

問6 環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(3)、(4)に○をつけた方は、()に得られていない情報を記入してください。

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない (得られていない情報:)
- (4) まったく得られていない (得られていない情報:)
- (5) 必要な情報はない

問7 問6で(1)～(3)を選んだ方に伺います。あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 家族や友人・知人
- (8) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (9) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (10) イベント・セミナー・講演会
- (11) その他 (内容:)

県が実施する環境施策について伺います

問8 県が現在行っている環境に関する以下の事業（次頁参照）について、あなたはどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	よく 知っている	少しは 知っている	知らない
(1) 「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進	1	2	3
(2) 「ぎふエコ宣言」の普及	1	2	3
(3) 「環境にやさしいはし推進店」の推進	1	2	3
(4) 「清流ミナモの未来づくり」の推進	1	2	3
(5) 「清流調査隊」の編成	1	2	3
(6) 「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施	1	2	3
(7) 「ぎふ食べきり運動」の推進	1	2	3
(8) 「環境にやさしい買い物」の普及	1	2	3
(9) 「森・里・川・海×つながりLINK親子体験ツアー」の開催	1	2	3
(10) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定	1	2	3
(11) 「ブルーリバー作戦」の推進	1	2	3
(12) 「環境配慮事業所（E工場）」の登録制度	1	2	3
(13) 「清流月間」における普及啓発の実施	1	2	3
(14) 「環境教育推進員」の派遣	1	2	3
(15) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成	1	2	3

【参考】

- (1) ぎふ清流COOL CHOICE
温室効果ガスの排出量を削減するために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す運動です。
- (2) ぎふエコ宣言
身近に実践することができる地球温暖化防止に関する10の取組みを「ぎふエコ宣言」として宣言していただいています。
- (3) 環境にやさしいはし推進店
使い捨ての割りばしに替えて、繰り返し洗って使える再利用ばし、または県産材若しくは国産材のはし等の「環境にやさしいはし」の使用を推進するため、取組み店舗を「環境にやさしいはし推進店」として認定しています。
- (4) 清流ミナモの未来づくり
清流を「守る」、「活かす」、「伝える」という環境保全の取組みを県民、団体、行政等地域社会が一体となって推進するため、これに賛同する清流の保全に資する様々な活動を「清流ミナモの未来づくり」とし、県のウェブページやFacebookに掲載し、活動情報を広く発信しています。
- (5) 清流調査隊
生活排水による河川水質の汚濁負荷を軽減しようと「清流調査隊」を編成し、地域の皆さんと生活排水対策に取り組んでいます。
- (6) カワゲラウオッチング(水生生物調査)
身近な河川に棲む生物を調べることで、河川の水質を知っていただくとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性を認識していただくことを目的としたものです。
- (7) ぎふ食べきり運動
料理の食べ残し等の食品廃棄物を削減するため、宴会時の食べ残しを減らすキャンペーンなどを進めています。
- (8) 環境にやさしい買い物
買い物をするときにマイバッグを持参し、レジ袋はもらわないなど、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。
- (9) 森・里・川・海×つながりLINK親子体験ツアー
小中学生とその保護者の方を対象に、県下の主要河川流域を辿りながら、現地のNPO等が指導者となり、自然体験や環境学習、環境保全活動等を楽しみながら、流域の環境について考えるツアーです。
- (10) 岐阜県リサイクル認定製品
主として県内で発生する循環資源を使用し、県内で製造されるリサイクル製品を「岐阜県リサイクル認定製品」として認定しています。
- (11) ブルーリバー作戦
県・市町村では、生活排水対策を「ブルーリバー作戦」と名付けて、川の汚れを減らす運動を進めています。
- (12) 環境配慮事業所(E工場)
公害防止対策及び化学物質の適正管理をはじめ、廃棄物・リサイクル対策、地球環境保全対策、緑化への取組及び地域の環境保全活動への協力・支援などの取組みをしている事業所を「岐阜県環境配慮事業所」として登録しています。
- (13) 清流月間
「第30回全国豊かな海づくり大会」を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させていくため、7月を「清流月間」と定め、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ための様々な活動を行っています。
- (14) 環境教育推進員
岐阜県内に所在する学校、企業及び団体等へ環境保全にかかる普及や活動を実施している環境の専門家等を環境教育推進員として、依頼に応じて派遣しています。
- (15) 清流の国ぎふ環境教育副読本
県内の小学5年生を対象に、環境問題についてわかりやすく記載した「環境教育副読本」を毎年配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図っています。

問9 県の環境施策に関してご意見・ご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

お手数ですが、記入していただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、**令和元年 12月 16日(月)**までにご投函ください(切手は不要です)。

環境に関する意識調査（団体のみなさまへ）
【ご協力のお願ひ】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、平成28年3月に「岐阜県環境基本計画（第5次）」を策定し、環境の保全及び創出に関する様々な取組みを推進しておりますが、今後新たな計画の検討を進めることとしております。

つきましては、新たな計画の策定にあたり、環境の保全に関する活動を行っている県内の団体のみなさまの環境に対する意識などを把握するため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査票でご回答いただいたとき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、ホームページ等で掲載する予定ですが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・封筒のあて名の団体として回答してください。
- ・回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・同封の返信用封筒に入れて、**令和元年 12月 16日（月）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・公表時期は令和2年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境生活部 環境企画課 環境企画係
電話：（県庁代表）058-272-1111（内線2696）
FAX：058-278-2610

環境に関する意識調査票（団体のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、貴団体についておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

① 貴団体の種別を教えてください。

1	特定非営利活動法人（NPO法人）	2	1以外の法人	3	任意団体
---	------------------	---	--------	---	------

② 貴団体の人員規模（役員、会員数）を教えてください。

1	1～9人	2	10～19人	3	20～29人
4	30～39人	5	40～49人	6	50人以上

③ 貴団体が所在している地域を教えてください。

1	岐阜地域 （岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
2	西濃地域 （大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
3	中濃地域 （関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
4	東濃地域 （多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
5	飛騨地域 （高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）

環境に対する関心や行動について伺います

問1 貴団体は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	少しは 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
(1) 地球温暖化対策	1	2	3	4
(2) 気候変動への適応	1	2	3	4
(3) エネルギー問題への対応	1	2	3	4
(4) 野生生物への対応	1	2	3	4
(5) 外来種対策	1	2	3	4
(6) 緑や水辺の保全	1	2	3	4
(7) 森林の保全・整備	1	2	3	4
(8) 廃棄物対策・リサイクル	1	2	3	4
(9) 防災・減災対策	1	2	3	4
(10) 水質汚濁対策	1	2	3	4
(11) 地盤沈下・土壌汚染対策	1	2	3	4
(12) 大気汚染対策	1	2	3	4
(13) 騒音・振動・悪臭対策	1	2	3	4
(14) 環境教育	1	2	3	4

問2 貴団体は、県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()に具体的な分野（問1参照）を記入してください。

- (1) かなり良好
- (2) 良好
- (3) ふつう
- (4) 悪い (具体的な分野：)
- (5) かなり悪い (具体的な分野：)

問3 貴団体は、県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになつたと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()に具体的な分野（問1参照）を記入してください。

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった (具体的な分野：)
- (5) かなり悪くなった (具体的な分野：)
- (6) わからない

問4 貴団体において、現在実施されている環境活動と今後実施したい環境活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

	現在 実施している	今後 実施したい
(1) 地球温暖化防止活動	1	2
(2) エコ通勤・エコドライブに関する活動	1	2
(3) 省エネルギー・再生エネルギー等に関する活動	1	2
(4) 地産地消に関する活動	1	2
(5) 自然保護活動	1	2
(6) 希少動植物の保護活動	1	2
(7) 外来種の防除活動	1	2
(8) 里地・里山の保全活動	1	2
(9) 市街地等の緑化に関する活動	1	2
(10) 森林整備に関する活動	1	2
(11) ごみ減量化に関する活動	1	2
(12) 3R（リデュース・リユース・リサイクル）に関する活動	1	2
(13) 食品ロス削減に関する活動	1	2
(14) グリーン購入に関する活動	1	2
(15) 水環境の保全に関する活動	1	2
(16) 土壌環境の保全に関する活動	1	2
(17) 大気環境の保全に関する活動	1	2
(18) 生活環境の保全に関する活動	1	2
(19) 環境美化活動	1	2
(20) 自然体験等などの環境教育活動	1	2
(21) 教育機関と連携した環境教育活動	1	2
(22) その他（内容：)	1	2

問5 貴団体において、環境活動を進めるうえで抱えている課題はありますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 会員数が増えない、減っている
- (2) 会員の高齢化が進んでいる
- (3) 活動を提供する場・機会が不足している
- (4) 正確な住民ニーズを把握できない
- (5) 活動に対する住民の関心度が低い
- (6) 活動に必要な資金が不足している
- (7) 他の団体との交流や情報交換の機会がない
- (8) 活動に必要な知識などを習得する機会がない
- (9) 行政との連携が弱い、つながりがない
- (10) 課題はない
- (11) その他（内容：)

問6 貴団体内で実施している研修や会員の研鑽を高める活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 会員が各自で研修を受講している
- (2) 団体内で勉強会を開催している
- (3) 全会員を対象とした研修会を年1回以上実施している
- (4) 会報等で情報の共有や情報提供をしている
- (5) 特にない
- (6) その他(内容:)

環境に関する情報について伺います

問7 貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(3)、(4)に○をつけた方は、()に得られていない情報を記入してください。

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない (得られていない情報:)
- (4) まったく得られていない (得られていない情報:)
- (5) 必要な情報はない

問8 問7で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 他団体からの情報提供
- (8) 教育機関(大学等)からの情報提供
- (9) 家族や友人・知人
- (10) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (11) イベント・セミナー・講演会
- (12) その他(内容:)

問9 貴団体が実施されている環境活動を、どのような人に知ってもらいたいですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 大人
- (2) 高校生、大学生等
- (3) 小学生、中学生
- (4) 親子
- (5) 高齢者
- (6) その他（内容： _____)

問10 貴団体が行っている環境活動の情報をどのように発信していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 貴団体のホームページ
- (2) 貴団体のSNS
- (3) 貴団体の会報
- (4) チラシの作成、配布
- (5) 新聞・情報誌等での周知
- (6) イベントでの告知
- (7) 貴団体会員のSNS
- (8) 他団体との交流の場における情報交換
- (9) その他（内容： _____)

県が実施する環境施策について伺います

問 1 1 県が現在行っている環境に関する以下の事業（次頁参照）について、貴団体はどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	よく 知っている	少しは 知っている	知らない
(1) 「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進	1	2	3
(2) 「ぎふエコ宣言」の普及	1	2	3
(3) 「環境にやさしいはし推進店」の推進	1	2	3
(4) 「清流ミナモの未来づくり」の推進	1	2	3
(5) 「清流調査隊」の編成	1	2	3
(6) 「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施	1	2	3
(7) 「ぎふ食べきり運動」の推進	1	2	3
(8) 「環境にやさしい買い物」の普及	1	2	3
(9) 「森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー」の開催	1	2	3
(10) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定	1	2	3
(11) 「ブルーリバー作戦」の推進	1	2	3
(12) 「環境配慮事業所（E工場）」の登録制度	1	2	3
(13) 「清流月間」における普及啓発の実施	1	2	3
(14) 「環境教育推進員」の派遣	1	2	3
(15) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成	1	2	3

【参考】

- (1) ぎふ清流COOL CHOICE
温室効果ガスの排出量を削減するために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す運動です。
- (2) ぎふエコ宣言
身近に実践することができる地球温暖化防止に関する10の取組みを「ぎふエコ宣言」として宣言していただいています。
- (3) 環境にやさしいはし推進店
使い捨ての割りばしに替えて、繰り返し洗って使える再利用ばし、または県産材若しくは国産材のはし等の「環境にやさしいはし」の使用を推進するため、取組み店舗を「環境にやさしいはし推進店」として認定しています。
- (4) 清流ミナモの未来づくり
清流を「守る」、「活かす」、「伝える」という環境保全の取組みを県民、団体、行政等地域社会が一体となって推進するため、これに賛同する清流の保全に資する様々な活動を「清流ミナモの未来づくり」とし、県のウェブページやFacebookに掲載し、活動情報を広く発信しています。
- (5) 清流調査隊
生活排水による河川水質の汚濁負荷を軽減しようと「清流調査隊」を編成し、地域の皆さんと生活排水対策に取り組んでいます。
- (6) カワゲラウオッチング(水生生物調査)
身近な河川に棲む生物を調べることにより、河川の水質を知っていただくとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性を認識していただくことを目的としたものです。
- (7) ぎふ食べきり運動
料理の食べ残し等の食品廃棄物を削減するため、宴会時の食べ残しを減らすキャンペーンなどを進めています。
- (8) 環境にやさしい買い物
買い物をするときにマイバッグを持参し、レジ袋はもらわないなど、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。
- (9) 森・里・川・海×つながりLINK親子体験ツアー
小中学生とその保護者の方を対象に、県下の主要河川流域を辿りながら、現地のNPO等が指導者となり、自然体験や環境学習、環境保全活動等を楽しみながら、流域の環境について考えるツアーです。
- (10) 岐阜県リサイクル認定製品
主として県内で発生する循環資源を使用し、県内で製造されるリサイクル製品を「岐阜県リサイクル認定製品」として認定しています。
- (11) ブルーリバー作戦
県・市町村では、生活排水対策を「ブルーリバー作戦」と名付けて、川の汚れを減らす運動を進めています。
- (12) 環境配慮事業所(E工場)
公害防止対策及び化学物質の適正管理をはじめ、廃棄物・リサイクル対策、地球環境保全対策、緑化への取組及び地域の環境保全活動への協力・支援などの取組みをしている事業所を「岐阜県環境配慮事業所」として登録しています。
- (13) 清流月間
「第30回全国豊かな海づくり大会」を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させていくため、7月を「清流月間」と定め、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ための様々な活動を行っています。
- (14) 環境教育推進員
岐阜県内に所在する学校、企業及び団体等へ環境保全にかかる普及や活動を実施している環境の専門家等を環境教育推進員として、依頼に応じて派遣しています。
- (15) 清流の国ぎふ環境教育副読本
県内の小学5年生を対象に、環境問題についてわかりやすく記載した「環境教育副読本」を毎年配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図っています。

問 1 2 県の環境施策に関してご意見・ご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

--

※差し支えなければ、貴団体の活動内容等をお聞きしたい時の連絡先を記載してください。

団体名	
担当者（本件窓口）	
住 所	
連絡先（電話番号）	

調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

お手数ですが、記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和元年 12月 16日（月）までにご投函ください（切手は不要です）。

○資料 調査票（企業用調査票）

環境に関する意識調査（企業のみなさまへ） 【ご協力のお願ひ】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、平成28年3月に「岐阜県環境基本計画（第5次）」を策定し、環境の保全及び創出に関する様々な取組みを推進しておりますが、今後新たな計画の検討を進めることとしております。

つきましては、新たな計画の策定にあたり、県内企業のみなさまの環境に対する意識などを把握するため、県内に本社を有する企業から200社を選ばせていただきアンケート調査を行うことといたしました。

この調査票でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、ホームページ等で掲載する予定ですが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・封筒のあて名の企業として回答してください。
- ・回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・同封の返信用封筒に入れて、**令和元年12月16日（月）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・公表時期は令和2年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境生活部 環境企画課 環境企画係
電話：（県庁代表）058-272-1111（内線2696）
FAX：058-278-2610

環境に関する意識調査票（企業のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、貴社についておたずねします。

該当する番号に○を付けてください。

① 貴社の主な業種を教えてください。

1	農業、林業、漁業	2	鉱業、採石業、砂利採取業	3	建設業
4	製造業	5	電気・ガス・水道業	6	情報通信業
7	運輸業	8	卸売業、小売業	9	金融業、保険業
10	不動産業、物品賃貸業	11	学術研究、専門・技術サービス業	12	宿泊業、飲食サービス業
13	生活関連サービス業、娯楽業	14	教育、学習支援業	15	医療、福祉
16	複合サービス業	17	その他（ ）		

（日本標準産業分類の区分でお答えください。）

② 貴社の企業規模（従業員数）を教えてください。

1	100人未満	2	100～299人	3	300～499人
4	500～999人	5	1,000人以上		

③ 貴社の本社が所在している地域を教えてください。

1	岐阜地域 （岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
2	西濃地域 （大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
3	中濃地域 （関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
4	東濃地域 （多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
5	飛騨地域 （高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）

環境に対する関心や行動について伺います

問1 貴社は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	少しは 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
(1) 地球温暖化対策	1	2	3	4
(2) 気候変動への適応	1	2	3	4
(3) エネルギー問題への対応	1	2	3	4
(4) 野生生物への対応	1	2	3	4
(5) 外来種対策	1	2	3	4
(6) 緑や水辺の保全	1	2	3	4
(7) 森林の保全・整備	1	2	3	4
(8) 廃棄物対策・リサイクル	1	2	3	4
(9) 防災・減災対策	1	2	3	4
(10) 水質汚濁対策	1	2	3	4
(11) 地盤沈下・土壌汚染対策	1	2	3	4
(12) 大気汚染対策	1	2	3	4
(13) 騒音・振動・悪臭対策	1	2	3	4
(14) 環境教育	1	2	3	4

問2 貴社は、県の環境（水、大気、自然などの状況）の現状について、どのように感じて
いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()に具体的な分野(問1参照)を記入してください。

- (1) かなり良好
- (2) 良好
- (3) ふつう
- (4) 悪い (具体的な分野：)
- (5) かなり悪い (具体的な分野：)

問3 貴社は、県の環境（水、大気、自然などの状況）が5年前と比べてどのようになった
と感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()に具体的な分野(問1参照)を記入してください。

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった (具体的な分野：)
- (5) かなり悪くなった (具体的な分野：)
- (6) わからない

問4 貴社では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 非常に重要である
- (2) 少しは重要である
- (3) あまり重要でない
- (4) まったく重要でない
- (5) わからない
- (6) その他(内容: _____)

問5 貴社では、事業活動においてどのような環境保全の取組みを実施していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) ISO14001 やエコアクション2.1などの認証取得
- (2) 環境報告書の作成・公表
- (3) 環境負荷データの公表
- (4) 環境ラベルの採用
- (5) グリーン購入
- (6) グリーン契約(環境配慮契約)
- (7) カーボン・オフセット
- (8) RE100への取組みなど、再生可能エネルギーの活用
- (9) ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)の実現
- (10) ワンウェイプラスチックの使用削減
- (11) リサイクルの推進
- (12) IoTやAIを活用した環境負荷の低減
- (13) 環境ビジネス
- (14) ESGの取組み
- (15) 環境問題についての社内教育
- (16) 特に取り組んでいない
- (17) その他(内容: _____)

問6 貴社では、事業活動以外でどのような環境保全の取組みを実施していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 事業所敷地内の緑化推進
- (2) クールビズ、ウォームビズの推奨
- (3) ボランティア活動への社員の参加促進
- (4) 環境美化活動
- (5) 森林整備や里地・里山の保全活動
- (6) 外来種の防除や希少動植物の保護活動
- (7) 環境保全活動への資金協力
- (8) 地域住民や学校への環境教育出前講座
- (9) 社会見学の受け入れ
- (10) 地域と連携した環境保全の取組み
- (11) 特に取り組んでいない
- (12) その他(内容:)

問7 問5・問6でお伺いした取組みを始めたきっかけは何ですか。次のうち、あてはまるものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 企業の社会的責任として
- (2) 地域や顧客から信頼を得るため
- (3) 社会・地域貢献のため
- (4) 競争上有利になると考えたから
- (5) 取引先に要請されたから
- (6) コスト削減のため
- (7) 環境問題を解決するビジネスをしているから
- (8) 加入している団体の方針だから
- (9) 社員の環境保全に対する意識を高めるため
- (10) 特に取り組んでいない
- (11) その他(内容:)

問8 貴社において、環境保全に関する社員への教育をどのように実施していますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(1)、(2)に○をつけた方は、()に内容を記入してください。

- (1) 全社員に対して環境保全に関する教育を年1回以上実施している
(内容:)
- (2) 管理職または環境に関連する部署の社員に対して環境保全に関する教育を実施している
(内容:)
- (3) 特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている
- (4) 特に環境保全に関する社員教育は行っていない
- (5) その他(内容:)

環境に関する情報について伺います

問9 貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(3)、(4)に○をつけた方は、()に得られていない情報を記入してください。

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない (得られていない情報:)
- (4) まったく得られていない (得られていない情報:)
- (5) 必要な情報はない

問10 問9で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のホームページ
- (6) インターネット
- (7) 関係企業からの情報提供
- (8) 業界団体からの情報提供
- (9) 教育機関(大学等)・学会からの情報提供
- (10) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (11) イベント・セミナー・講演会
- (12) その他 (内容:)

県が実施する環境施策について伺います

問 1 1 県が現在行っている環境に関する以下の事業（次頁参照）について、貴社はどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	よく 知っている	少しは 知っている	知らない
(1) 「ぎふ清流COOL CHOICE」の推進	1	2	3
(2) 「ぎふエコ宣言」の普及	1	2	3
(3) 「環境にやさしいはし推進店」の推進	1	2	3
(4) 「清流ミナモの未来づくり」の推進	1	2	3
(5) 「清流調査隊」の編成	1	2	3
(6) 「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施	1	2	3
(7) 「ぎふ食べきり運動」の推進	1	2	3
(8) 「環境にやさしい買い物」の普及	1	2	3
(9) 「森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー」の開催	1	2	3
(10) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定	1	2	3
(11) 「ブルーリバー作戦」の推進	1	2	3
(12) 「環境配慮事業所（E工場）」の登録制度	1	2	3
(13) 「清流月間」における普及啓発の実施	1	2	3
(14) 「環境教育推進員」の派遣	1	2	3
(15) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成	1	2	3

【参考】

- (1) ぎふ清流COOL CHOICE
温室効果ガスの排出量を削減するために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す運動です。
- (2) ぎふエコ宣言
身近に実践することができる地球温暖化防止に関する10の取組みを「ぎふエコ宣言」として宣言していただいています。
- (3) 環境にやさしいはし推進店
使い捨ての割りばしに替えて、繰り返し洗って使える再利用ばし、または県産材若しくは国産材のはし等の「環境にやさしいはし」の使用を推進するため、取組み店舗を「環境にやさしいはし推進店」として認定しています。
- (4) 清流ミナモの未来づくり
清流を「守る」、「活かす」、「伝える」という環境保全の取組みを県民、団体、行政等地域社会が一体となって推進するため、これに賛同する清流の保全に資する様々な活動を「清流ミナモの未来づくり」とし、県のウェブページや Facebook に掲載し、活動情報を広く発信しています。
- (5) 清流調査隊
生活排水による河川水質の汚濁負荷を軽減しようと「清流調査隊」を編成し、地域の皆さんと生活排水対策に取り組んでいます。
- (6) カワゲラウオッチング(水生生物調査)
身近な河川に棲む生物を調べることで、河川の水質を知っていただくとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性を認識していただくことを目的としたものです。
- (7) ぎふ食べきり運動
料理の食べ残し等の食品廃棄物を削減するため、宴会時の食べ残しを減らすキャンペーンなどを進めています。
- (8) 環境にやさしい買い物
買い物をするときにマイバッグを持参し、レジ袋はもらわないなど、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。
- (9) 森・里・川・海×つながりLINK親子体験ツアー
小中学生とその保護者の方を対象に、県下の主要河川流域を辿りながら、現地のNPO等が指導者となり、自然体験や環境学習、環境保全活動等を楽しみながら、流域の環境について考えるツアーです。
- (10) 岐阜県リサイクル認定製品
主として県内で発生する循環資源を使用し、県内で製造されるリサイクル製品を「岐阜県リサイクル認定製品」として認定しています。
- (11) ブルーリバー作戦
県・市町村では、生活排水対策を「ブルーリバー作戦」と名付けて、川の汚れを減らす運動を進めています。
- (12) 環境配慮事業所(E工場)
公害防止対策及び化学物質の適正管理をはじめ、廃棄物・リサイクル対策、地球環境保全対策、緑化への取組及び地域の環境保全活動への協力・支援などの取組みをしている事業所を「岐阜県環境配慮事業所」として登録しています。
- (13) 清流月間
「第30回全国豊かな海づくり大会」を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させていくため、7月を「清流月間」と定め、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ための様々な活動を行っています。
- (14) 環境教育推進員
岐阜県内に所在する学校、企業及び団体等へ環境保全にかかる普及や活動を実施している環境の専門家等を環境教育推進員として、依頼に応じて派遣しています。
- (15) 清流の国ぎふ環境教育副読本
県内の小学5年生を対象に、環境問題についてわかりやすく記載した「環境教育副読本」を毎年配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図っています。

問 1 2 県の環境施策に関してご意見・ご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

--

※差し支えなければ、貴社の環境保全の取組み内容等をお聞きしたい時の連絡先を記載してください。

会社名	
担当部署(本件窓口)	
担当者	
住 所	
連絡先(電話番号)	

調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

お手数ですが、記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和元年 12月 16日(月)までにご投函ください(切手は不要です)。